

# 第6章 子育てと各種制度・サービス

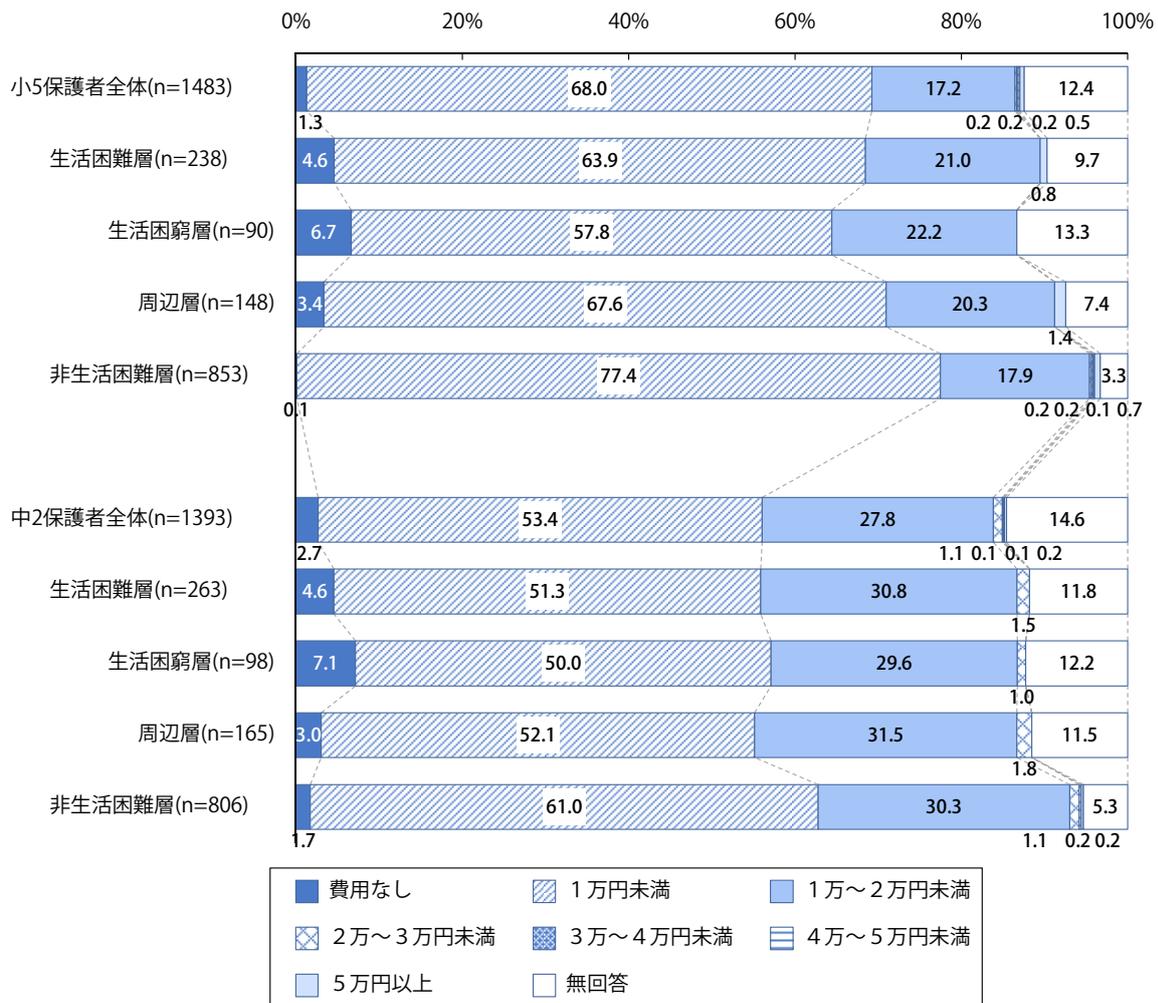
## 1 子育てにかかる費用

▼この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。A～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。  
(保/問 19)

### A 授業料・学校納付金（給食費含む）

授業料・学校納付金・給食費について、小学5年生では、全体で「1万円未満」が68.0%と多数を占めています。生活困難度別でも同様に「1万円未満」が多数を占めている一方、「費用なし」の割合は、非生活困難層の0.1%に対し生活困窮層で6.7%となっています。

中学2年生では、全体で「1万円未満」が53.4%、「1万～2万円未満」が27.8%、「費用なし」が2.7%となっています。また、「費用なし」の割合を生活困難度別にみると、生活困窮層で7.1%、周辺層で3.0%、非生活困難層1.7%と、生活困難度が高い層で割合が高くなっています。



▼この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。A～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。  
 (保/問 19)

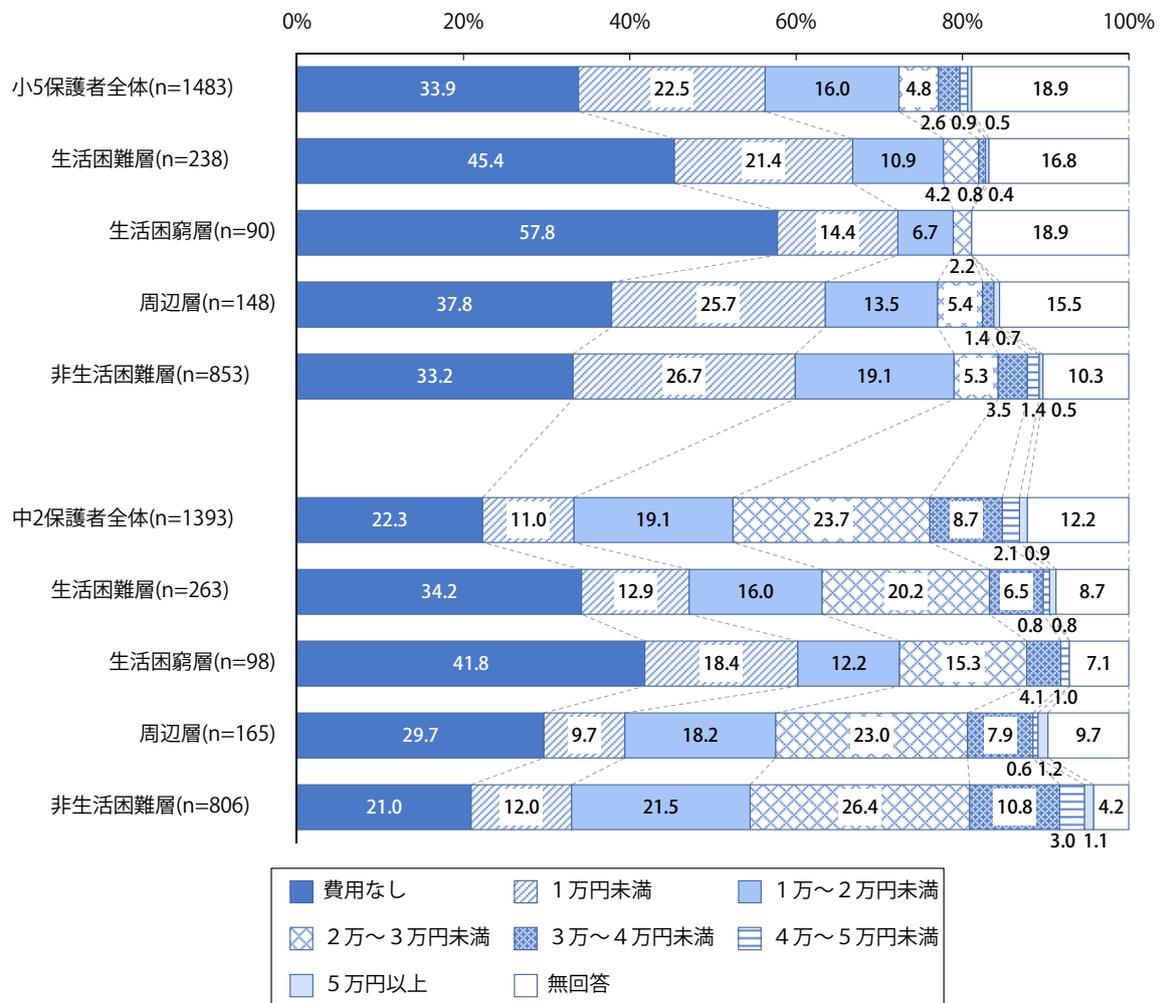
## B 塾など、学校外でかかる教育費

塾など、学校外でかかる教育費について、小学5年生全体では、「費用なし」が33.9%、「1万円未満」が22.5%、「1万～2万円未満」が16.0%となっています。

「費用なし」の割合を生活困難度別でみると、生活困窮層で57.8%、周辺層で37.8%、非生活困難層で33.2%と生活困難度が高い層で割合が高くなっており、塾などにお金がかけていない状況がうかがえます。

中学2年生全体では、「2万～3万円未満」が23.7%、「費用なし」が22.3%、「1万～2万円未満」が19.1%となっています。

「費用なし」の割合を生活困難度別でみると、小学5年生と同様の傾向となっていますが、各層とも10ポイントほど低くなっています。



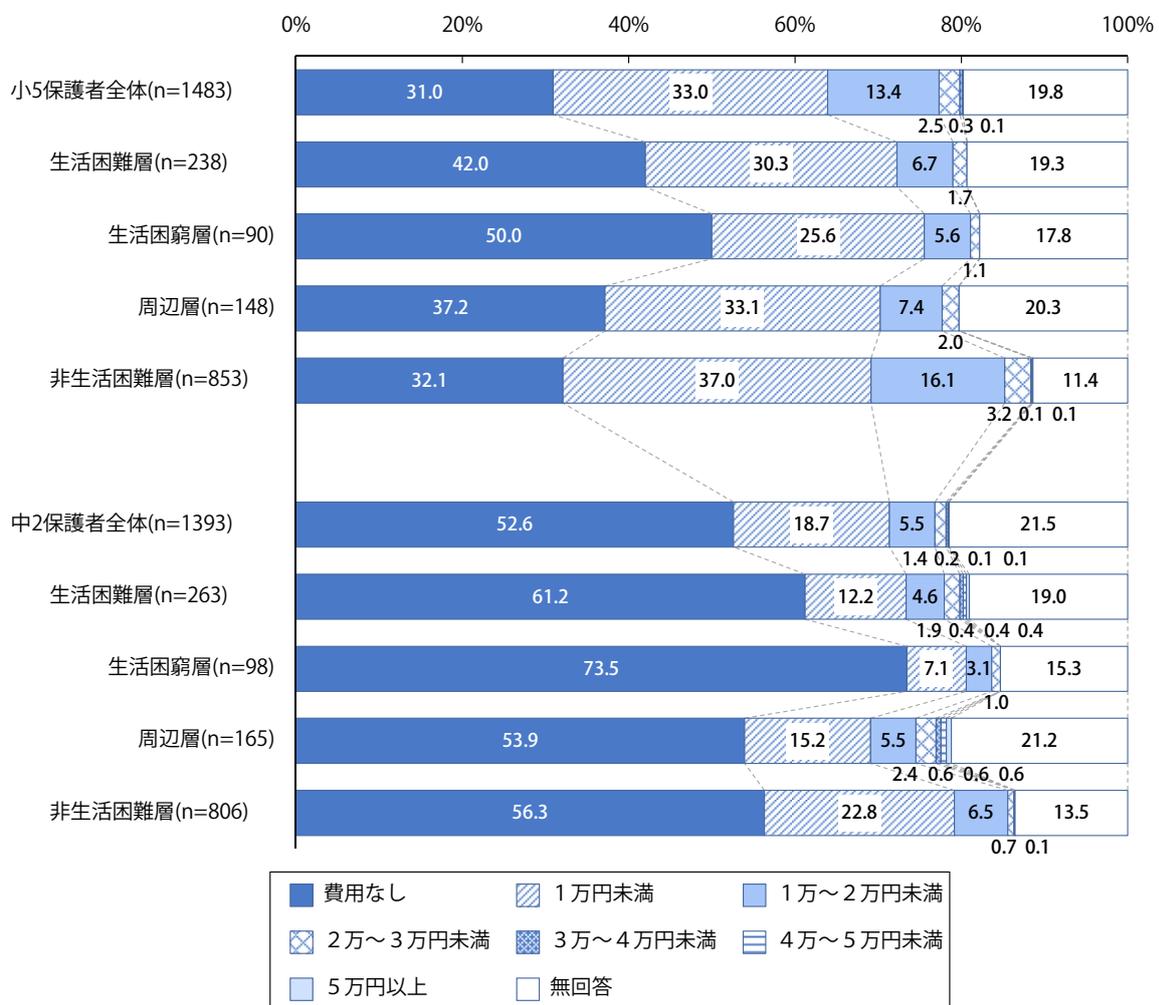
▼この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。A～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。  
(保/問 19)

### C 習いごと (スポーツクラブなど以外)

習いごと (スポーツクラブなど以外) について、小学 5 年生全体では、「1 万円未満」が 33.0%、「費用なし」が 31.0%、「1 万～2 万円未満」が 13.4%となっています。

「費用なし」の割合を生活困難度別で見ると、生活困窮層で 50.0%、周辺層で 37.2%、非生活困難層で 32.1%と生活困難度が高い層で割合が高くなっています。

中学 2 年生では、小学 5 年生に比べ「費用なし」の割合が 20 ポイントほど高くなっており、全体では、「費用なし」が 52.6%、生活困難度別では、周辺層で 53.9%、非生活困難層で 56.3%に対し、生活困窮層で 73.5%となっており、生活困難度が高い層で習いごとにお金がかかけられない状況がうかがえます。

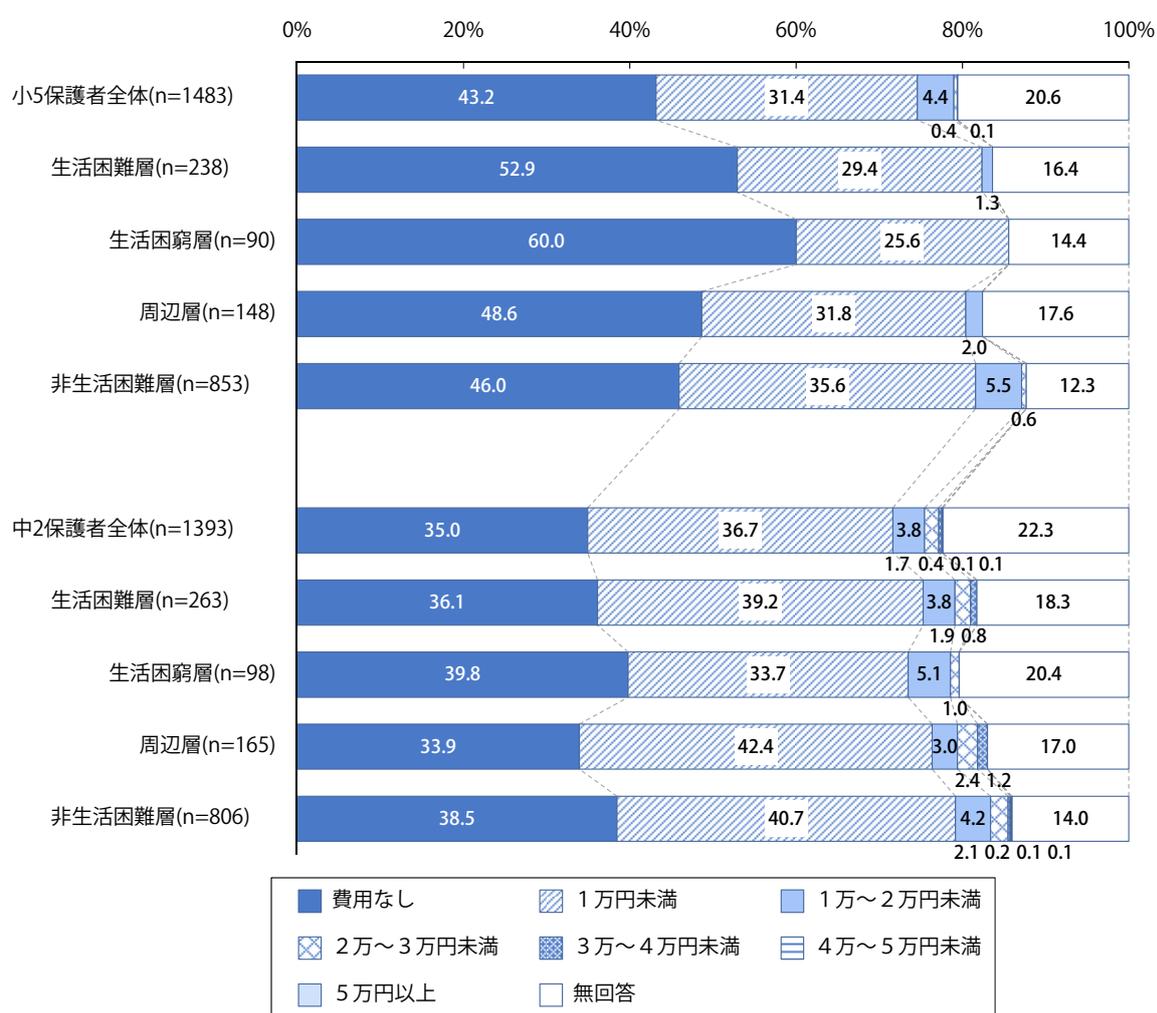


▼この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。A～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。  
 (保/問 19)

### D スポーツクラブ・部活動

スポーツクラブ・部活動について、「費用なし」の割合を生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で60.0%、周辺層で48.6%、非生活困難層で46.0%と生活困難度が高い層ほど割合は高く、お金がかからない状況がうかがえます。

中学2年生では、全体で「1万円未満」が36.7%、「費用なし」が35.0%となっています。生活困難度別にみると「費用なし」の割合に差はみられませんが、「1万円未満」が生活困窮層で33.7%とやや低い一方、周辺層で42.4%とやや高くなっています。

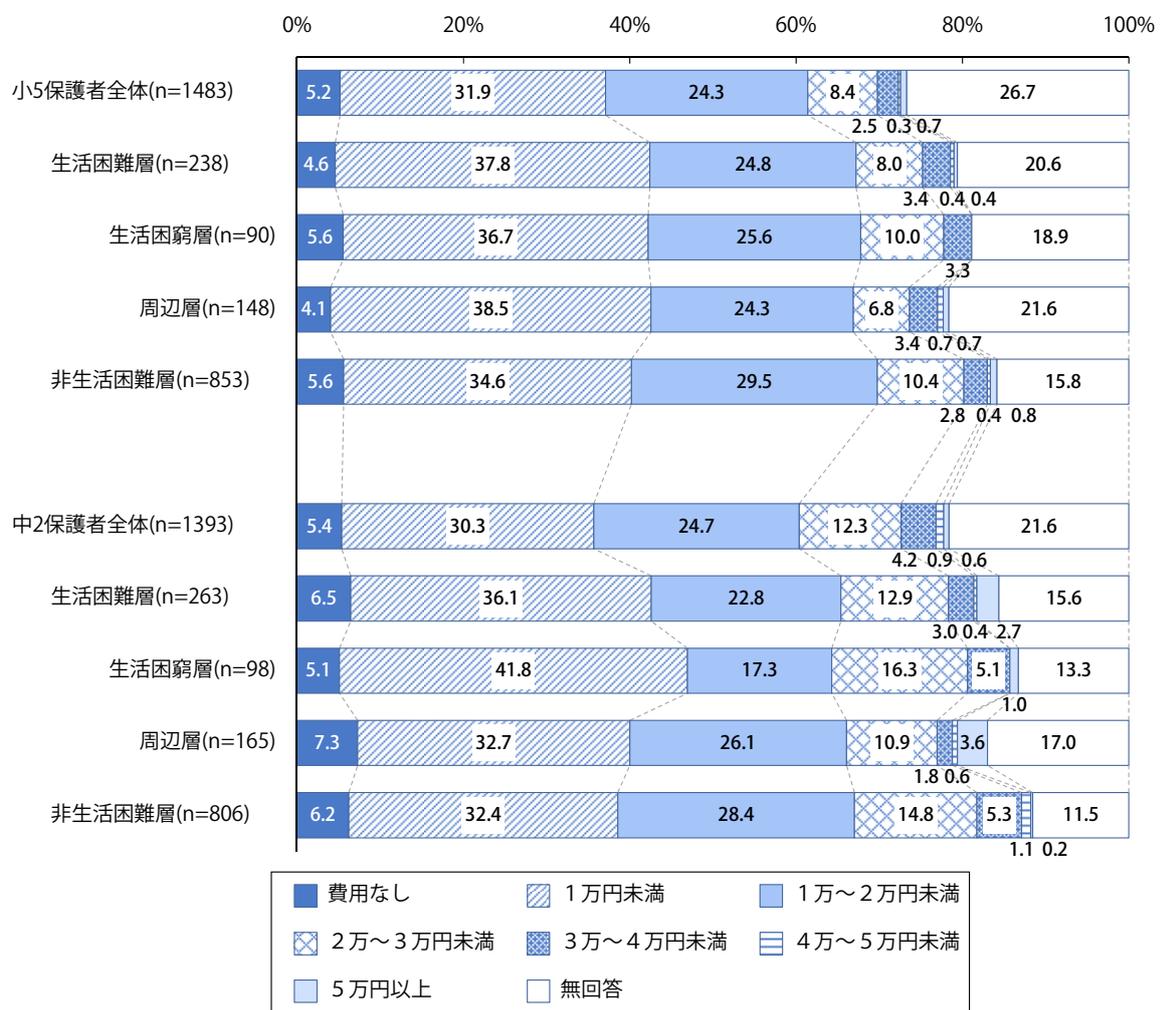


▼この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。A～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。  
 (保/問 19)

### E 子どもの昼食代(弁当代含む)、夕食代、おやつ代(外食含む)

子どもの昼食代、夕食代、おやつ代について、小学5年生の全体では、「1万円未満」が31.9%「1万～2万円未満」が24.3%となっており、生活困難度別でも同様の傾向となっています。

中学2年生では、全体で「1万円未満」が30.3%、「1万～2万円未満」が24.7%となっています。「1万円未満」を生活困難度別でみると、周辺層で32.7%、非生活困難層で32.4%に対し、生活困窮層で41.8%とやや高くなっています。

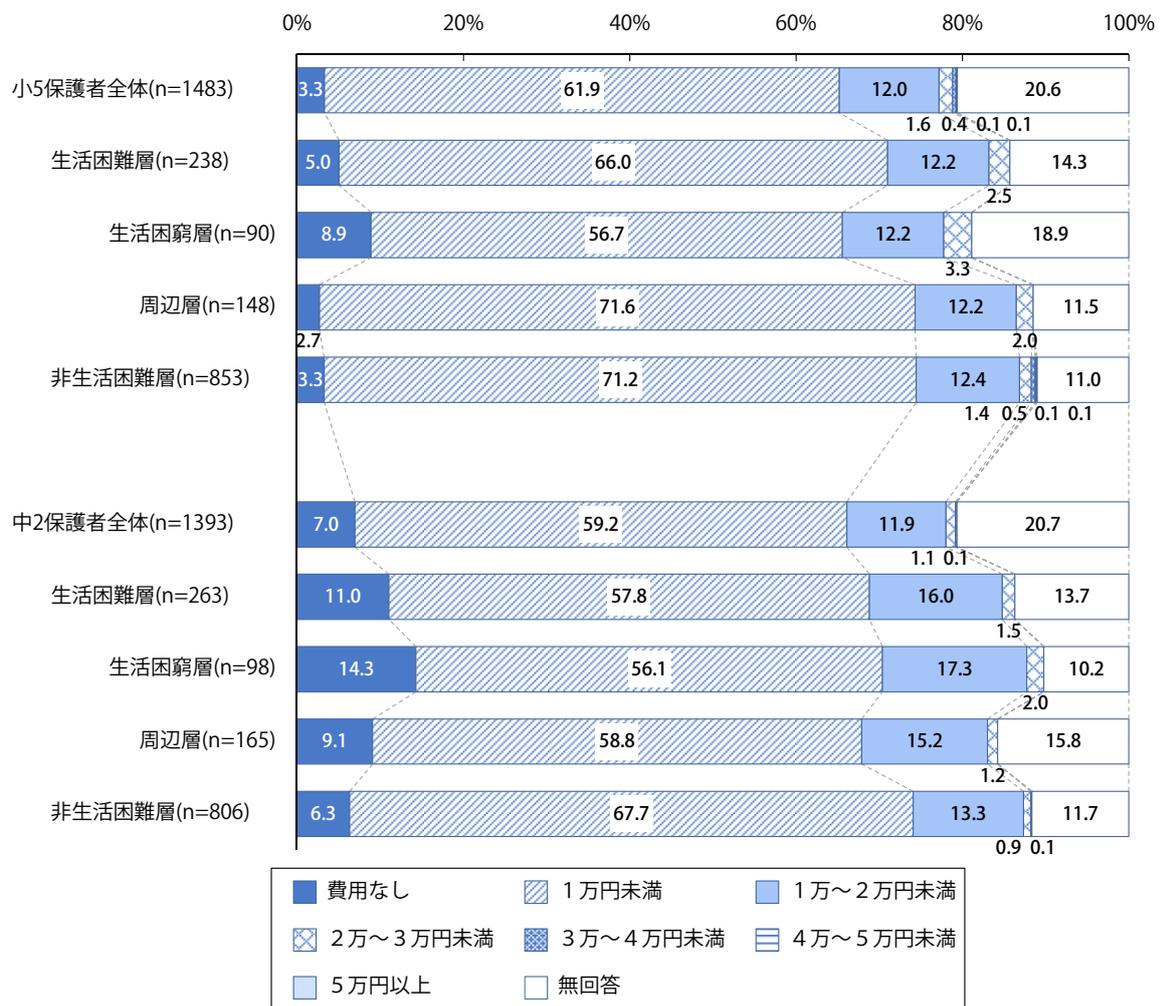


▼この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。A～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。  
 (保/問 19)

## F 子どもの服・靴

子どもの服・靴について、小学5年生の全体では、「1万円未満」が61.9%、「1万～2万円未満」が12.0%となっています。中学2年生では、全体で「1万円未満」が59.2%、「1万～2万円未満」が11.9%となっています。

生活困難度別でも「1万円未満」が6～7割前後と多数を占めていますが、「費用なし」の割合は、生活困窮層で高く、小学5年生で8.9%、中学2年生で14.3%となっています。

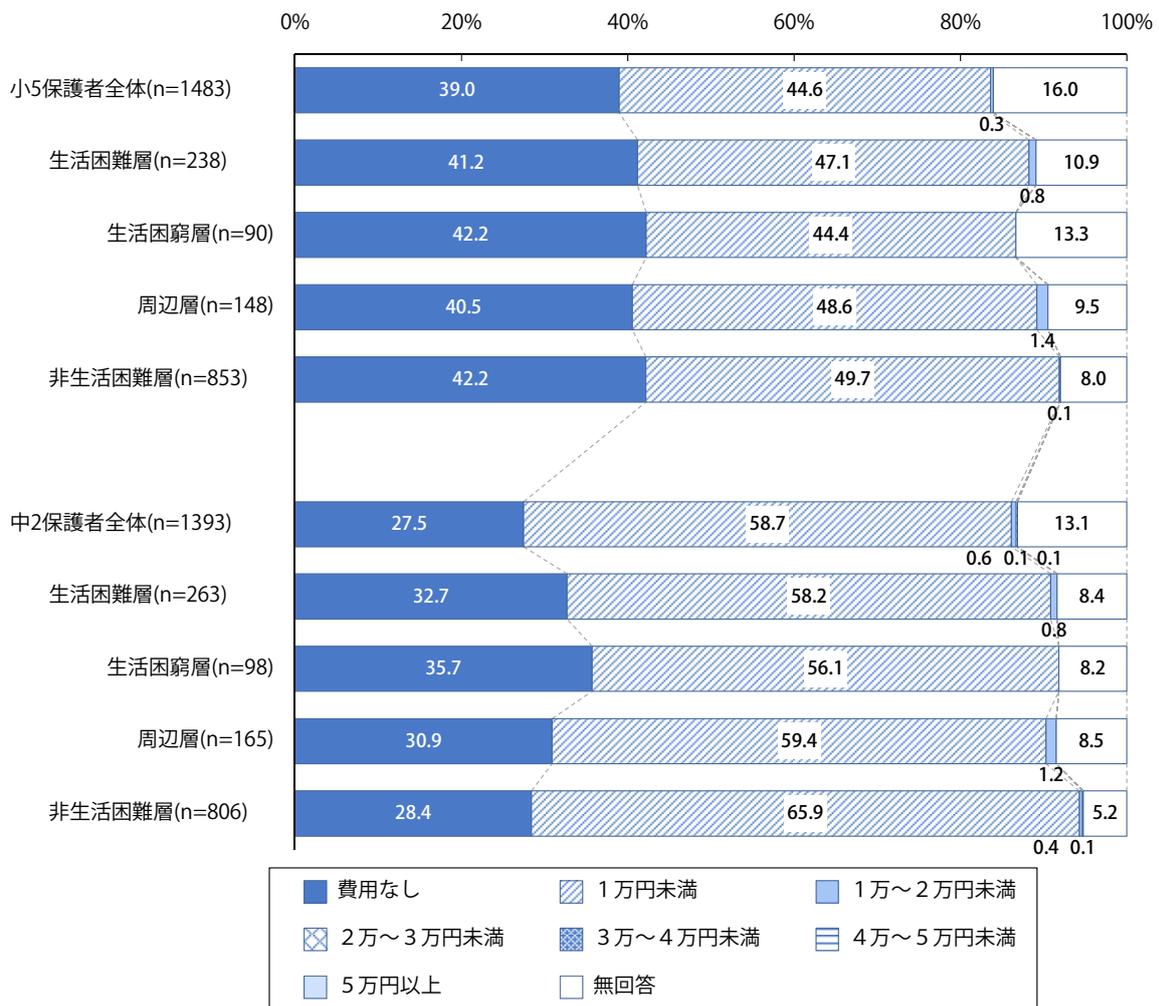


▼この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。A～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。  
 (保/問 19)

## G お小遣い

お小遣いについて、小学5年生では、全体で「1万円未満」が44.6%、「費用なし」が39.0%となっています。生活困難度別でも大きな差はみられません。

中学2年生では、全体で「1万円未満」が58.7%、「費用なし」が27.5%となっています。生活困難度別に「費用なし」の割合をみると、生活困窮層で35.7%、周辺層で30.9%、非生活困難層で28.4%と生活困難度が高い層ほどお小遣いがない割合が高くなっています。

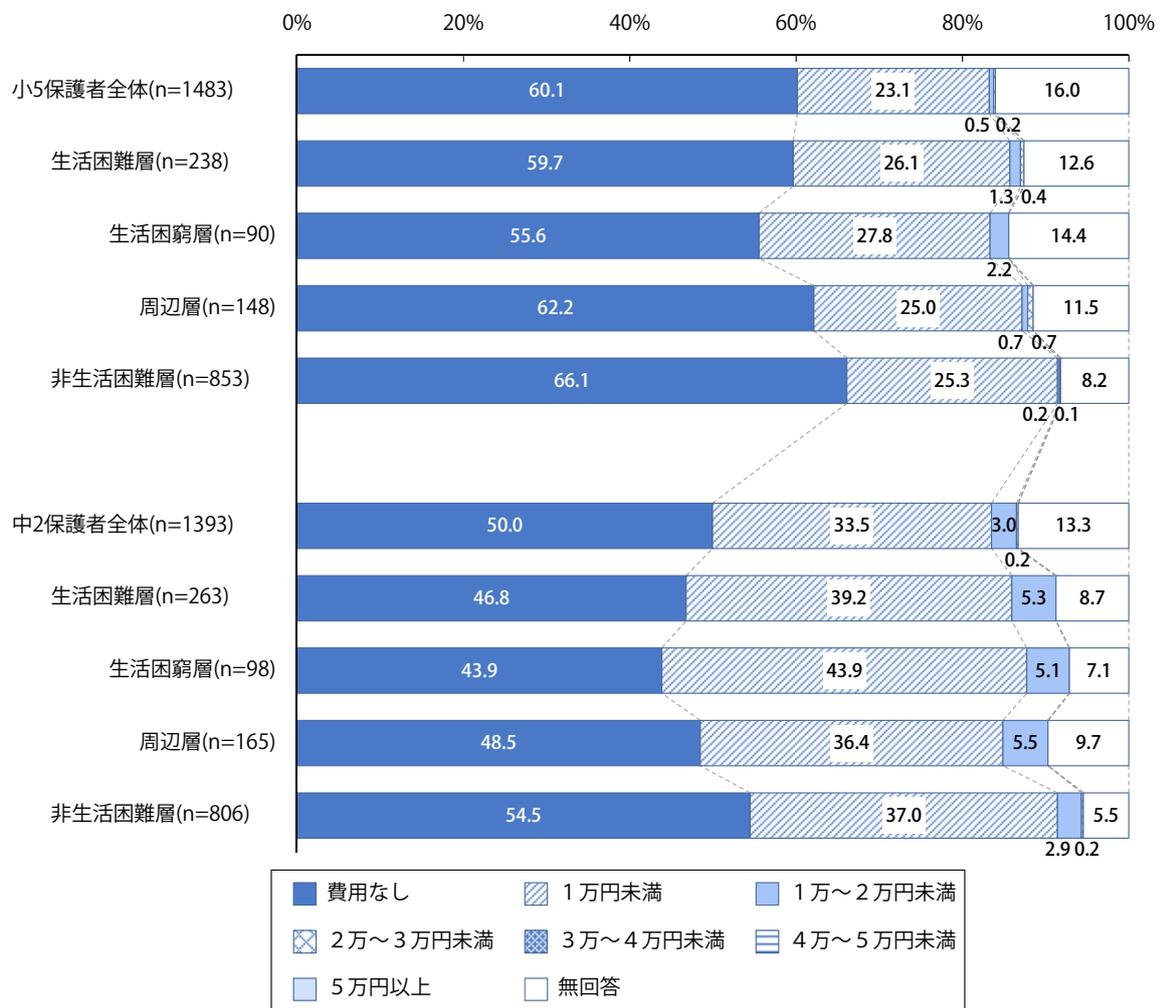


▼この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。A～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。  
(保/問 19)

## H (子どもの) 携帯・スマートフォンの代金

携帯・スマートフォンの代金について、小学5年生では、全体で「費用なし」が60.1%、「1万円未満」が23.1%となっています。生活困難度別では、「費用なし」の割合が生活困窮層で55.6%、周辺層で62.2%、非生活困難層で66.1%と生活困難度が高い層ほど割合は低くなっています。

中学2年生では、小学5年生に比べ「費用なし」の割合が10～20ポイントほど低くなっており、全体で50.0%、生活困難度別では、小学5年生と同様に生活困難度が高い層ほど割合は低くなっています。



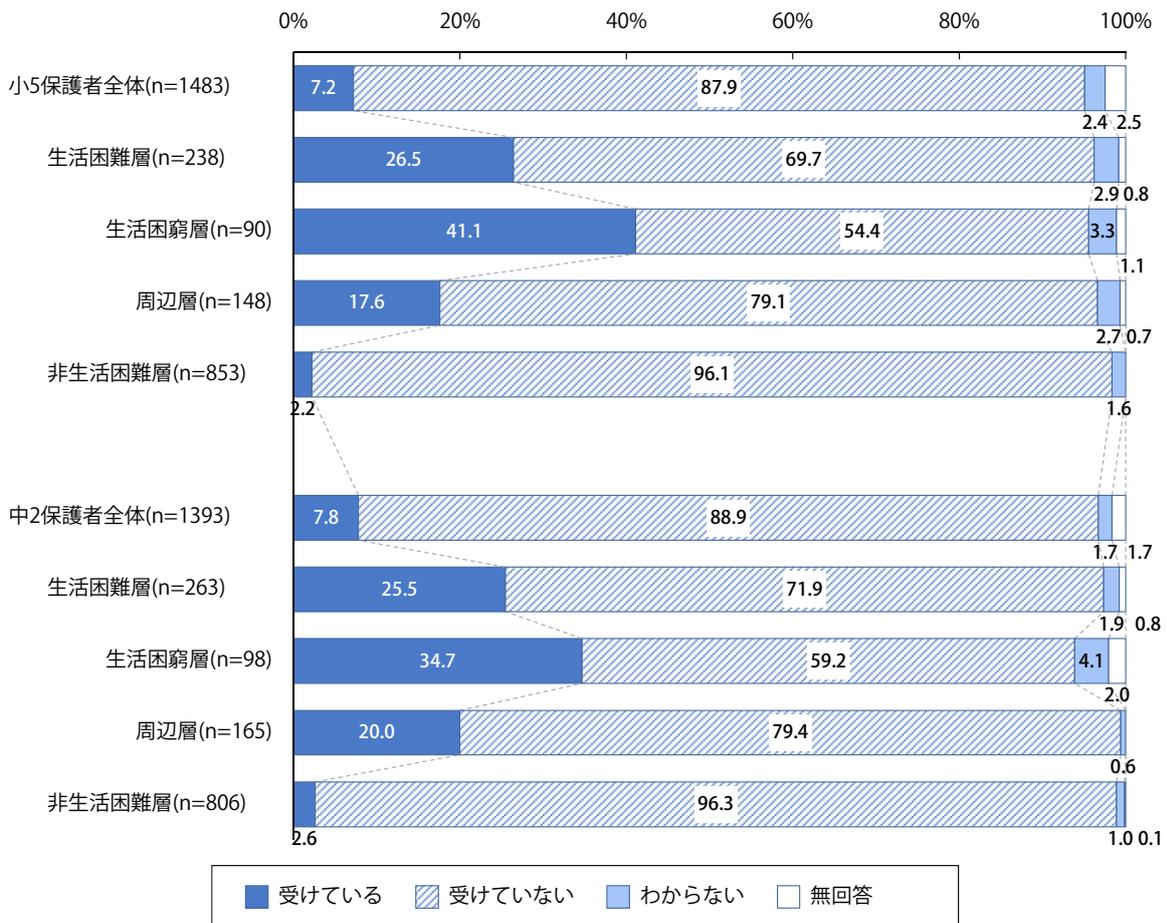
## 2 就学援助

### (1) 就学援助受給状況と受給していない理由

▼あなたのご家庭では、この調査票を持ち帰ったお子さんのために就学援助を受けていますか。  
(保/問 20)

就学援助の受給状況について、「受けている」割合は、小学5年生全体で7.2%、中学2年生全体で7.8%となっています。

生活困難度別では、生活困窮層で高く小学5年生の41.1%、中学2年生の34.7%が受給している状況となっています。



▼問 20 で「2 受けていない」を選んだ方におうかがいします。

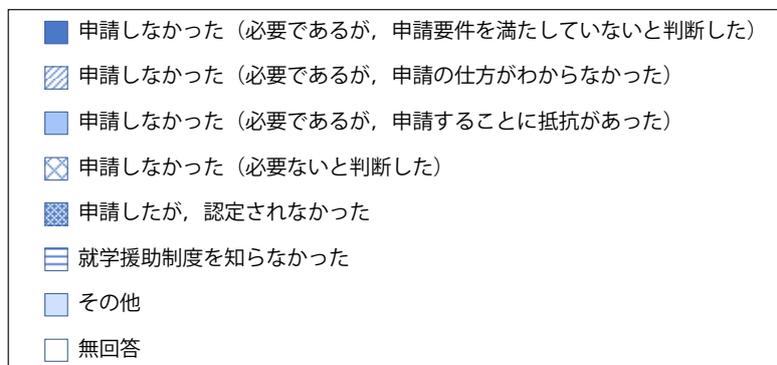
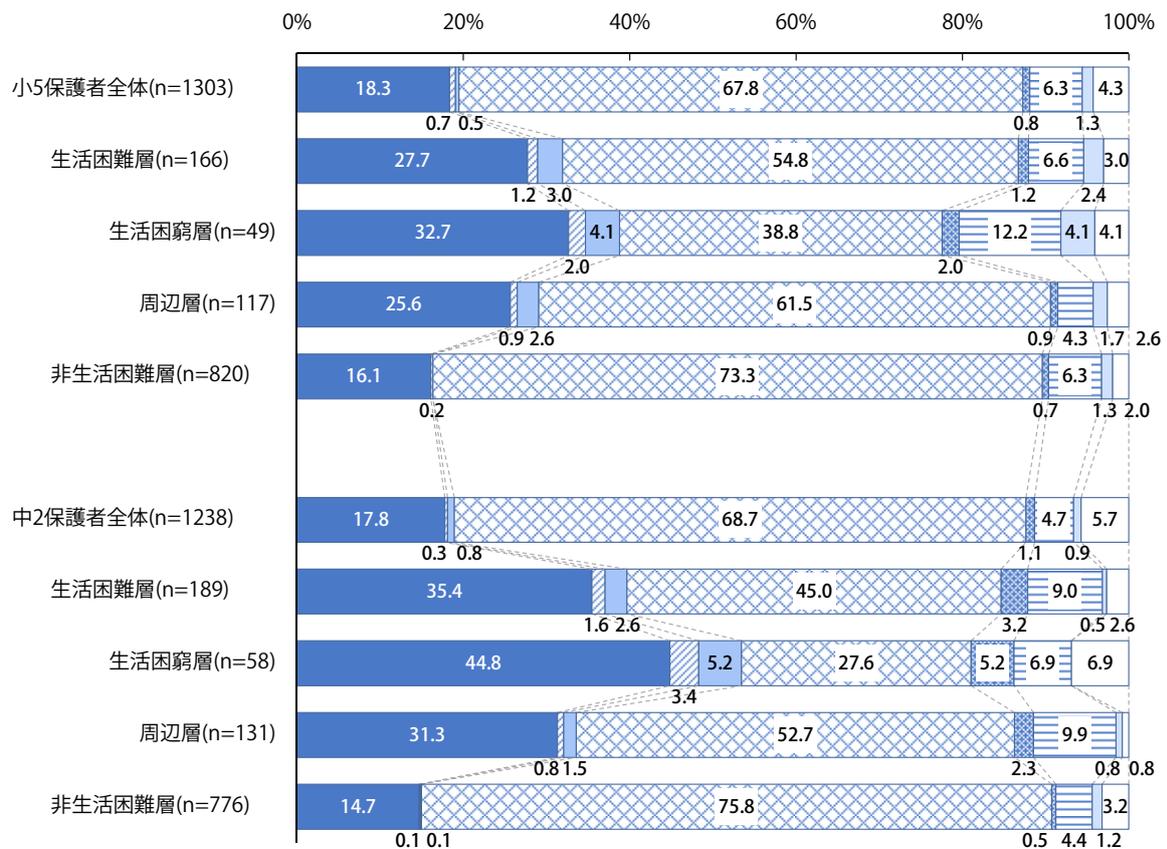
受けていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものに○をつけてください。

(保/問 20-2)

受けていないと回答した人の理由として、「申請しなかった（必要ないと判断した）」が、小学5年生全体で67.8%，中学2年生全体で68.7%となっています。

生活困難度別では、「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていないと判断した）」が生活困窮層で高く、小学5年生の32.7%，中学2年生の44.8%が回答しています。

また、小学5年生の生活困窮層の12.2%，中学2年生の周辺層の9.9%が「就学援助制度を知らなかった」と回答しています。



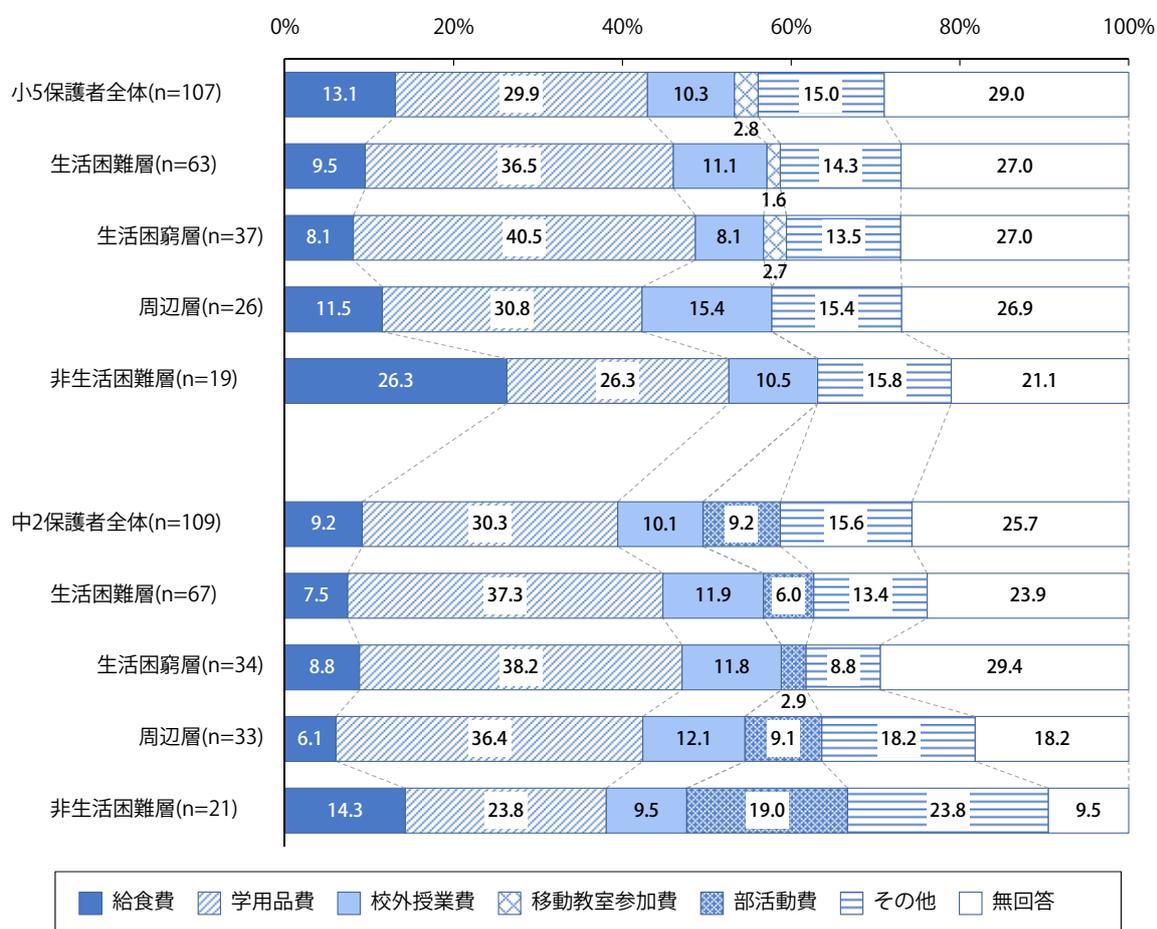
## (2) 支給額と実費との差が大きい経費

▼問 20 で「1 受けている」を選んだ方におうかがいします。

就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは何の経費ですか。(保/問 20-1)

就学援助を受けている人で、支給額と実費の差が大きいものについて、小学 5 年生全体では「学用品費」が 29.9% 「その他」が 15.0%、「給食費」が 13.1%となっています。生活困難度別でも大きな差はみられませんが、非生活困難層で「給食費」が 26.3%と生活困窮層の 8.1%の約 3 倍となっています。

中学 2 年生では、全体で「学用品費」が 30.3%、「その他」が 15.6%、「校外授業費」が 10.1%となっています。生活困難度別でも大きな差はみられませんが、小学 5 年生同様、非生活困難層で「給食費」が他の層の約 2 倍と高くなっています。



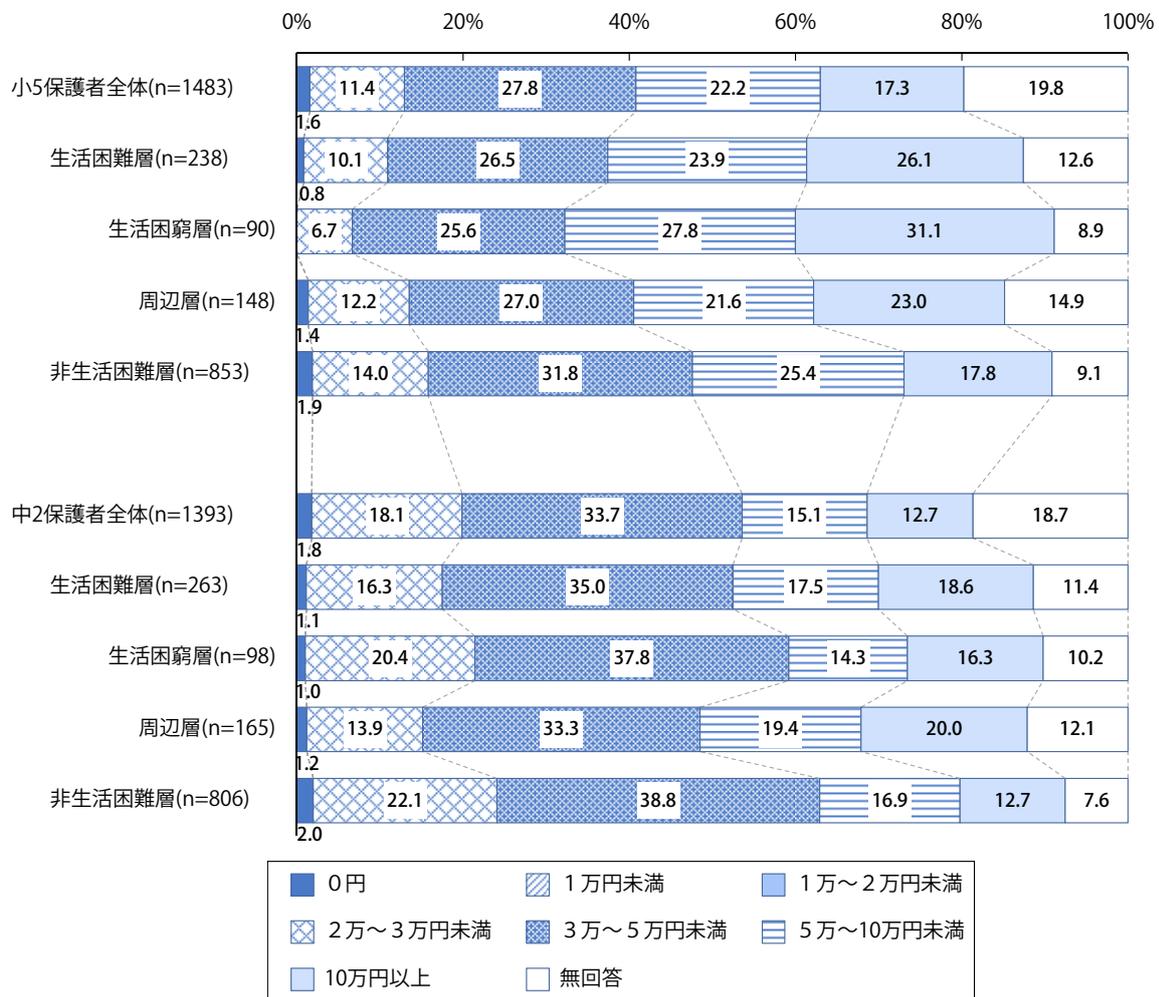
### 3 公的年金等の支給額

▼あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。(保/問21)

#### A 児童手当

児童手当の1回あたりの支給額について、小学5年生では、「3万～5万円未満」が高く、全体で27.8%、生活困窮層で25.6%、周辺層で27.0%、非生活困難層で31.8%となっています。また、生活困窮層の31.1%が「10万円以上」と回答しています。

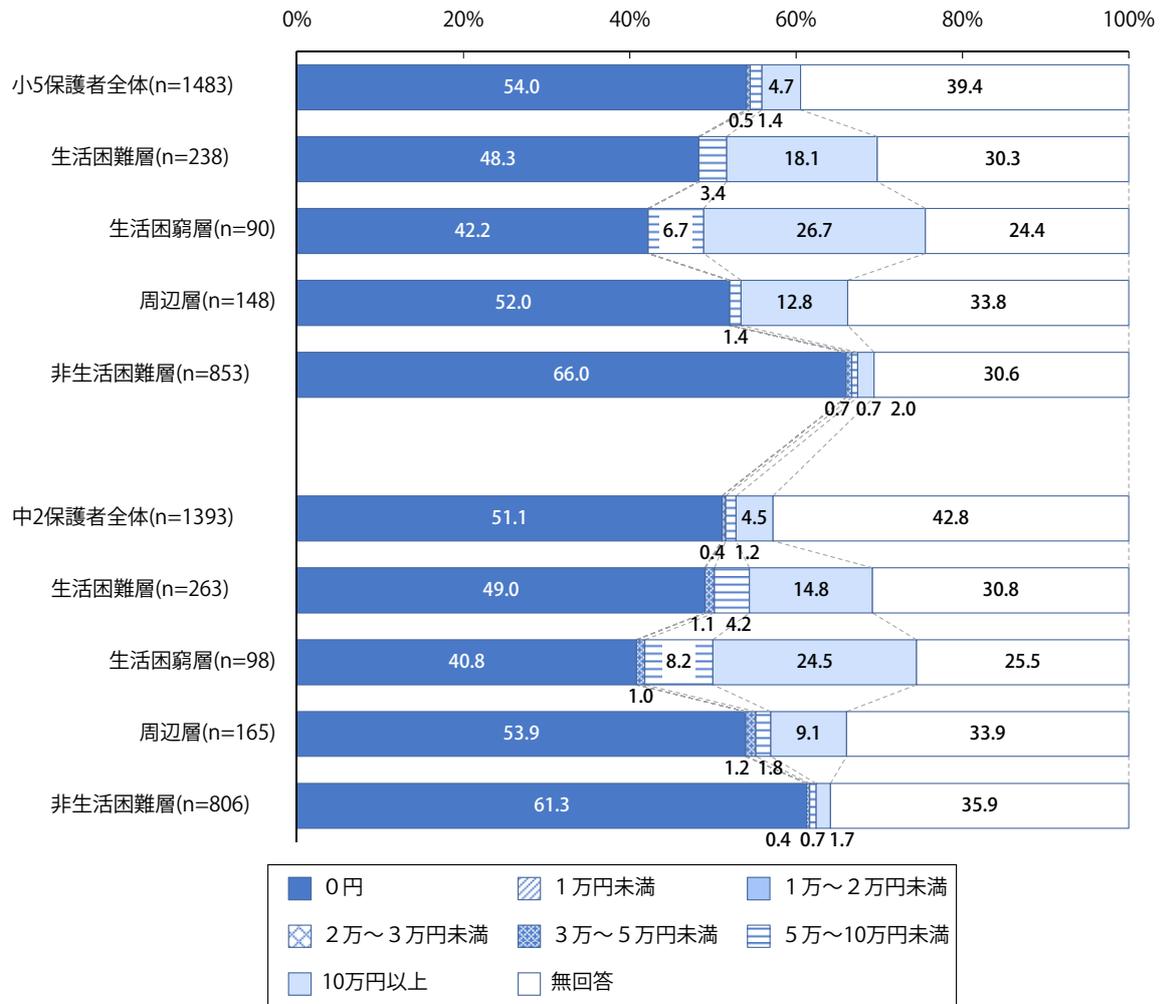
中学2年生でも同様に「3万～5万円未満」が高く、全体で33.7%、生活困窮層で37.8%、周辺層で33.3%、非生活困難層で38.8%となっています。また、周辺層の20.0%が「10万円以上」と回答しています。



▼あなたの世帯で、次のような公的年金，社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。(保/問 21)

## B 児童扶養手当

児童扶養手当の1回あたりの支給額について、「0円」が多数を占めていますが、「10万円以上」の割合を生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で26.7%，周辺層で12.8%，中学2年生の生活困窮層で24.5%，周辺層で9.1%となっています。

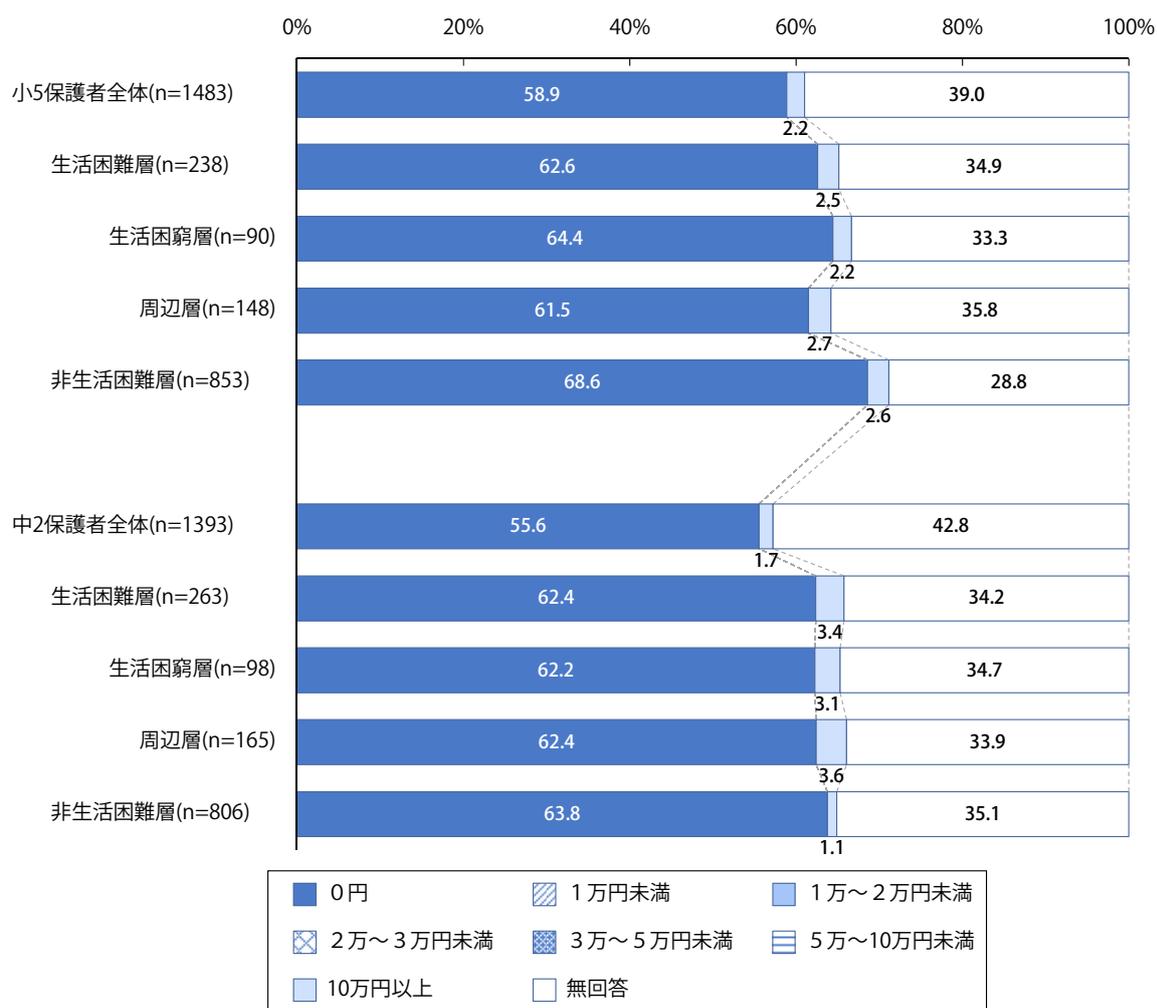


▼あなたの世帯で、次のような公的年金，社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。(保/問21)

### C 特別児童扶養手当

特別児童扶養手当の1回あたりの支給額について、いずれも「0円」が半数以上を占めており、「10万円以上」との回答は、小学5年生全体で2.2%，生活困窮層で2.2%，周辺層で2.7%，非生活困難層で2.6%となっています。

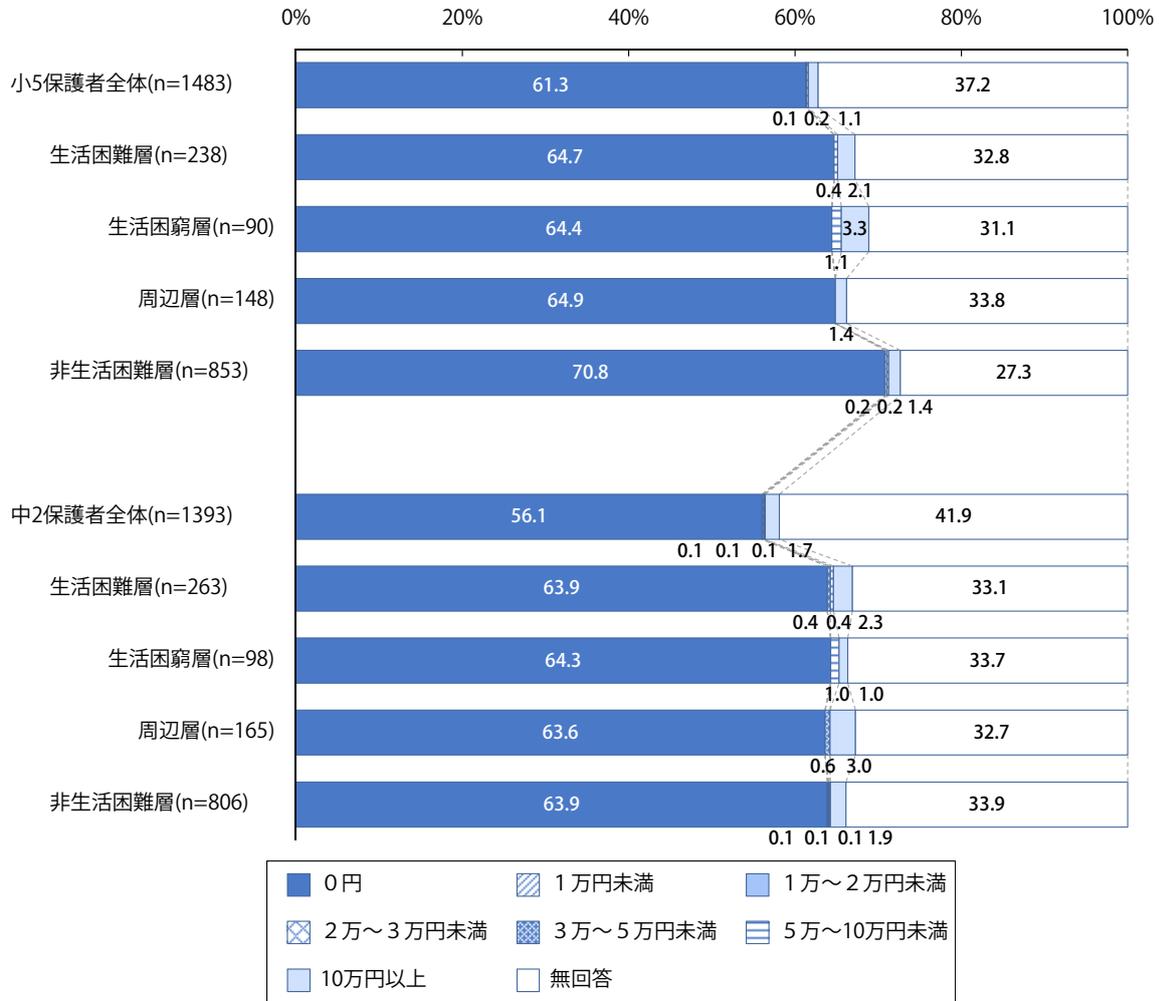
中学2年生では、全体で1.7%，生活困窮層で3.1%，周辺層で3.6%，非生活困難層で1.1%となっています。



▼あなたの世帯で、次のような公的年金，社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。(保/問21)

### D 年金（遺族年金，老齢年金など）

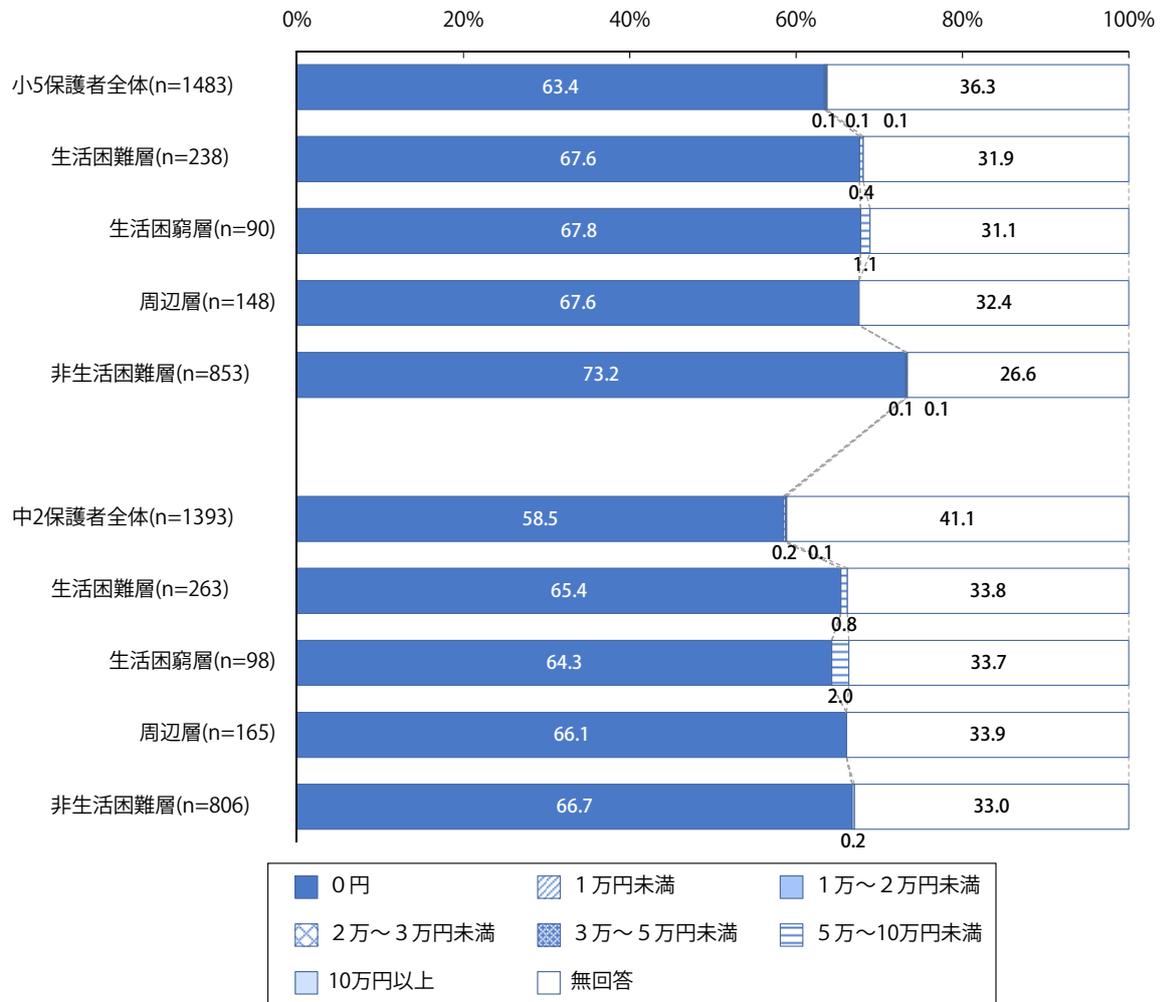
年金（遺族年金，老齢年金など）の1回あたりの支給額について，いずれも「0円」が多数を占めており，「10万円以上」との回答は，少数でいずれも3.5%未満となっています。



▼あなたの世帯で、次のような公的年金，社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。(保/問 21)

## E 生活保護

生活保護の1回あたりの支給額について、いずれも「0円」が6～7割前後で多数を占めています。



## 4 世帯年収

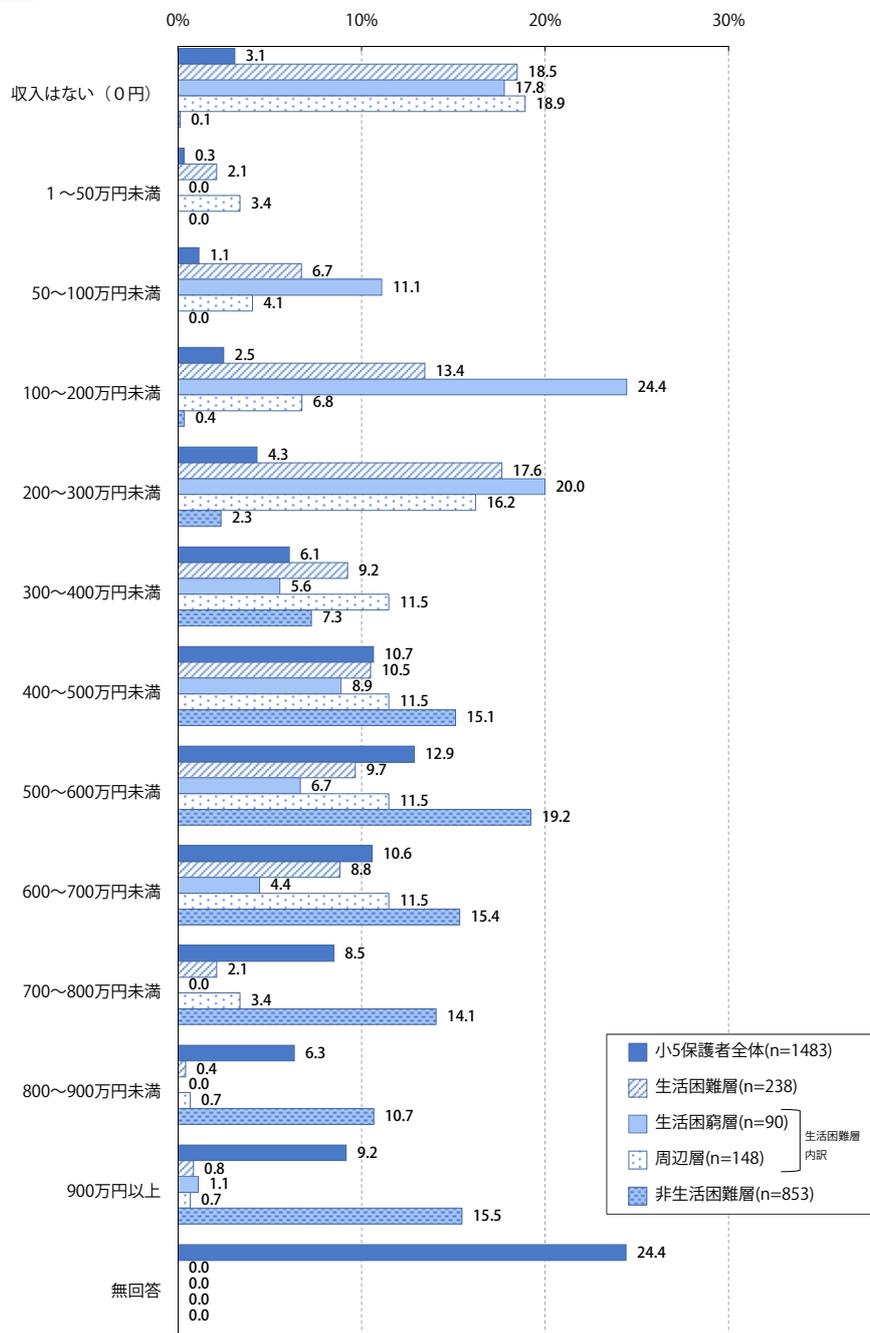
▼上記問 21 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。  
 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）はいくらですか。（保/問 22）

世帯の年間収入について、小学 5 年生全体では、「500～600 万円未満」が 12.9%、「400～500 万円未満」が 10.7%、「600～700 万円未満」が 10.6%となっています。

生活困窮層では「100～200 万円未満」が 24.4%、「200～300 万円未満」が 20.0%、「収入はない」が 17.8%となっています。

また、周辺層では「収入はない」が 18.9%で最も高くなっています。

### 小学 5 年生

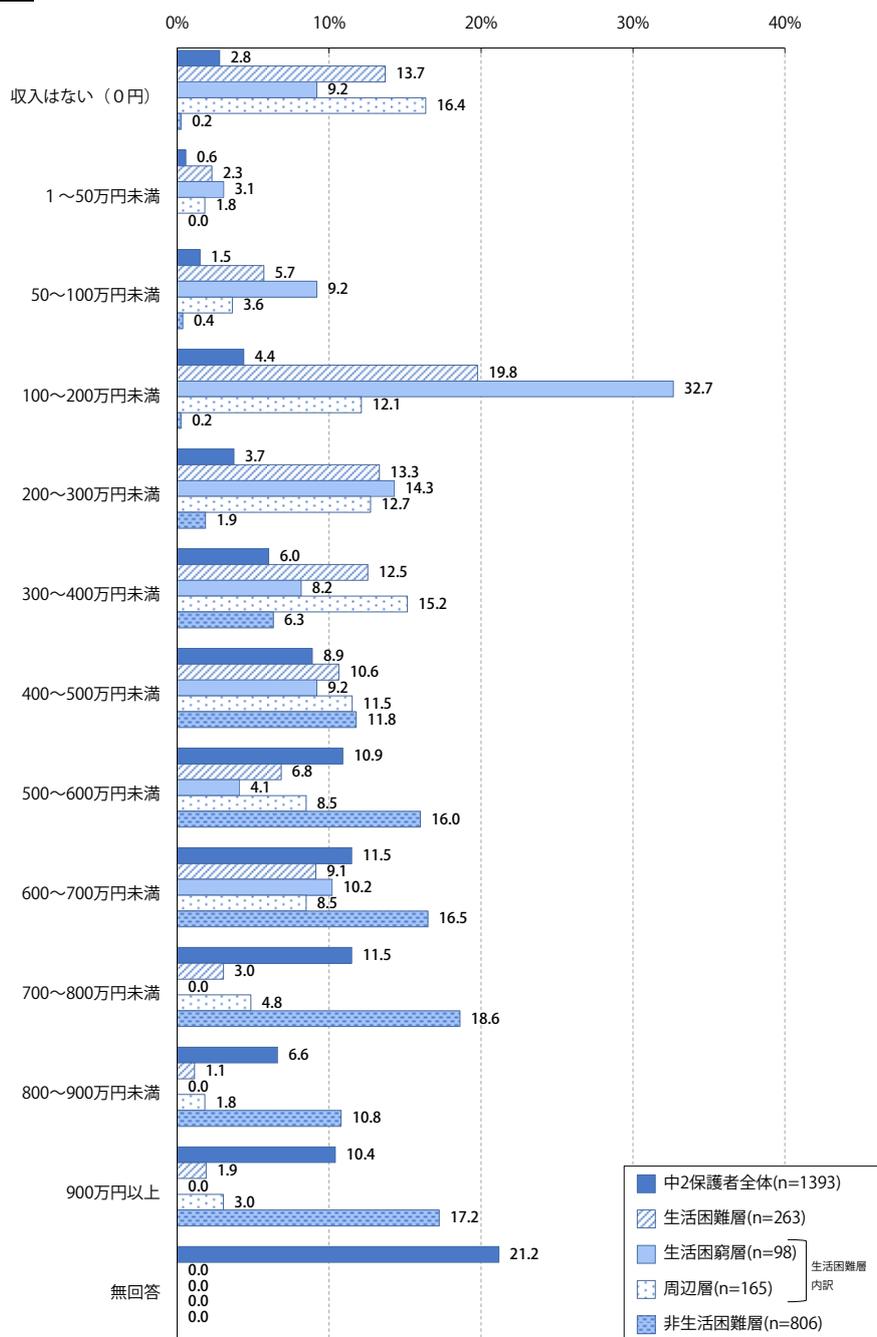


世帯の年間収入について、中学2年生全体では、「600～700万円未満」及び「700～800万円未満」が同率で11.5%、「500～600万円未満」が10.9%となっています。

生活困窮層では「100～200万円未満」が32.7%、「200～300万円未満」が14.3%、「600～700万円未満」が10.2%となっています。

また、周辺層では「収入はない」が16.4%で最も高くなっています。

## 中学2年生



## 5 子どもとのかかわり

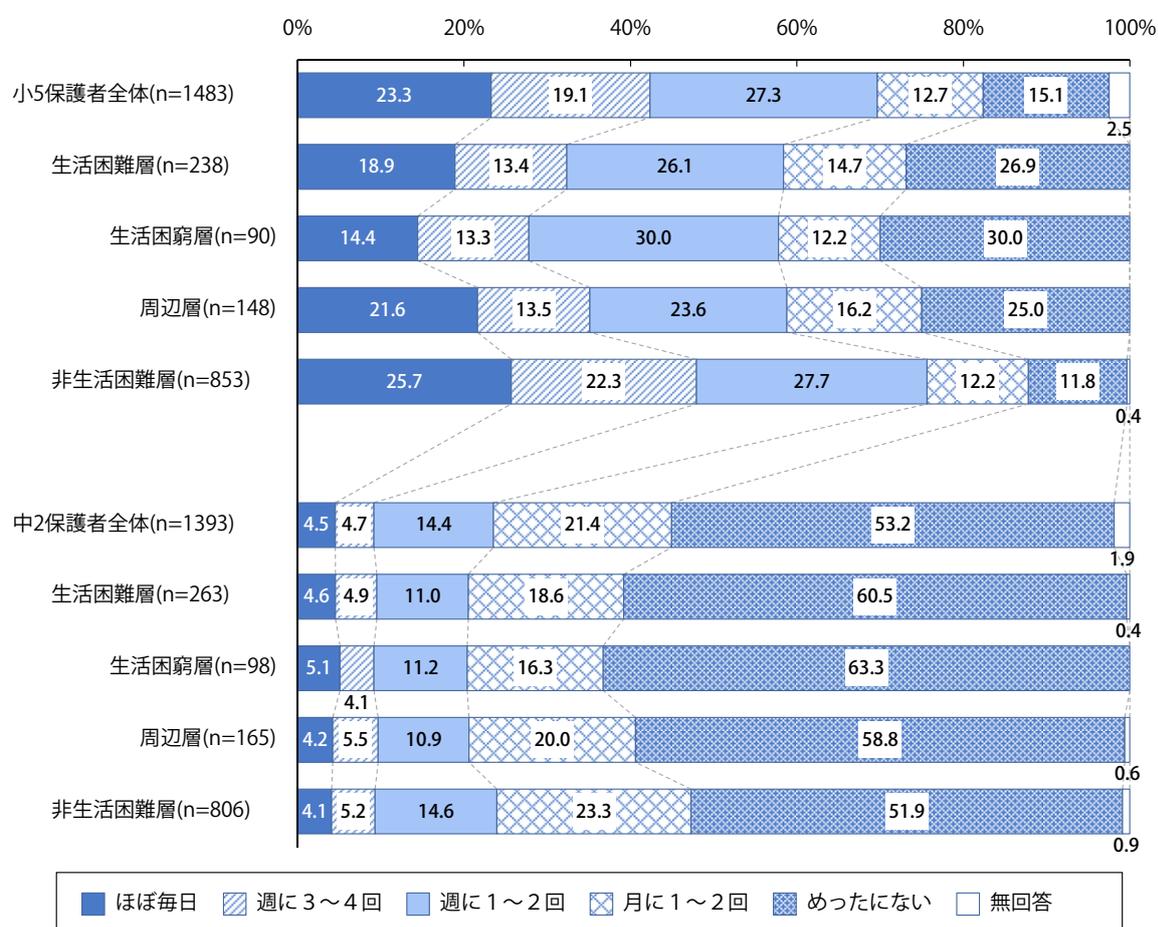
### (1) 子どもとのかかわり頻度

▼あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(保/問 25)

#### A 子どもの勉強をみる

子どもの勉強をみる頻度について、「ほぼ毎日」、「週に3~4回」及び「週に1~2回」を合わせた“週に1回以上”の割合を生活困難度別にみると、小学5年生では、非生活困難層の75.7%に対し、周辺層で58.7%、生活困窮層で57.7%と生活困窮層で18ポイントほど低くなっています。

中学2年生では小学5年生に比べかかわる頻度は減り、生活困窮層で20.4%、周辺層で20.6%、非生活困難層で23.9%と生活困難度による差はみられません。

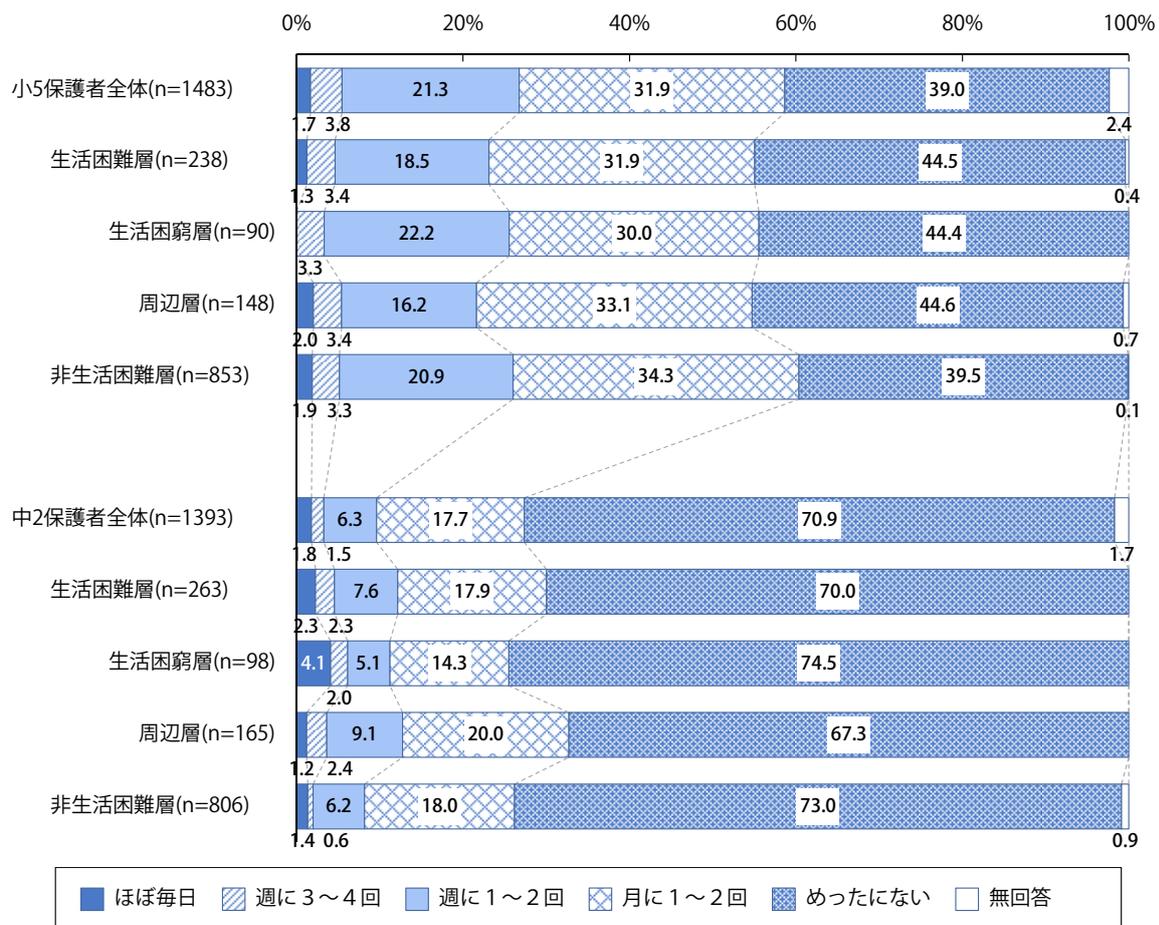


▼あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(保/問 25)

**B 子どもとからだを動かして遊ぶ(キャッチボールなど)**

子どもとからだを動かして遊ぶ頻度について、「ほぼ毎日」、「週に3～4回」及び「週に1～2回」を合わせた“週に1回以上”の割合を生活困難度別にみると、小学5年生では、生活困窮層で25.5%、周辺層で21.6%、非生活困難層で26.1%となっています。

中学2年生では小学5年生に比べかわる頻度は減り、生活困窮層で11.2%、周辺層で12.7%、非生活困難層で8.2%となっており、小学5年生、中学2年生とも生活困難度による差はみられません。

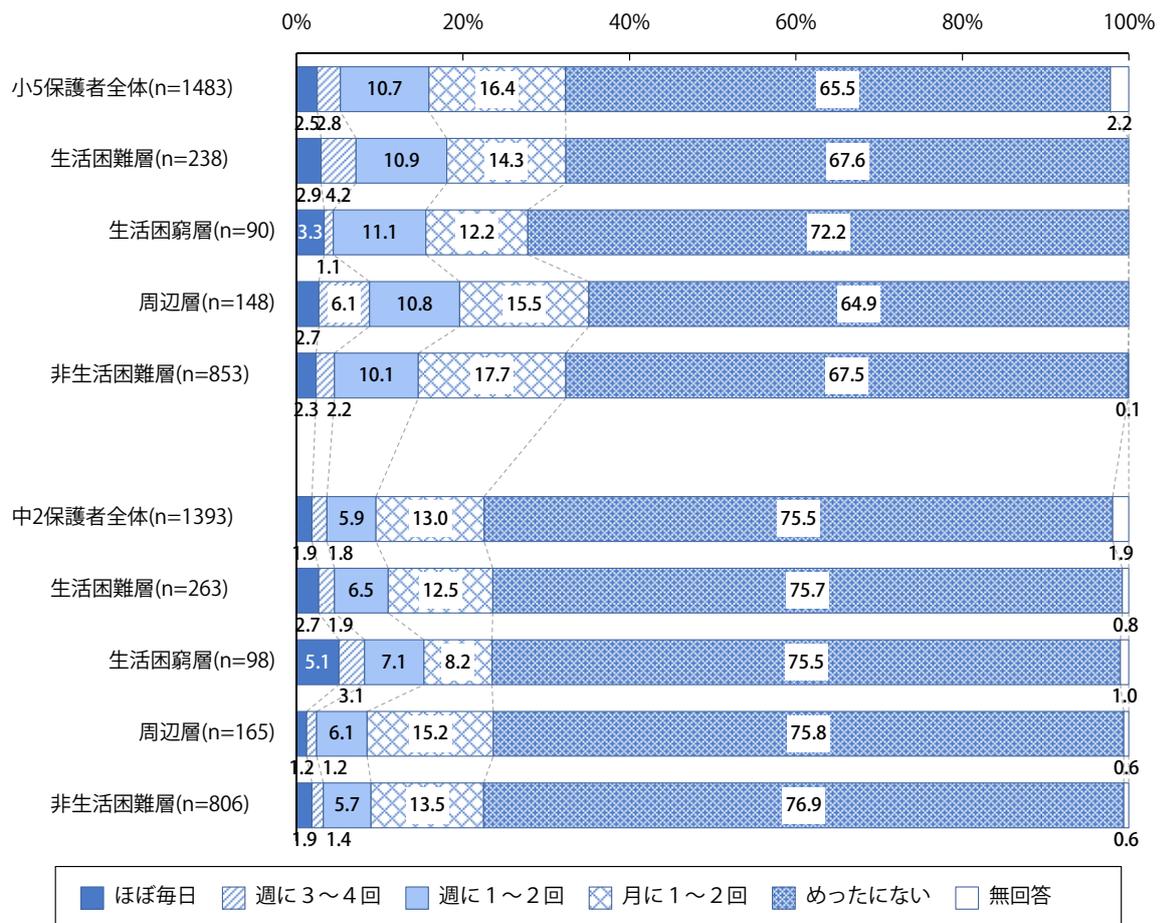


▼あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることができますか。(保/問 25)

C 子どもとコンピュータゲームで遊ぶ(テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど)

子どもとコンピュータゲームで遊ぶ頻度について、小学5年生、中学2年生のいずれも「めったにない」が多数を占め小学5年生全体で65.5%、中学2年生全体で75.5%となっています。

生活困難度別に「めったにない」の割合をみると、小学5年生の生活困窮層でやや高くなっていますが、中学2年生では生活困難による大きな差はみられません。



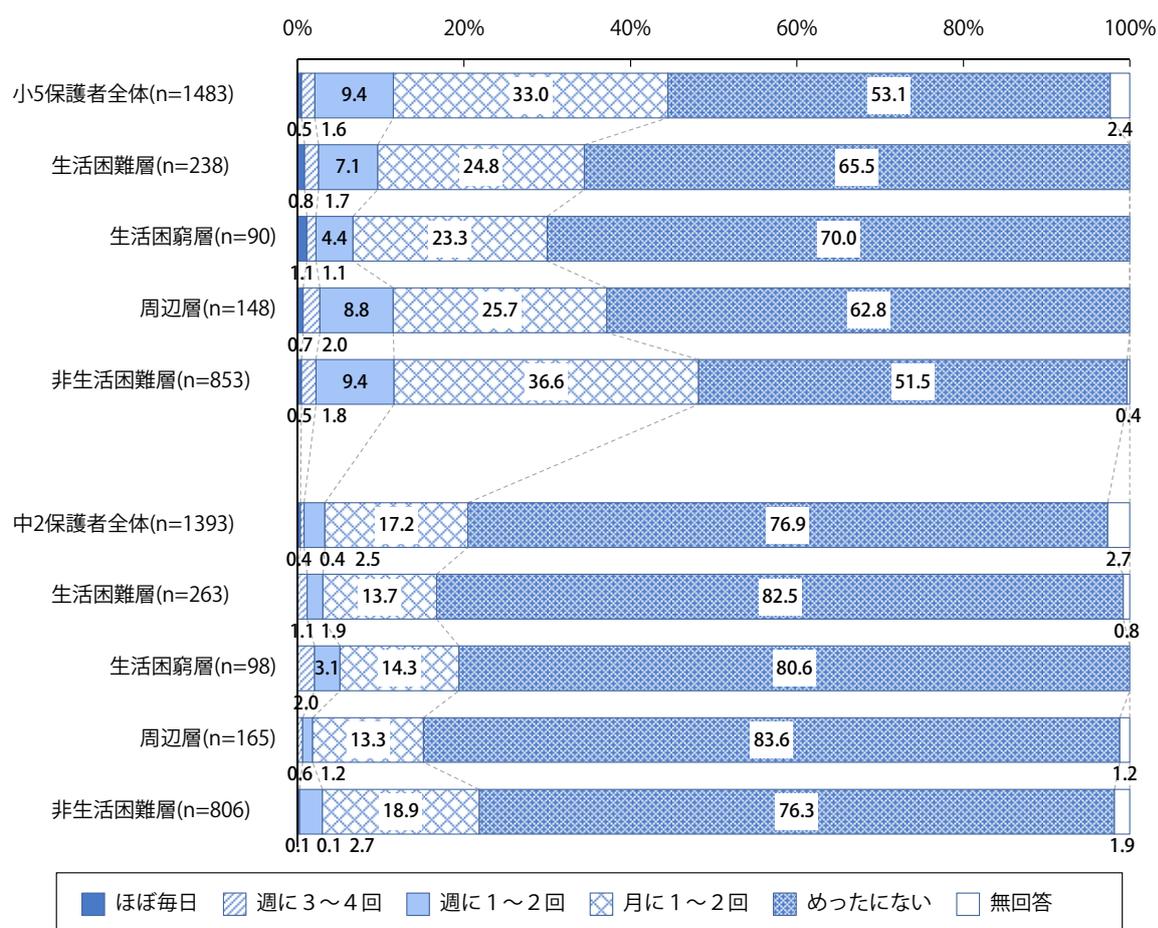
▼あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(保/問 25)

**D 子どもとカードゲームなどで遊ぶ(トランプ・ボードゲーム・将棋など)**

子どもとカードゲームなどで遊ぶ頻度について、小学5年生全体で、「めったにない」が53.1%と半数近くを占め、「月に1~2回」は33.0%となっています。

生活困難度別にみると、「めったにない」が生活困窮層で70.0%、周辺層で62.8%、非生活困難層で51.5%と生活困難度が高い層ほど割合が高くなっています。

中学2年生全体では「めったにない」が多数を占め76.9%となっており、生活困難度による大きな差は見られません。

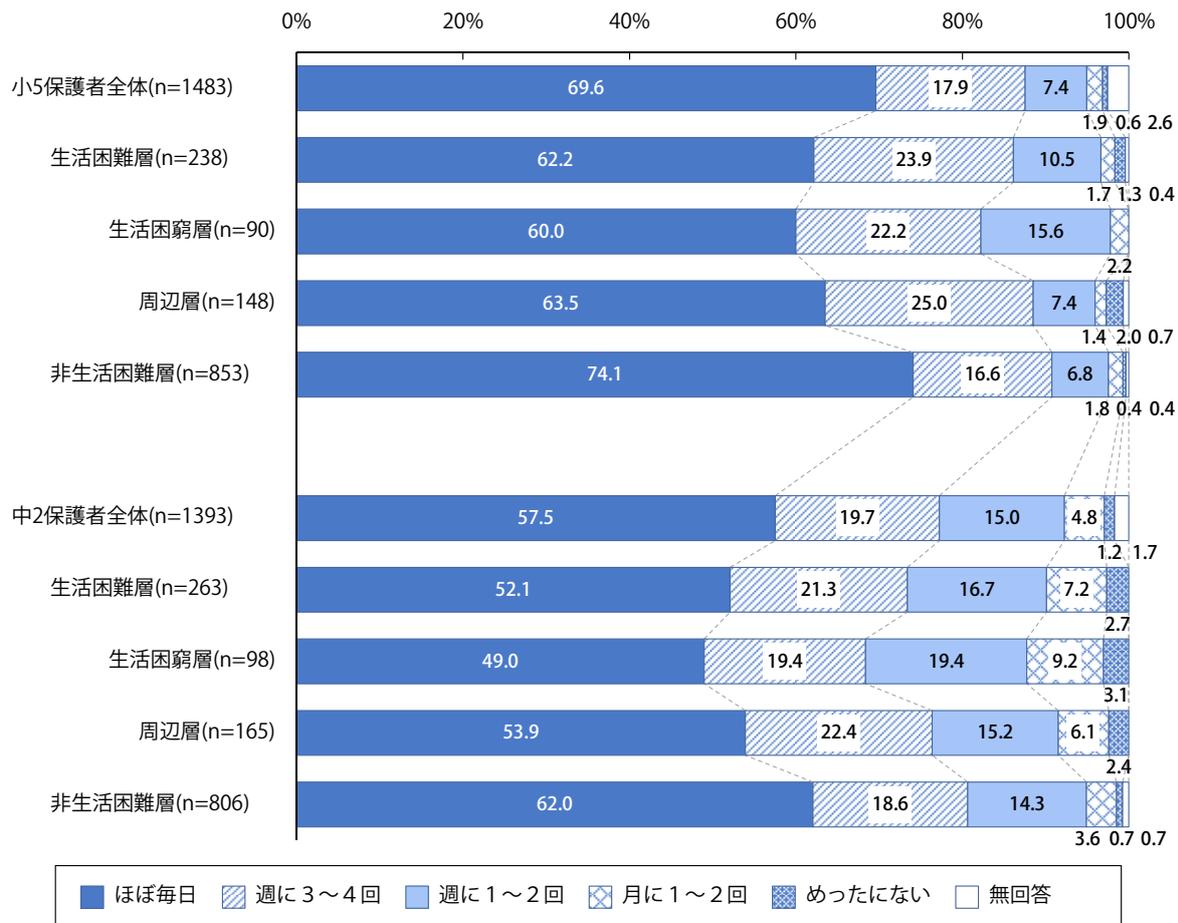


▼あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(保/問 25)

E 子どもと学校生活の話をする

子どもと学校生活の話をする頻度について、「ほぼ毎日」が多数を占め小学 5 年生全体で 69.6%，生活困難度別では，生活困窮層で 60.0%，周辺層で 63.5%，非生活困難層で 74.1%と生活困難度が高い層ほど割合が低くなっています。

中学 2 年生では小学 5 年生に比べ 10 ポイントほど低く，全体で 57.5%となっています。生活困難度別でも小学 5 年生と同様の傾向となっています。

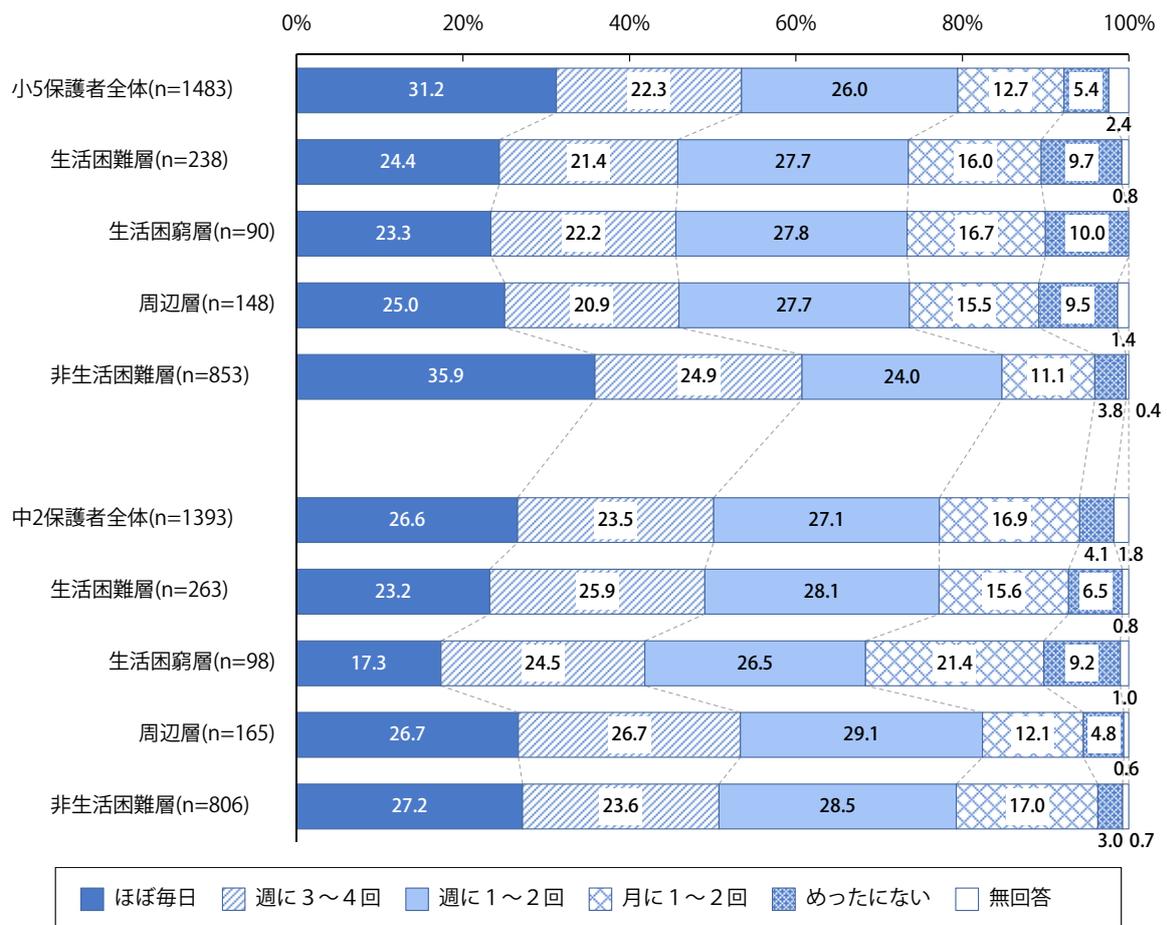


▼あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(保/問 25)

F 子どもと勉強や成績の話をする

子どもと勉強や成績の話をする頻度について、「ほぼ毎日」、「週に3～4回」及び「週に1～2回」を合わせた“週に1回以上”の割合は7～8割と高くなっていますが、生活困難度別にみると、小学5年生では、非生活困難層の84.8%に対し、生活困窮層で73.3%、周辺層で73.6%と10ポイントほど低くなっています。

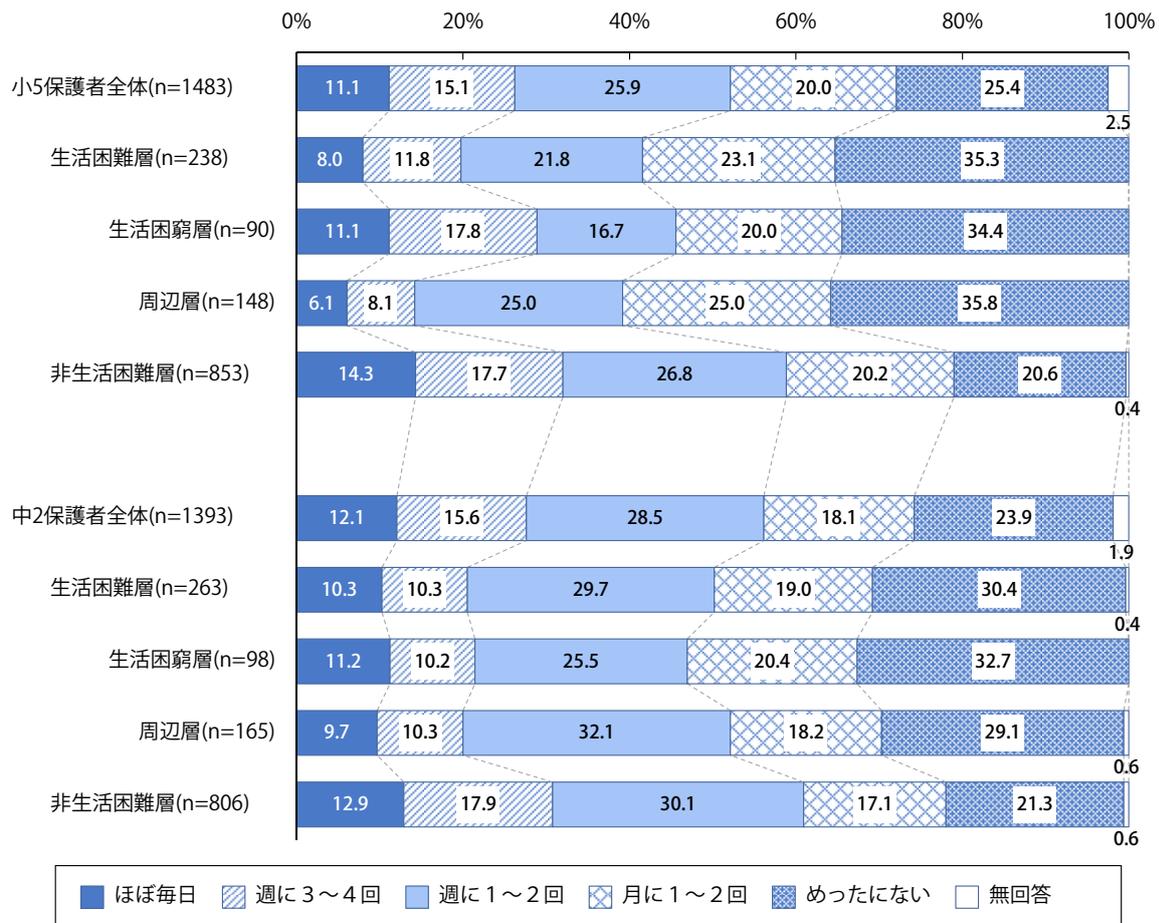
中学2年生では、周辺層の82.5%、非生活困難層の79.3%に対し、生活困窮層で68.3%と11ポイントほど低くなっています。



▼あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(保/問 25)

### G 子どもと政治経済・社会問題などのニュースの話をする

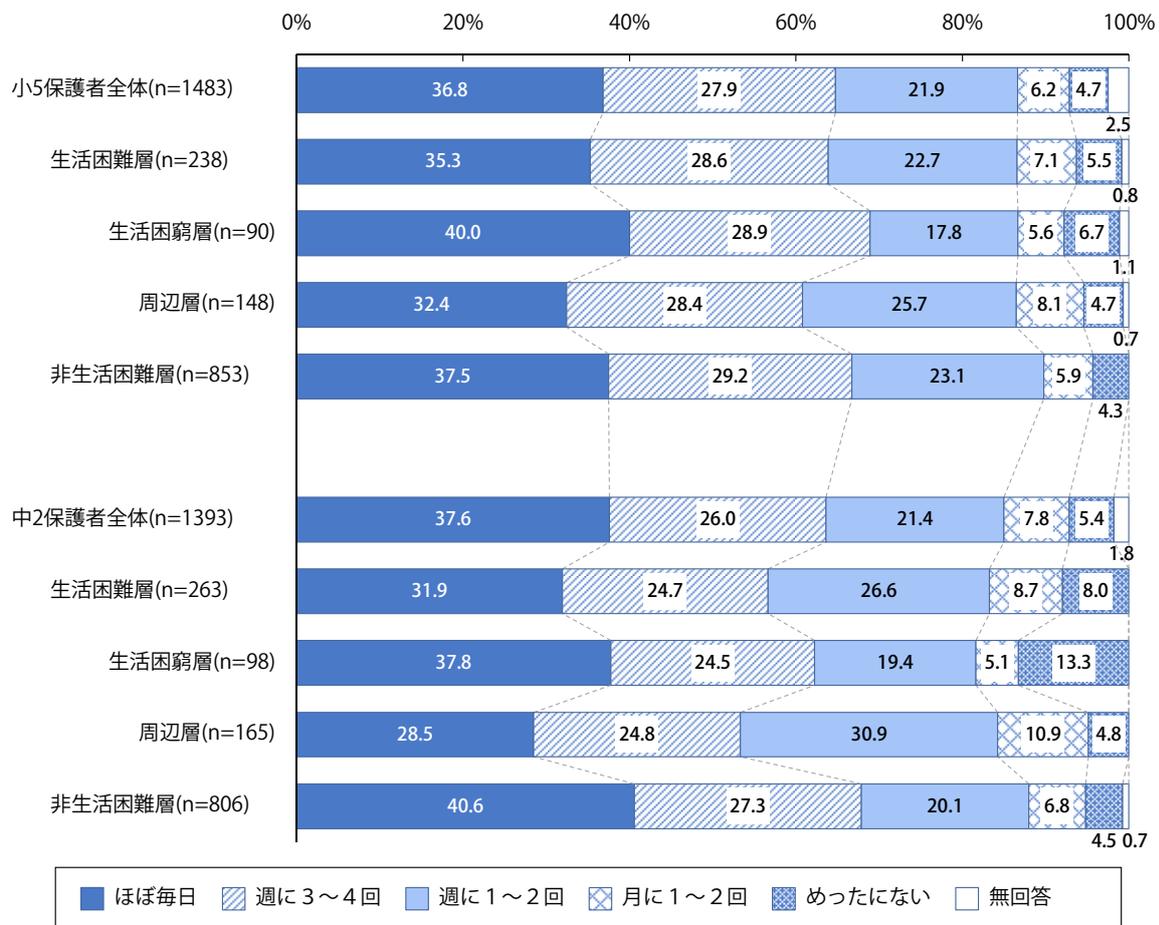
子どもと政治経済・社会問題などのニュースの話をする頻度について、「ほぼ毎日」、「週に3～4回」及び「週に1～2回」を合わせた“週に1回以上”の割合を生活困難度別にみると、小学5年生では、生活困窮層で45.6%、周辺層で39.2%、非生活困難層で58.8%と周辺層で低く、中学2年生では、生活困窮層で46.9%、周辺層で52.1%、非生活困難層で60.9%と生活困難度が高い層ほど、割合は低くなっています。



▼あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(保/問 25)

## H 子どもとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする

子どもとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする頻度について、「ほぼ毎日」、「週に3～4回」及び「週に1～2回」を合わせた“週に1回以上”の割合は8割を超え多数を占めています。また、生活困難度別でも、小学5年生では、生活困窮層で86.7%、周辺層で86.5%、非生活困難層で89.8%と大きな差はみられず、中学2年生でも同様の傾向となっています。

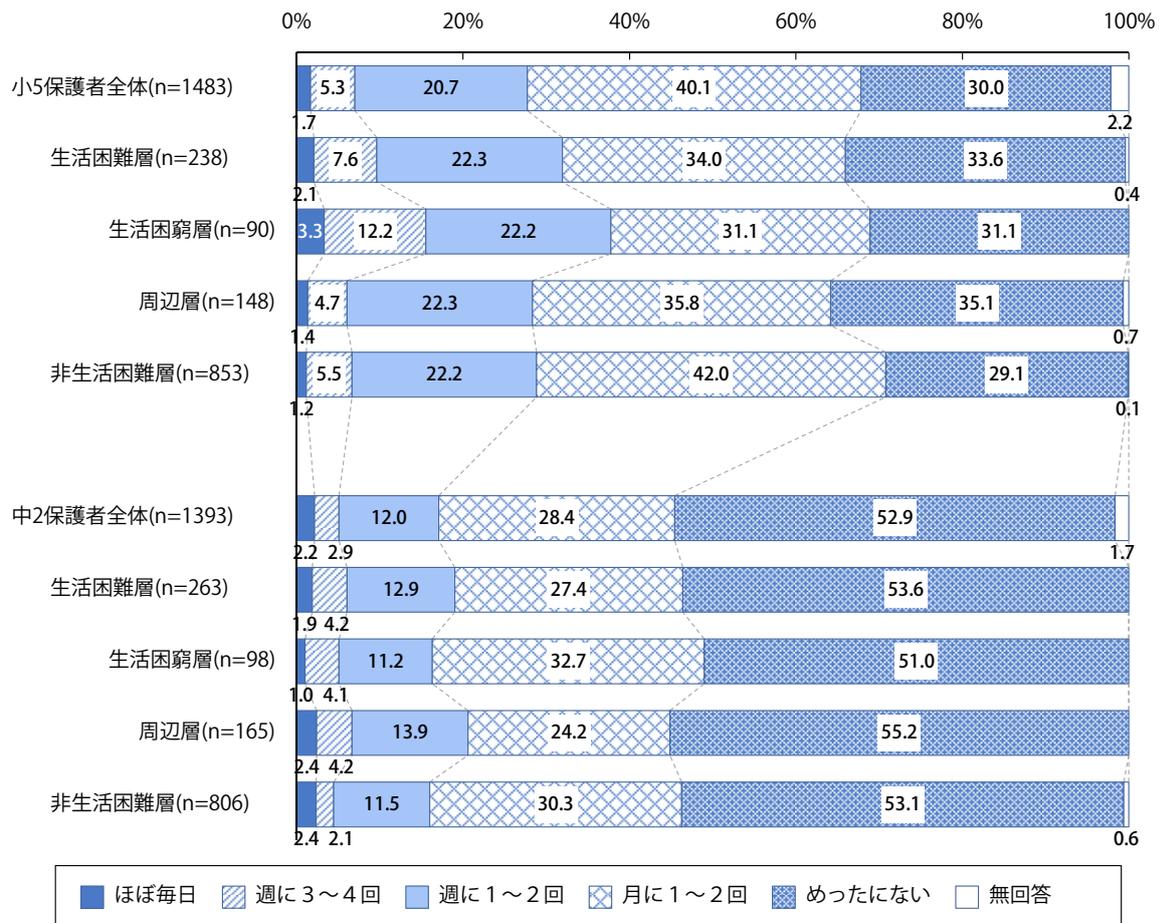


▼あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(保/問 25)

Ⅰ 子どもと一緒に料理をする

子どもと一緒に料理をする頻度については、小学5年生では、全体で「月に1~2回」が40.1%、「めったにない」が30.0%となっており、生活困難度別でも同様の傾向がみられます。

中学2年生では、小学5年生に比べ一緒に料理をする頻度は低く、「めったにない」が全体で52.9%、生活困窮層で51.0%、周辺層で55.2%、非生活困難層で53.1%と半数を占めています。

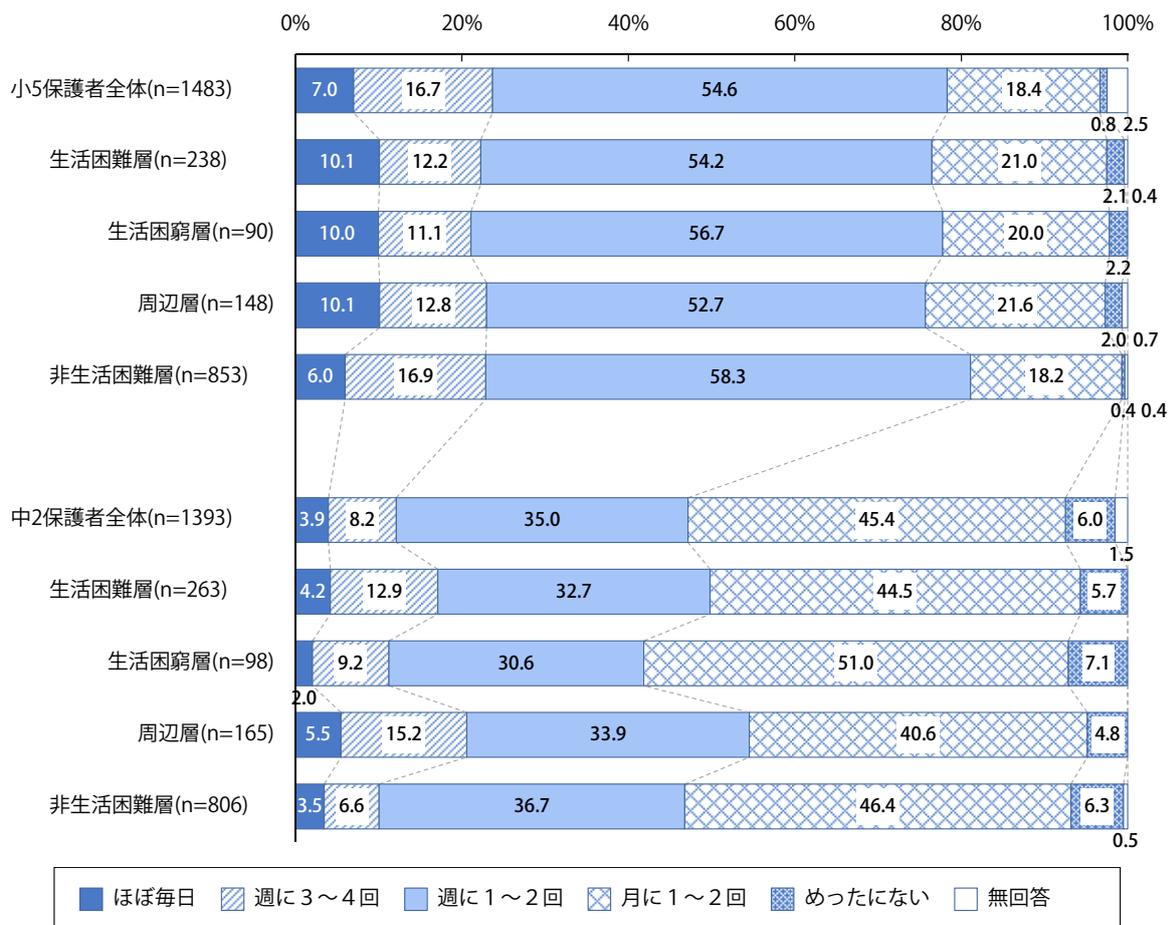


▼あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(保/問 25)

Ｊ 子どもと一緒に外出をする

子どもと一緒に外出をする頻度について、小学5年生では「週に1～2回」が半数を占め、全体で54.6%、生活困窮層で56.7%、周辺層で52.7%、非生活困難層で58.3%となっています。

中学2年生では、小学5年生に比べ一緒に外出する頻度は低くなり、全体で「月に1～2回」が45.4%、「週に1～2回」が35.0%となっています。生活困難度別でも大きな差はみられず同様の傾向となっています。

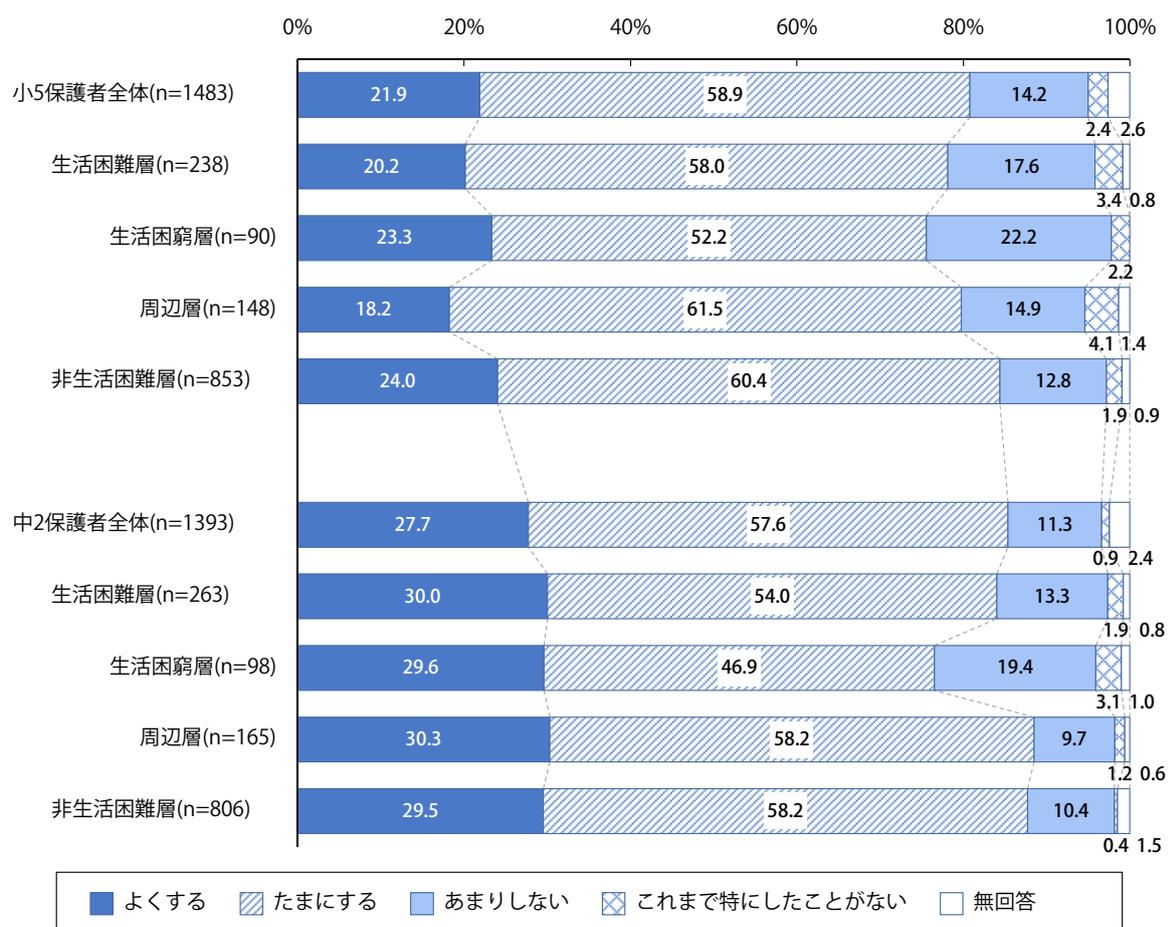


## (2) 子どもの将来についての会話

▼あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。（保/問 26）

子どもの将来についての会話の頻度について、「よくする」「たまにする」を合わせた割合は、小学5年生全体で80.8%、中学2年生全体で85.3%となっています。

生活困難度別にみても8割前後と多数を占めている一方、「あまりしない」「これまで特にしたことがない」を合わせた割合は小学5年生の生活困窮層で24.4%、中学2年生の生活困窮層で22.5%とやや高くなっています。



## 6 子どものしつけ

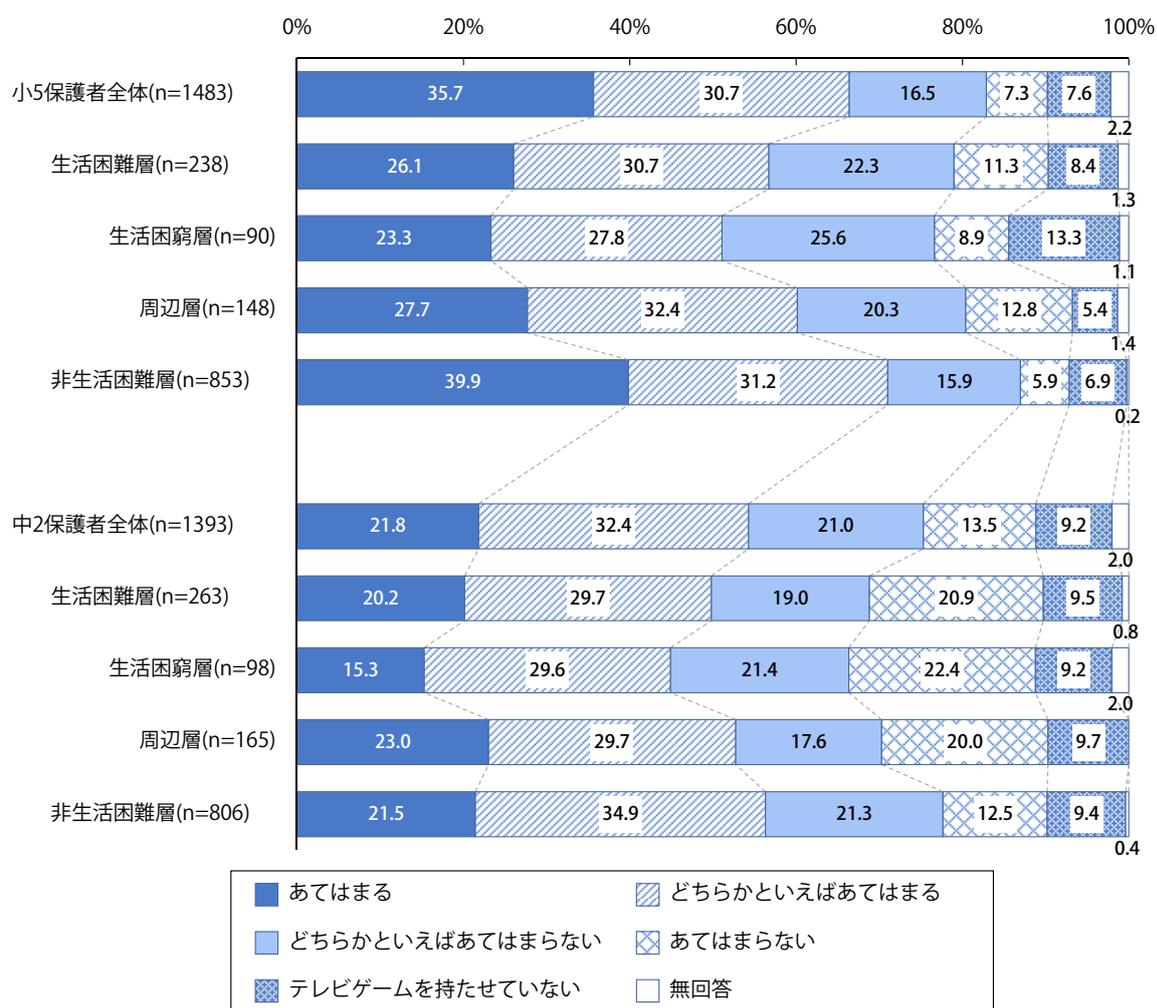
▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

### A テレビゲームで遊ぶ時間を限定している

テレビゲームで遊ぶ時間を限定しているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で35.7%、中学2年生全体で21.8%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で23.3%、周辺層で27.7%、非生活困難層で39.9%と、生活困難度が高い層ほど「あてはまる」の割合は低くなっています。

中学2年生では、周辺層の23.0%、非生活困難層の21.5%に対し、生活困窮層で15.3%とやや低くなっています。

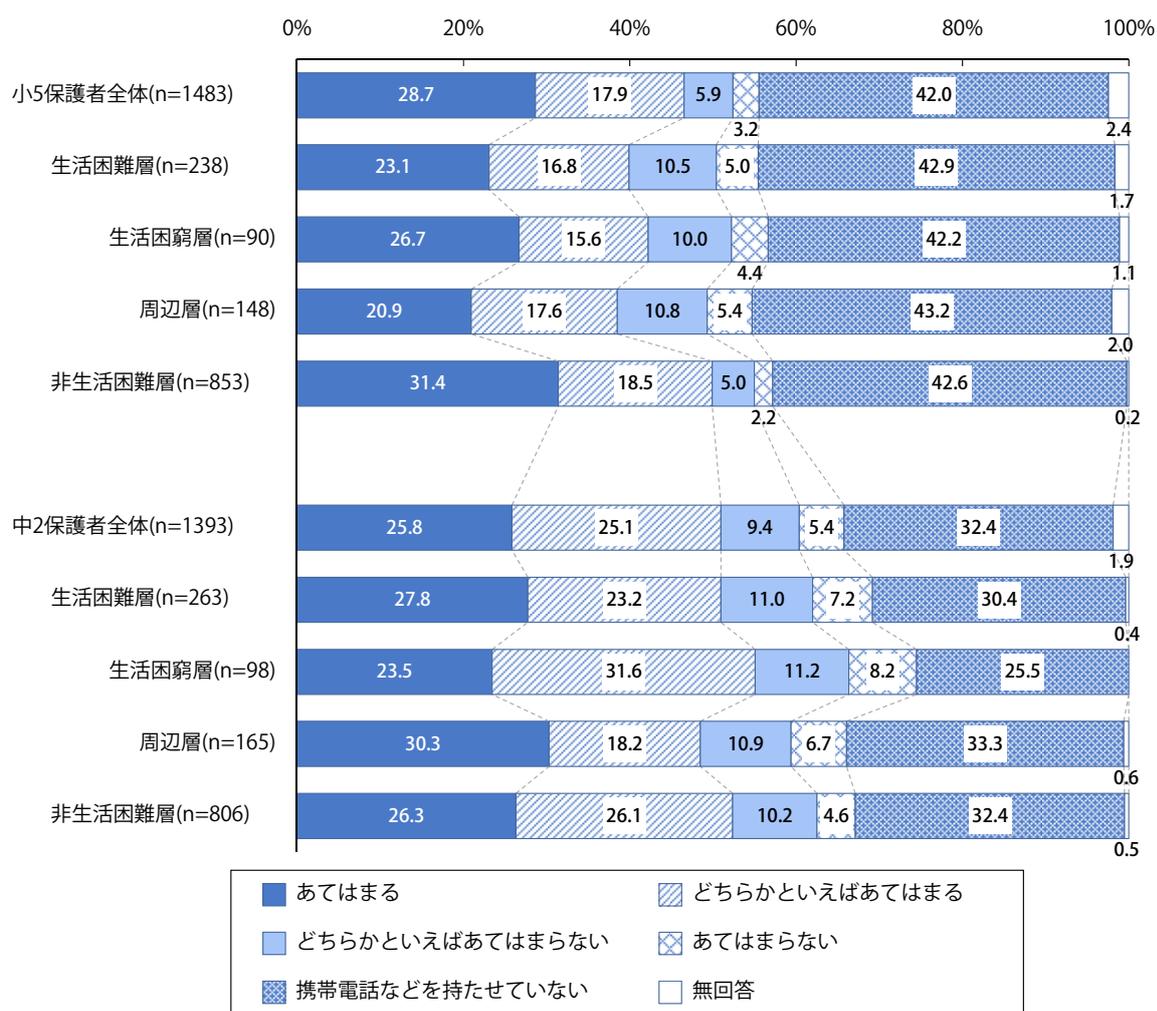


▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

**B 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている**

スマートフォンなどの使い方についてルールをつくっているかについて、「携帯電話などを持たせていない」が小学5年生では4割、中学2年生でも約3割を占めていますが、中学2年生の生活困窮層は25.5%とやや低くなっています。

生活困難度別に「あてはまる」の割合をみると、小学5年生では非生活困難層の31.4%に対し周辺層で20.9%と10ポイントほど低く、中学2年生では、非生活困難層の26.3%に対し生活困窮層で23.5%と低く、周辺層で30.3%と高くなっています。

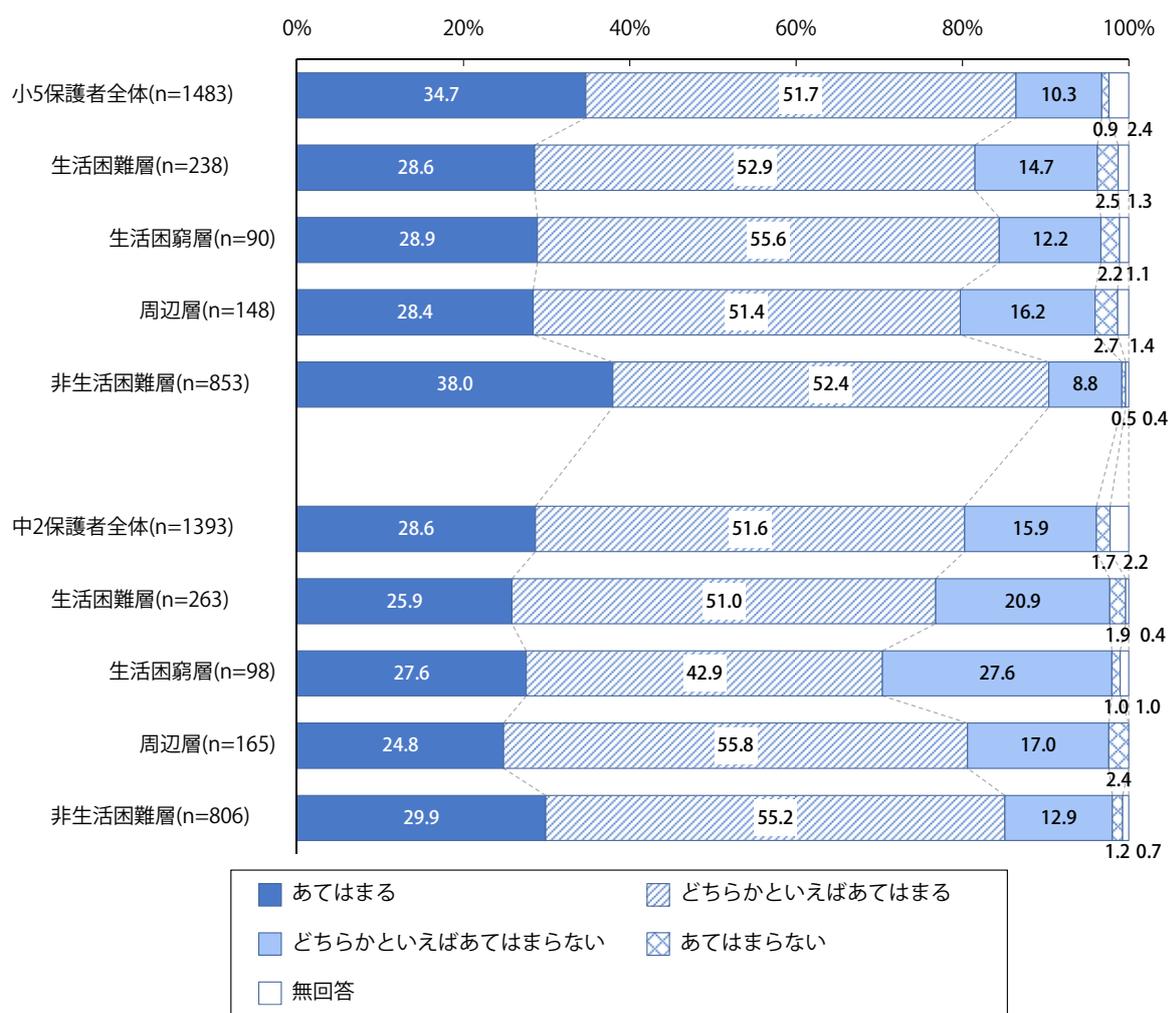


▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

C 子どものよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている

よいところをほめるなどして自信を持たせるようにしているかについて、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる”の割合は、小学5年生全体で86.4%、中学2年生全体で80.2%となっています。

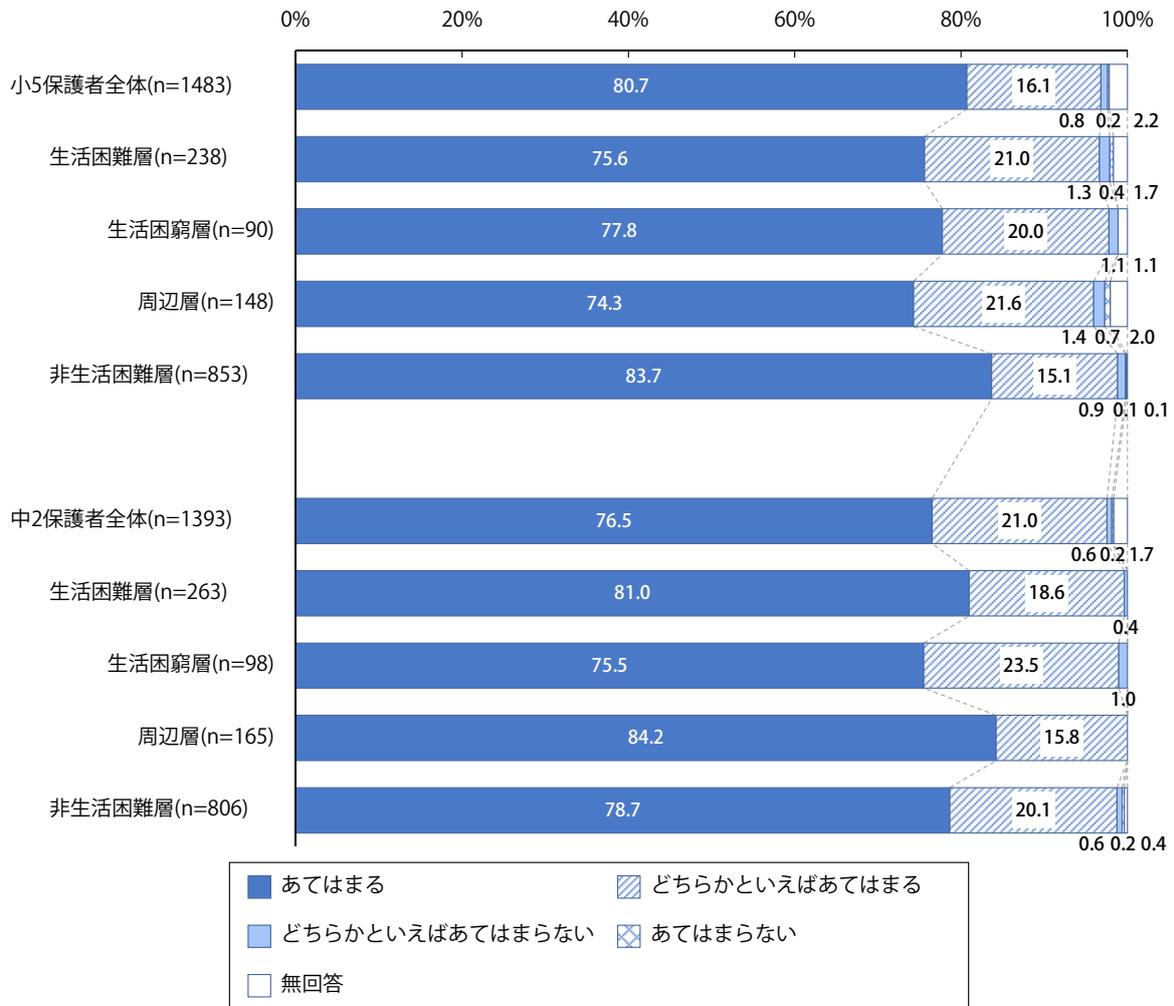
生活困難度別では、小学5年生の非生活困難層の90.4%に対し周辺層で79.8%と10ポイント低く、中学2年生では、生活困窮層で70.5%、周辺層で80.6%、非生活困難層で85.1%と生活困難度が高い層ほど割合は低くなっています。



▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

D 子どもが悪いことをしたらきちんと叱っている

悪いことをしたらきちんと叱っているかについて、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる”の割合は、小学5年生、中学2年生とも95%を超えており、生活困難度による差はみられません。

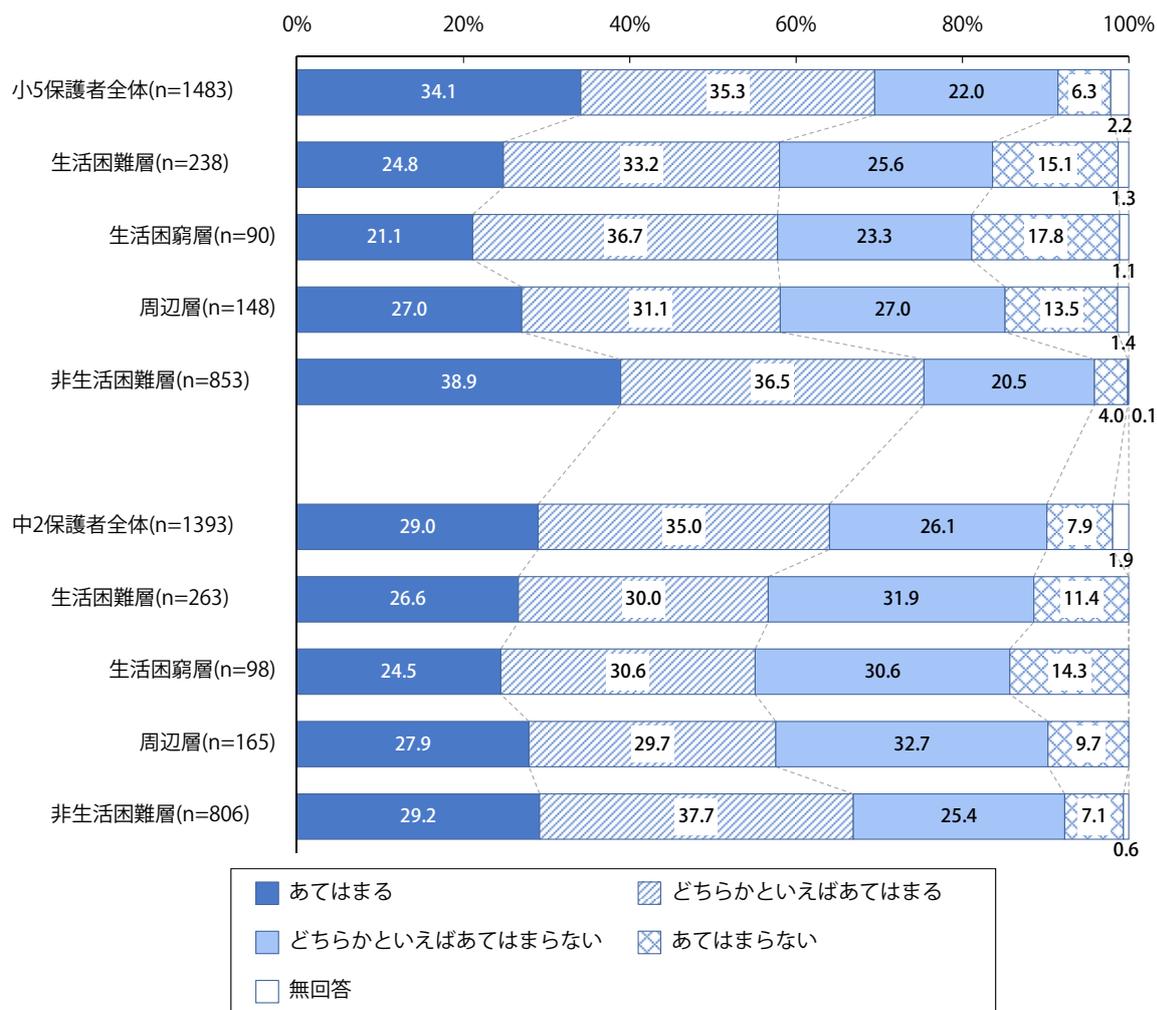


▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

E 子どもに本や新聞を読むようにすすめている

本や新聞を読むようにすすめているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で34.1%、中学2年生全体で29.0%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で21.1%、周辺層で27.0%、非生活困難層で38.9%と、生活困難度が高い層ほど「あてはまる」の割合は低く、中学2年生でも小学5年生ほどの差はないものの同様の傾向となっています。



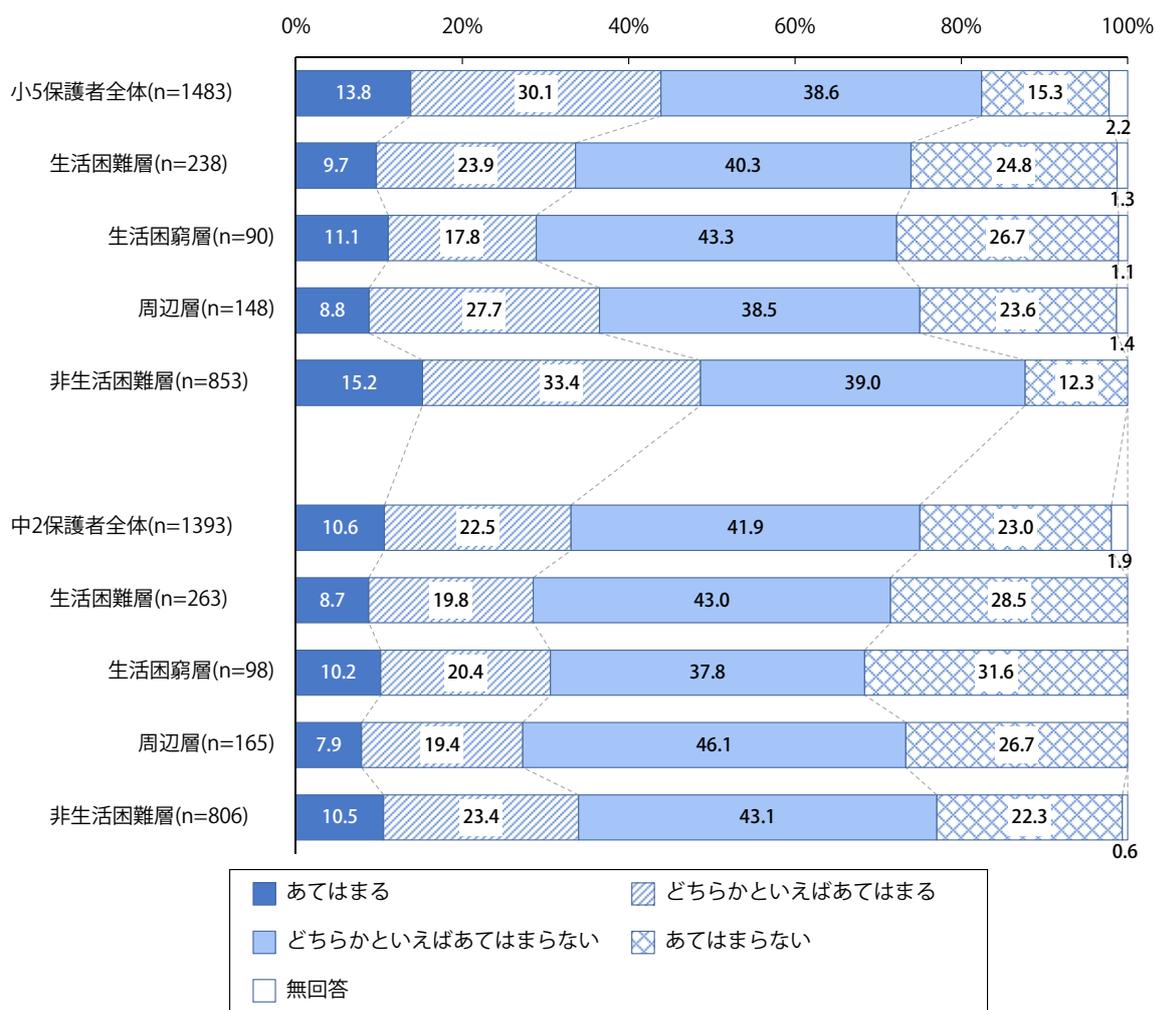
▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

F 子どもと読んだ本の感想を話し合ったりしている

読んだ本の感想を話し合ったりしているかについて、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる”の割合は、小学5年生全体で43.9%、中学2年生全体で33.1%となっています。

生活困難度別でみると、小学5年生の生活困窮層で28.9%、周辺層で36.5%、非生活困難層で48.6%と生活困難度が高い層ほど割合は低くなっています。

中学2年生では、生活困難度による大きな差はみられません。

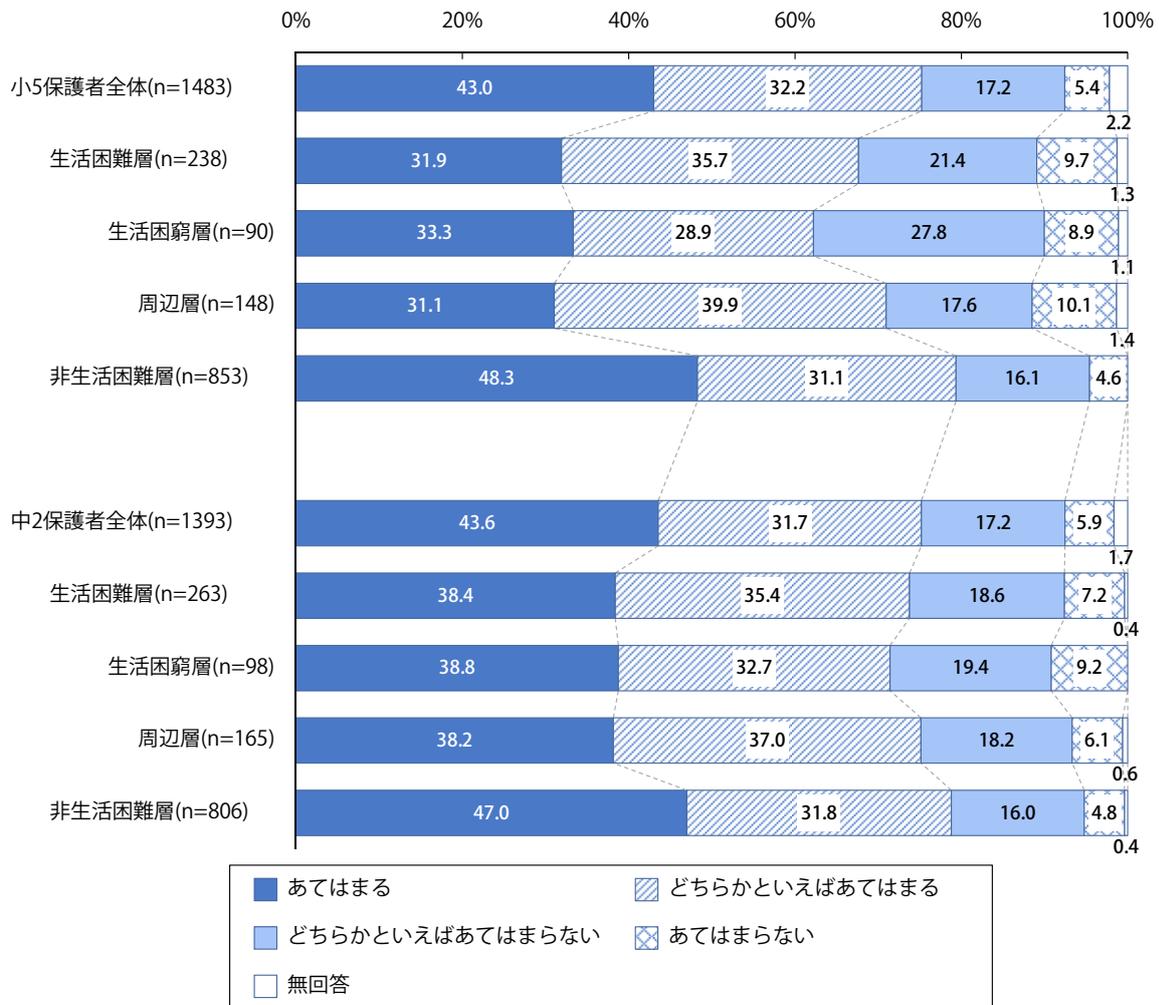


▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

G 子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをした

小さいころ、絵本の読み聞かせをしたかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で43.0%、中学2年生全体で43.6%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の非生活困難層の48.3%に対し、生活困窮層で33.3%、周辺層で31.1%となっており、中学2年生でも同様の傾向となっています。

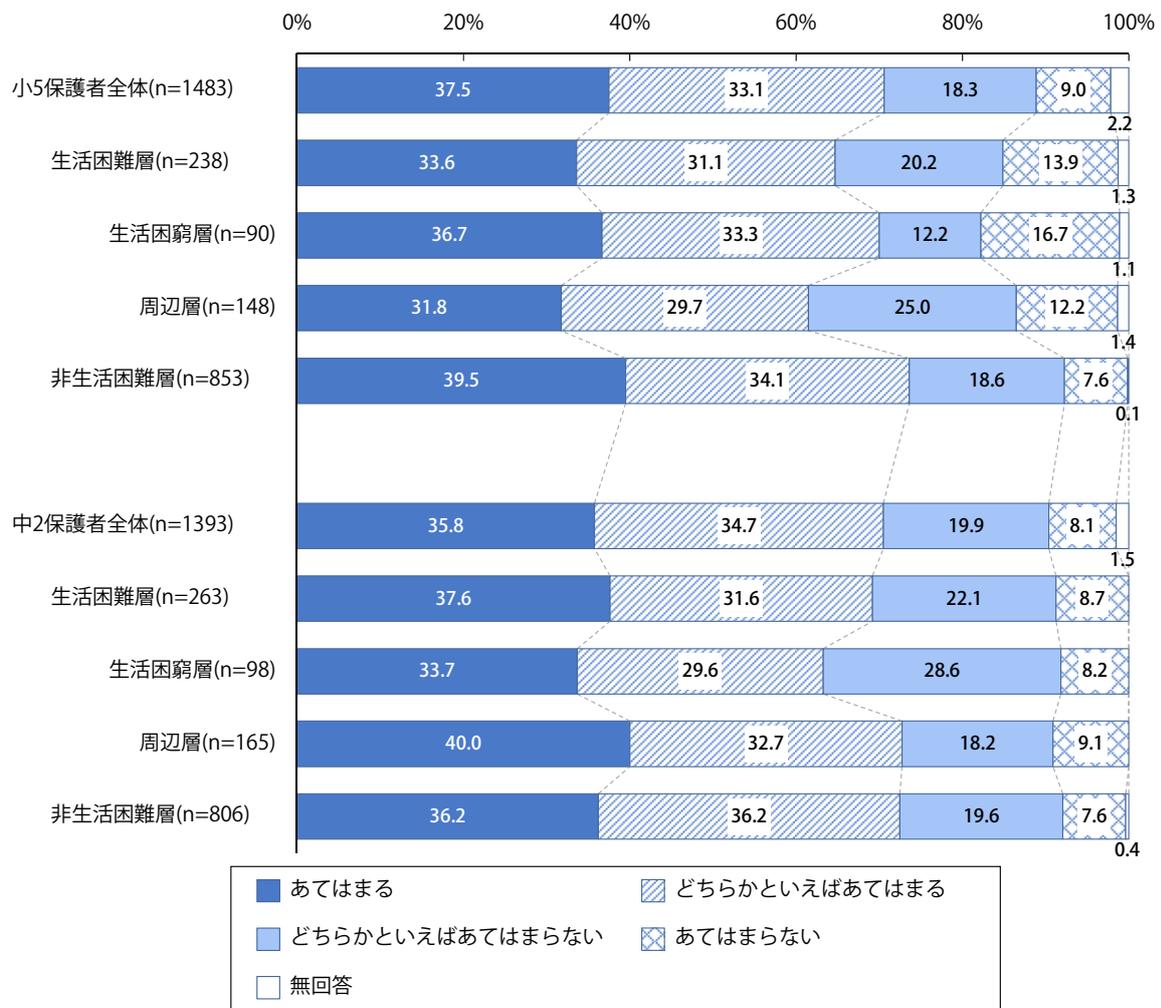


▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

H 子どもに「勉強しなさい」とよく言っている

『勉強しなさい』とよく言っているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で37.5%、中学2年生全体で35.8%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の周辺層の31.8%、中学2年生の生活困窮層の33.7%が、「あてはまる」と回答した割合が低くなっています。

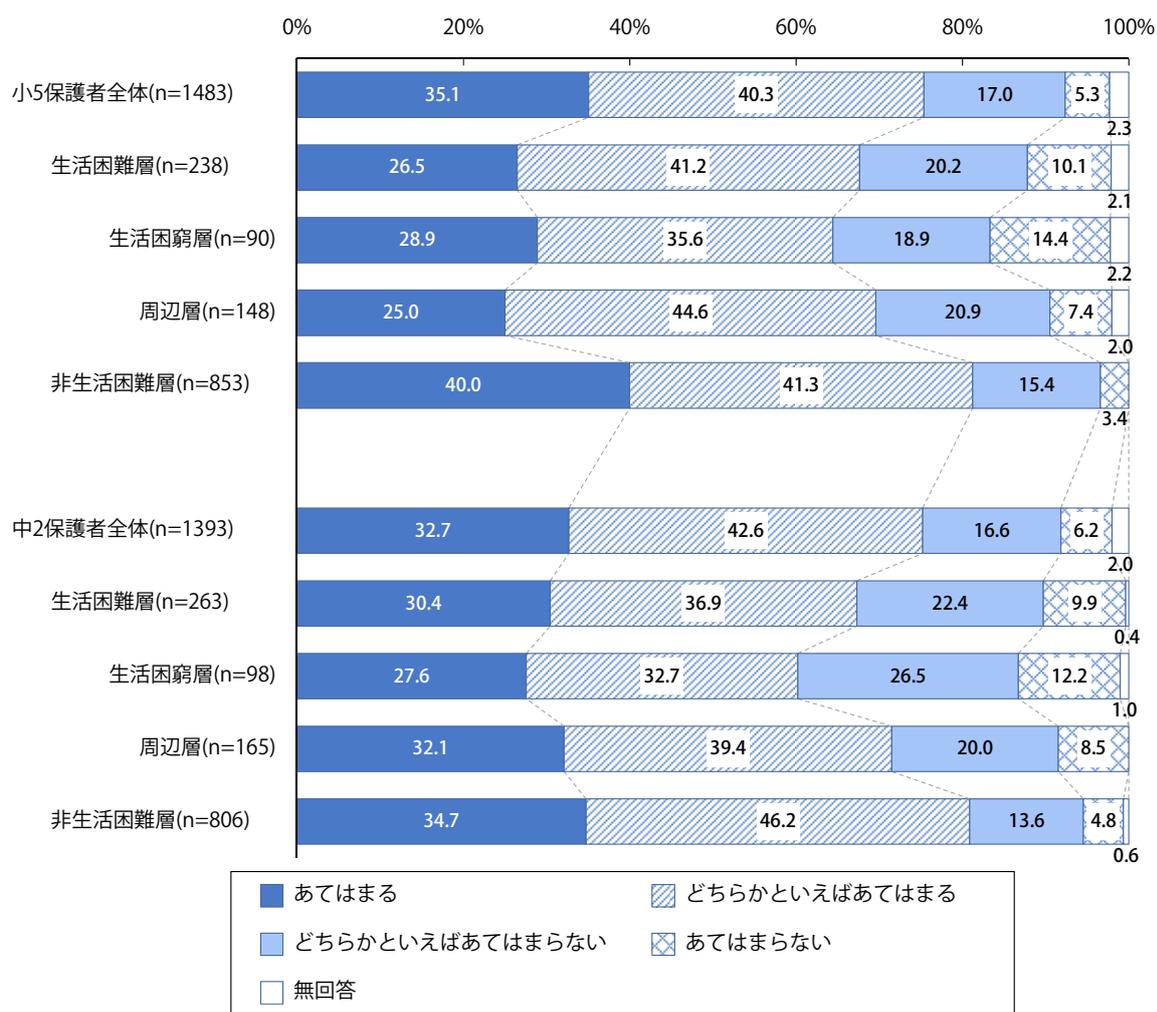


▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

Ⅰ 計画的に勉強するよう子どもに促している

計画的に勉強するよう促しているかについて、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる”の割合は、小学5年生全体で75.4%、中学2年生全体で75.3%となっています。

生活困難度別でみると、小学5年生の生活困窮層で64.5%、周辺層で69.6%、非生活困難層で81.3%と生活困難度が高い層ほど割合は低くなっており、中学2年生でも同様の傾向となっています。



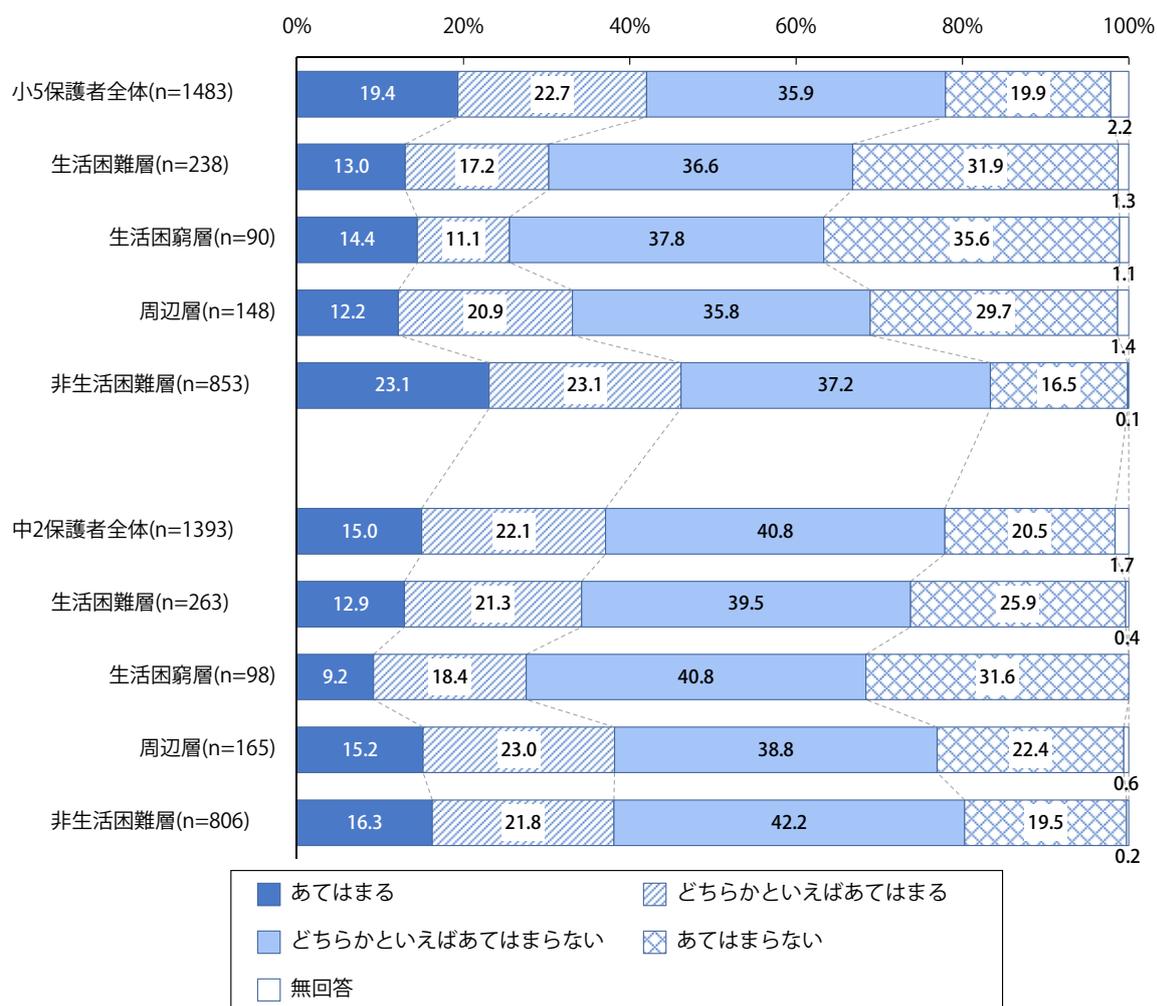
▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

J お子さんが英語や外国の文化に触れるよう意識している

英語や外国の文化に触れるよう意識しているかについて、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる”の割合は、小学5年生全体で42.1%、中学2年生全体で37.1%となっています。

生活困難度別でみると、小学5年生の生活困窮層で25.5%、周辺層で33.1%、非生活困難層で46.2%と生活困難度が高い層ほど割合は低くなっています。

中学2年生では、非生活困難層の38.1%に対し、生活困窮層で27.6%と10ポイントほど低くなっています。

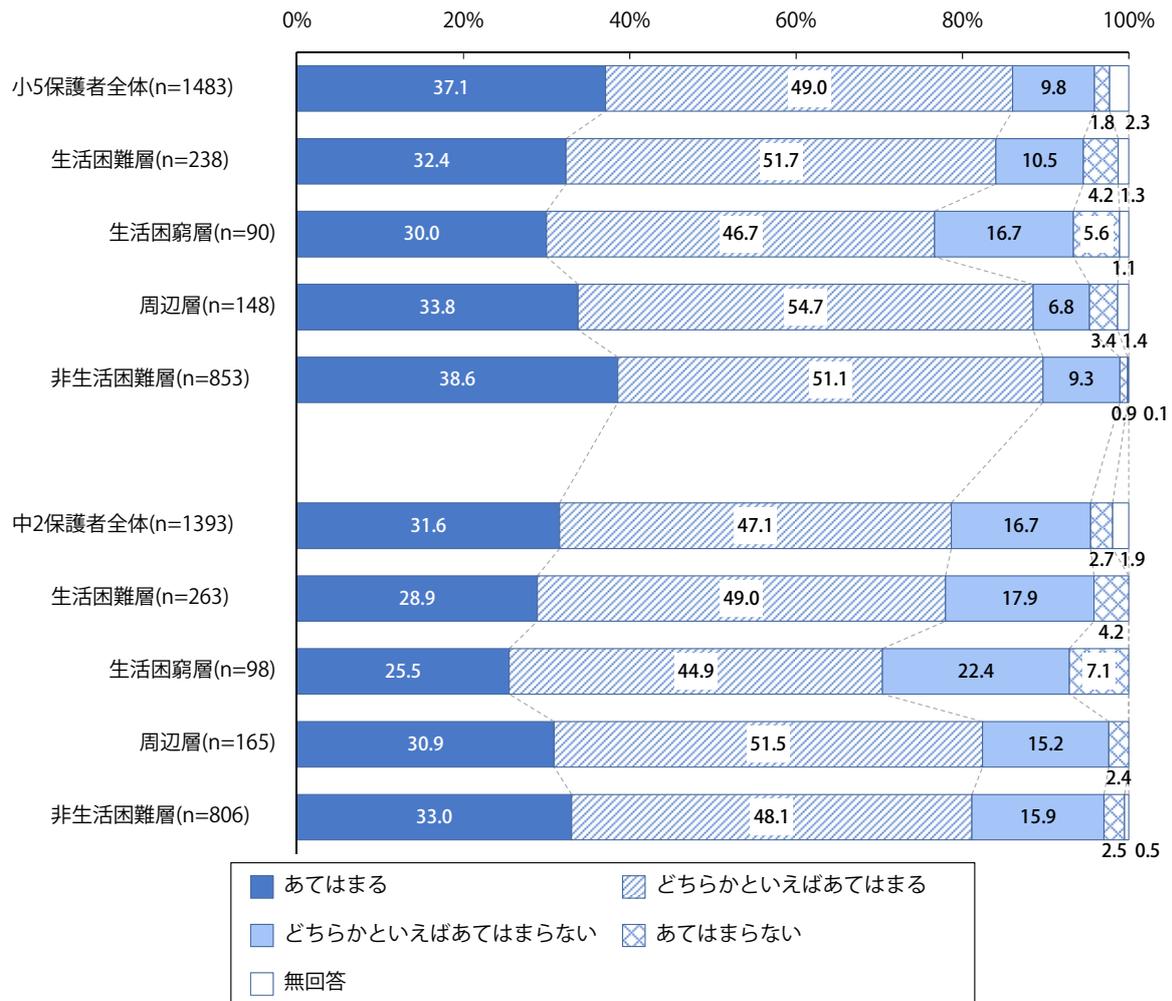


▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

### K 子どもの心配事や悩みごとの相談によく乗っている

心配事や悩みごとの相談によく乗っているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で37.1%、中学2年生全体で31.6%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で30.0%、周辺層で33.8%、非生活困難層で38.6%と生活困難度が高い層ほど割合は低くなっています。中学2年生でも同様の傾向となっています。



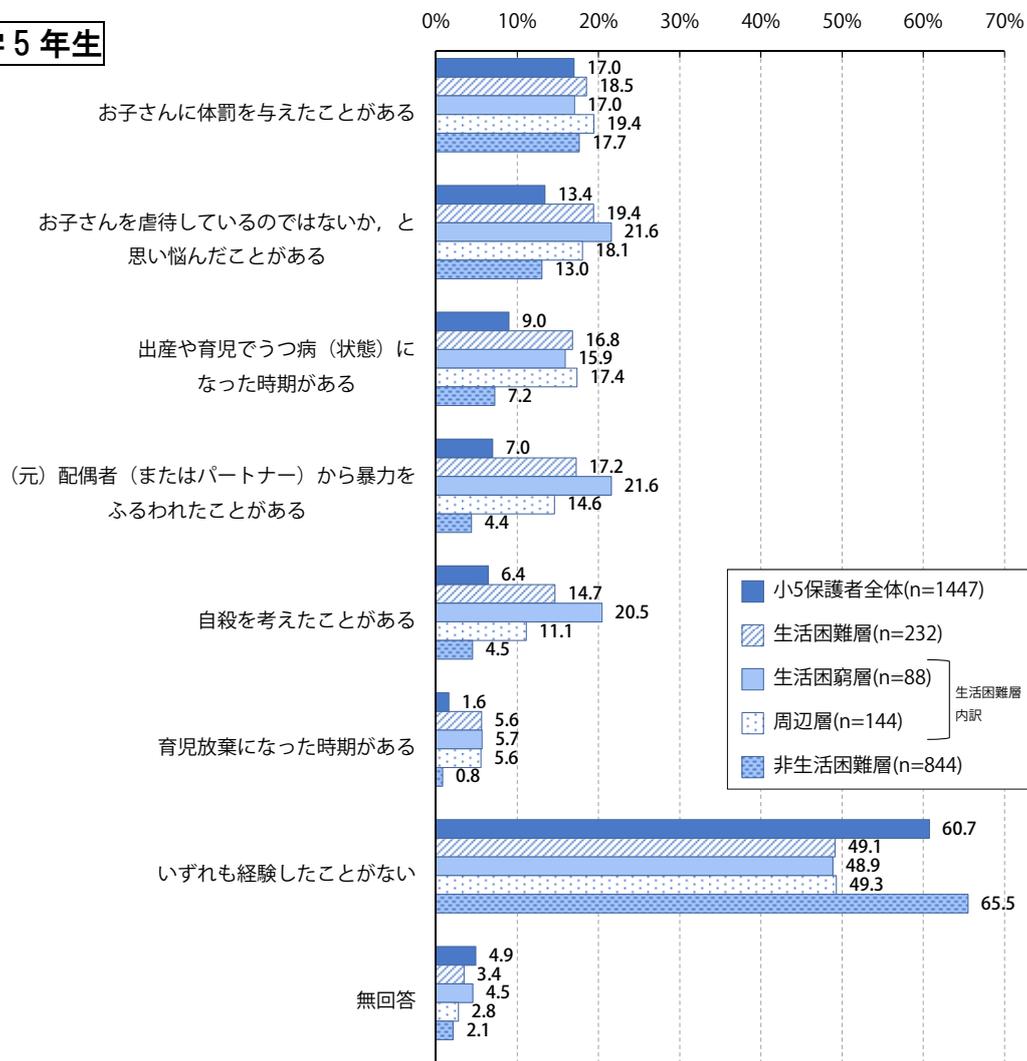
## 7 子育て上の経験

▼あなたは子育てにかかわってから、次のような経験をしたことがありますか。  
(保/問 41 複数回答)

子育てにかかわってからの経験について、小学5年生全体では「いずれも経験したことがない」が60.7%、「お子さんに体罰を与えたことがある」が17.0%、「お子さんを虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が13.4%となっています。

生活困窮層では「お子さんを虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」及び「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」が同率で21.6%、「自殺を考えたことがある」が20.5%と他の層に比べてやや高くなっています。

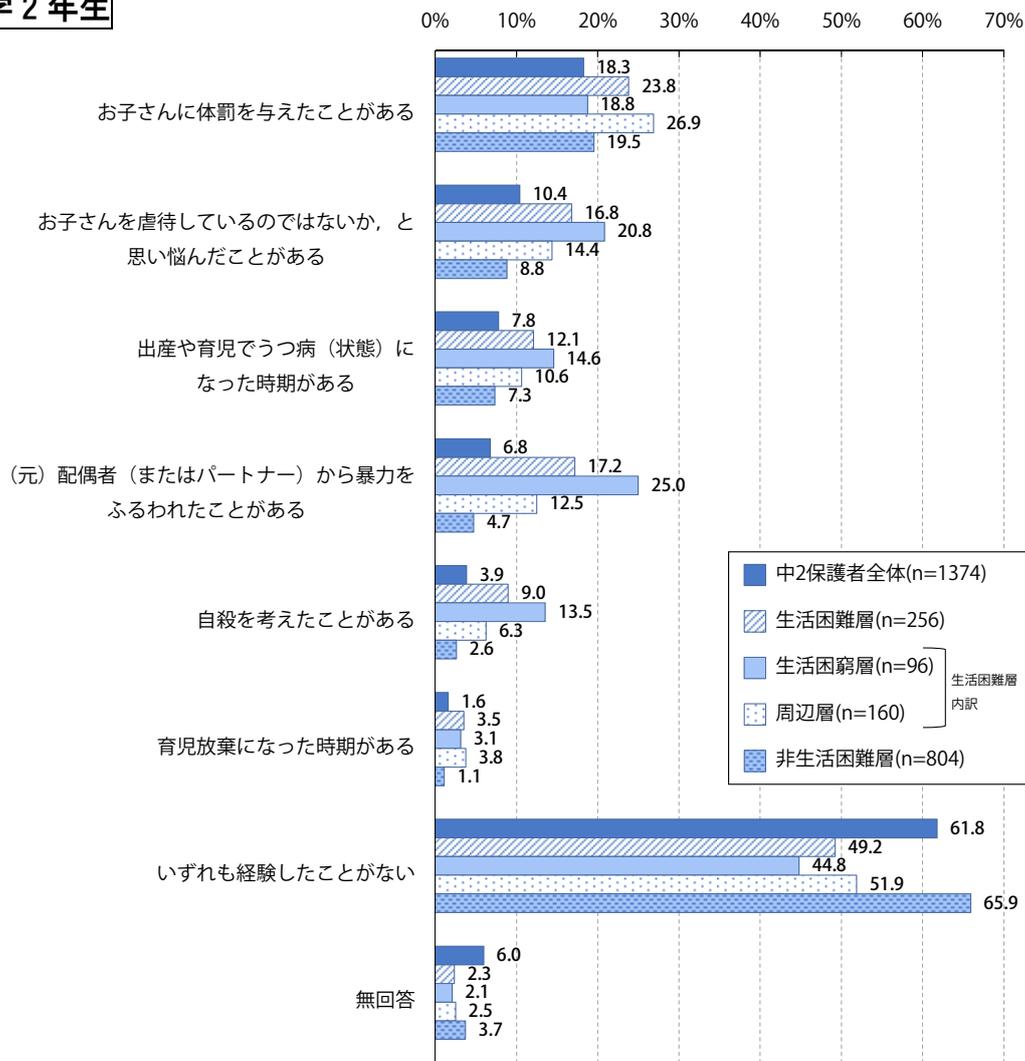
### 小学5年生



子育てにかかわってからの経験について、中学2年生全体では「いずれも経験したことがない」が61.8%、「お子さんに体罰を与えたことがある」が18.3%、「お子さんを虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が10.4%となっています。

生活困窮層では「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」が25.0%、「お子さんを虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が20.8%、「自殺を考えたことがある」が13.5%と他の層に比べてやや高くなっています。

### 中学2年生



## 8 制度・サービスの利用

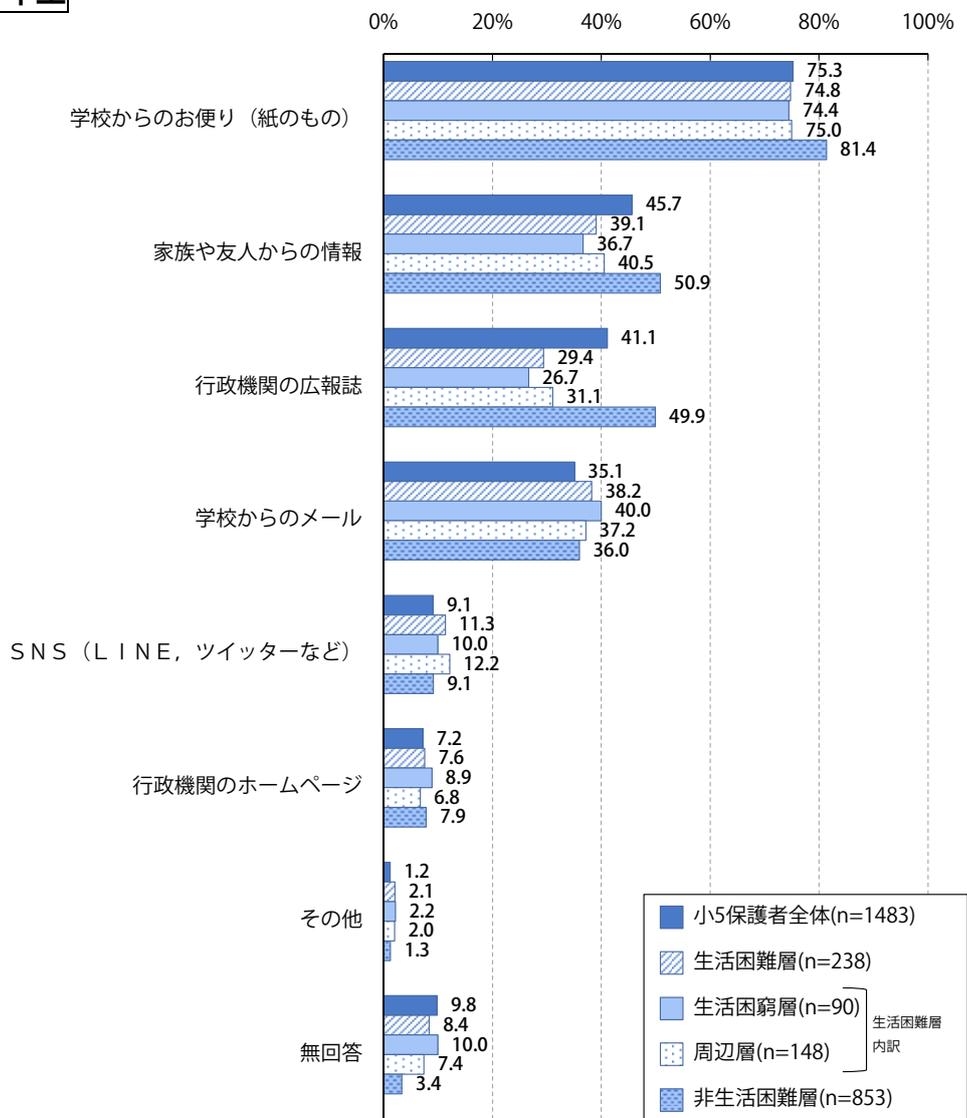
### (1) 子ども関連情報の入手方法の現状と意向

▼あなたは、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。(保/問 43 複数回答)

#### A 現在の受け取り方法

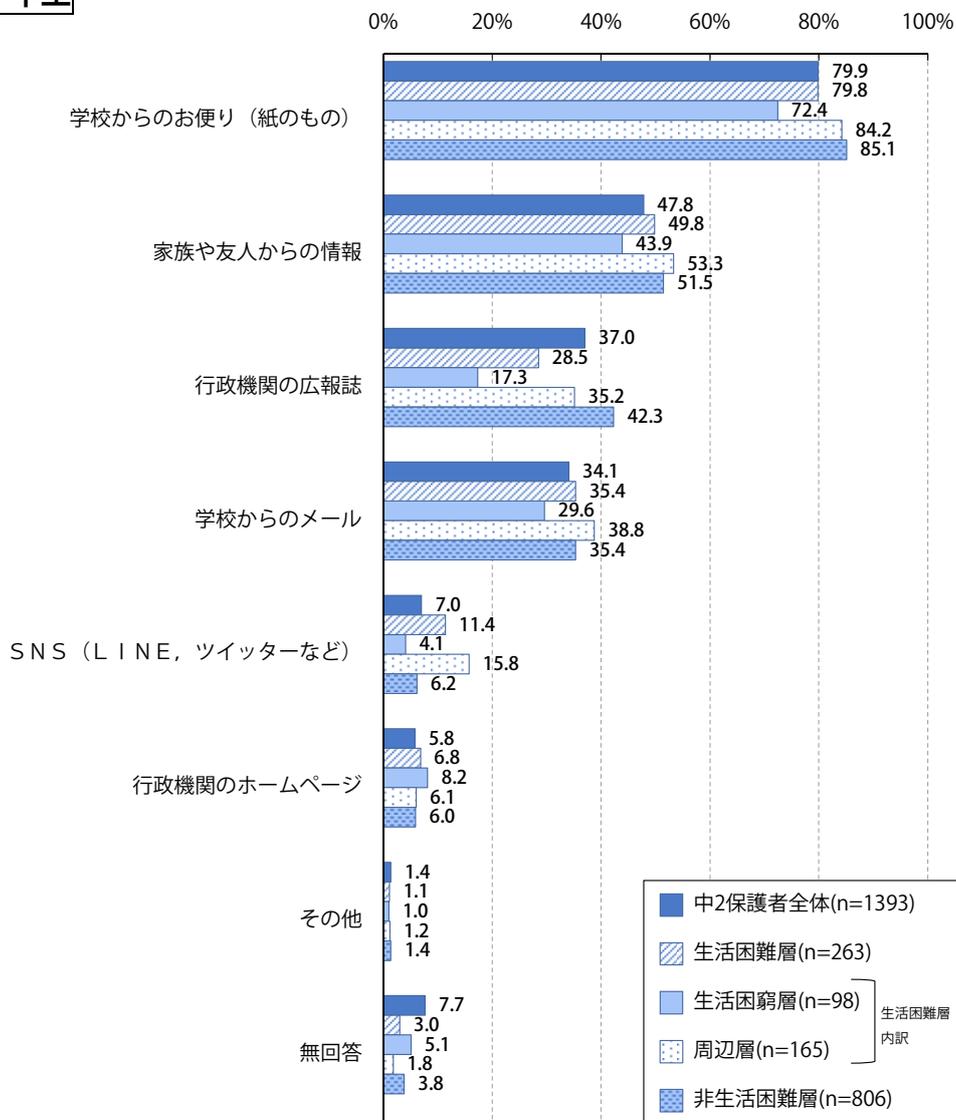
現在の受け取り方法について、小学5年生全体では「学校からのお便り（紙のもの）」が75.3%、「家族や友人からの情報」が45.7%、「行政機関の広報誌」が41.1%となっています。生活困窮層では「行政機関の広報誌」が26.7%と低くなっています。

#### 小学5年生



現在の受け取り方法について、中学2年生全体では「学校からのお便り（紙のもの）」が79.9%、「家族や友人からの情報」が47.8%、「行政機関の広報誌」が37.0%となっています。生活困窮層では「行政機関の広報誌」が17.3%と他の層に比べて低くなっています。

### 中学2年生



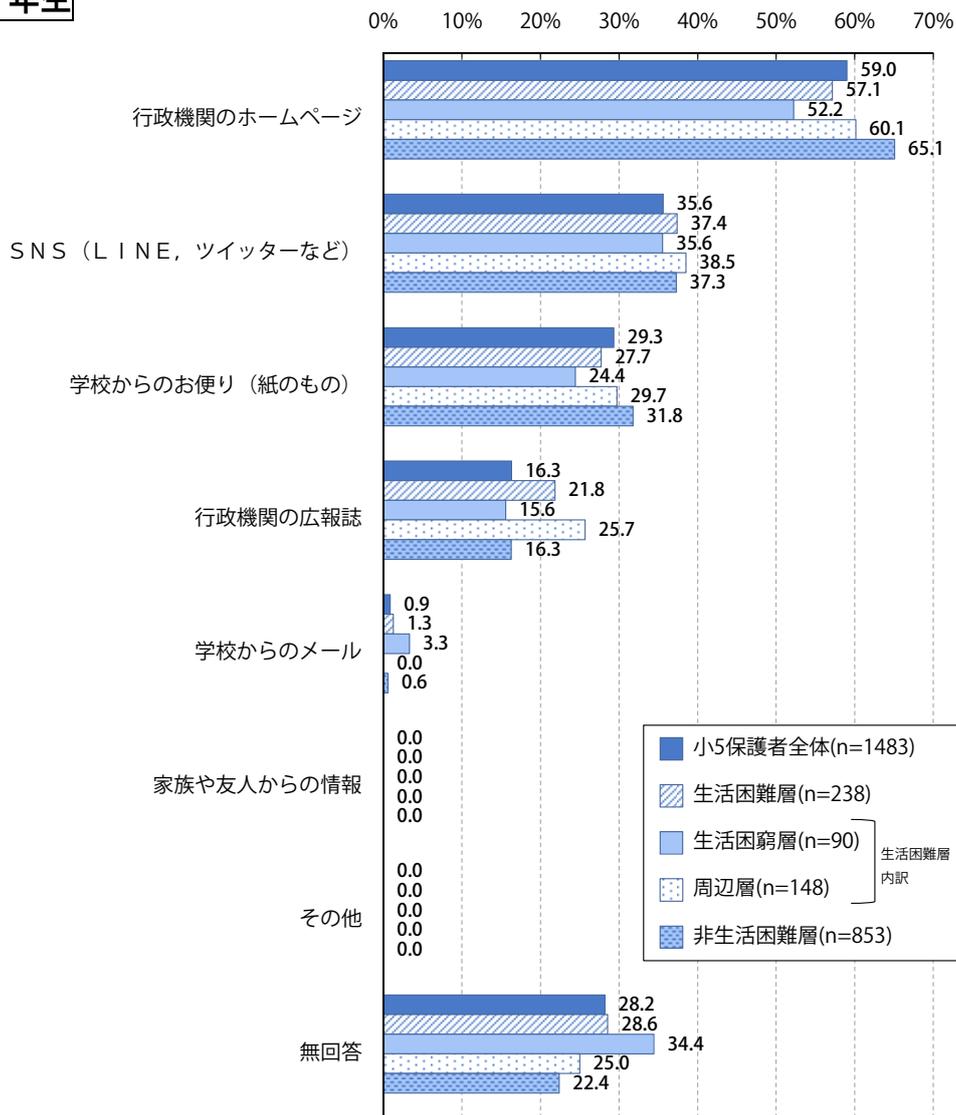
▼あなたは、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。(保/問 43 複数回答)

## B 今後、受け取りたい方法

今後、受け取りたい方法について、小学5年生全体では「行政機関のホームページ」が59.0%、「SNS（LINE、ツイッターなど）」が35.6%、「学校からのお便り（紙のもの）」が29.3%となっています。

生活困窮層では「行政機関のホームページ」が52.2%、「学校からのお便り（紙のもの）」が24.4%と他の層に比べて低くなっています。

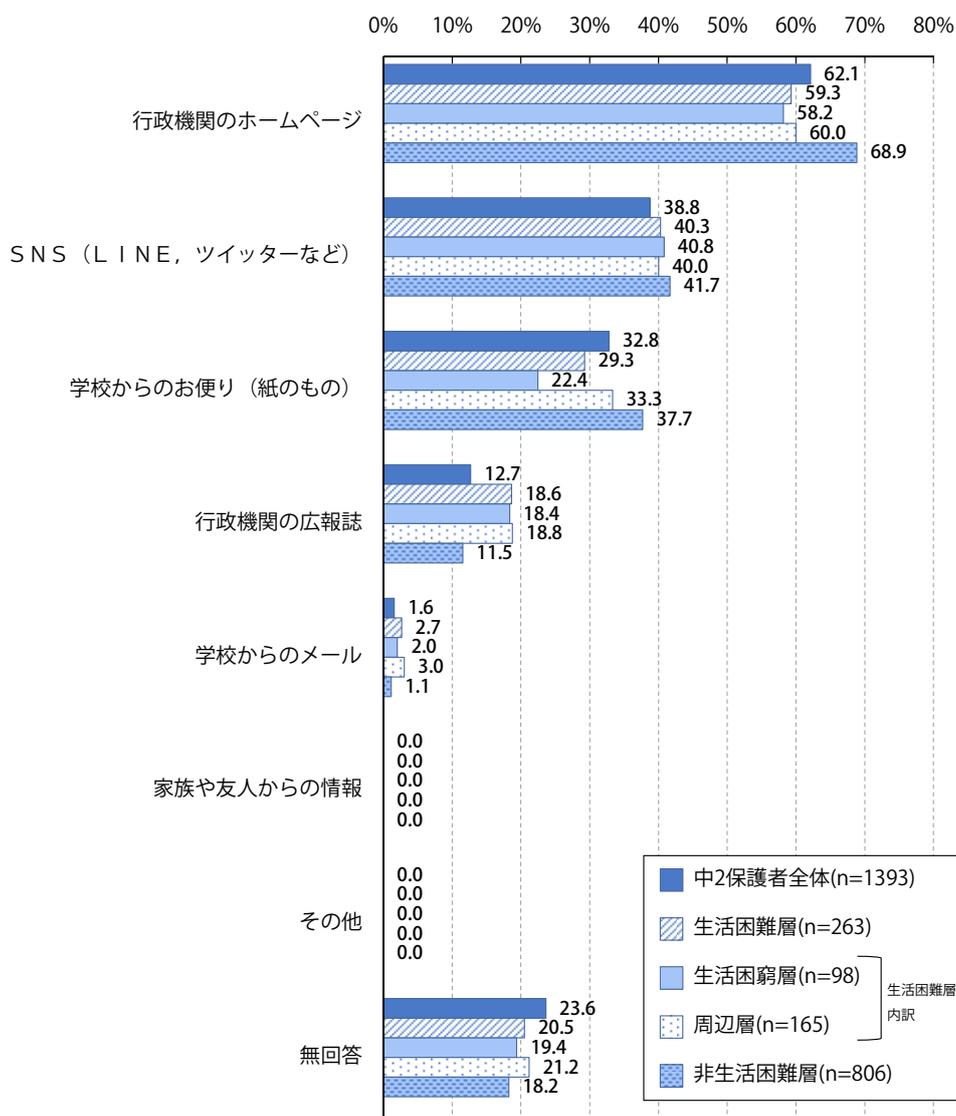
### 小学5年生



今後、受け取りたい方法について、中学2年生全体では「行政機関のホームページ」が62.1%、「SNS（LINE、ツイッターなど）」が38.8%、「学校からのお便り（紙のもの）」が32.8%となっています。

生活困窮層では「学校からのお便り（紙のもの）」が22.4%と他の層に比べて低くなっています。

### 中学2年生



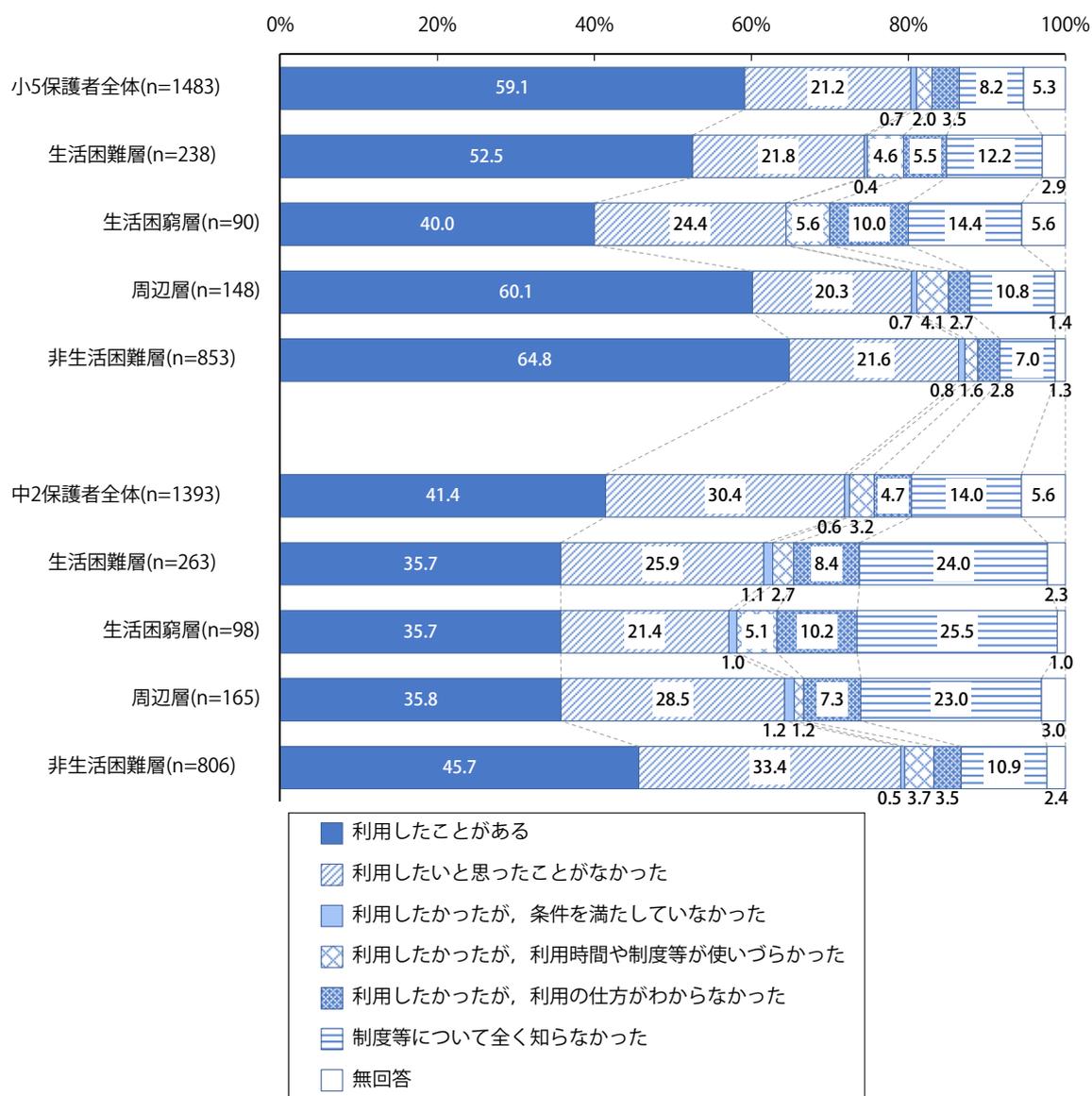
## (2) 各種支援制度の利用経験

▼次の A~H の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものにつけてください。(保/問 44)

### A 地域子育て支援センター・子育てひろば

地域子育て支援センター・子育てひろばについて、「利用したことがある」の割合は、小学5年生全体で 59.1%，中学2年生全体で 41.4%となっています。

生活困難度別では、生活困窮層で割合は低く、小学5年生で 40.0%，中学2年生で 35.7%となっています。

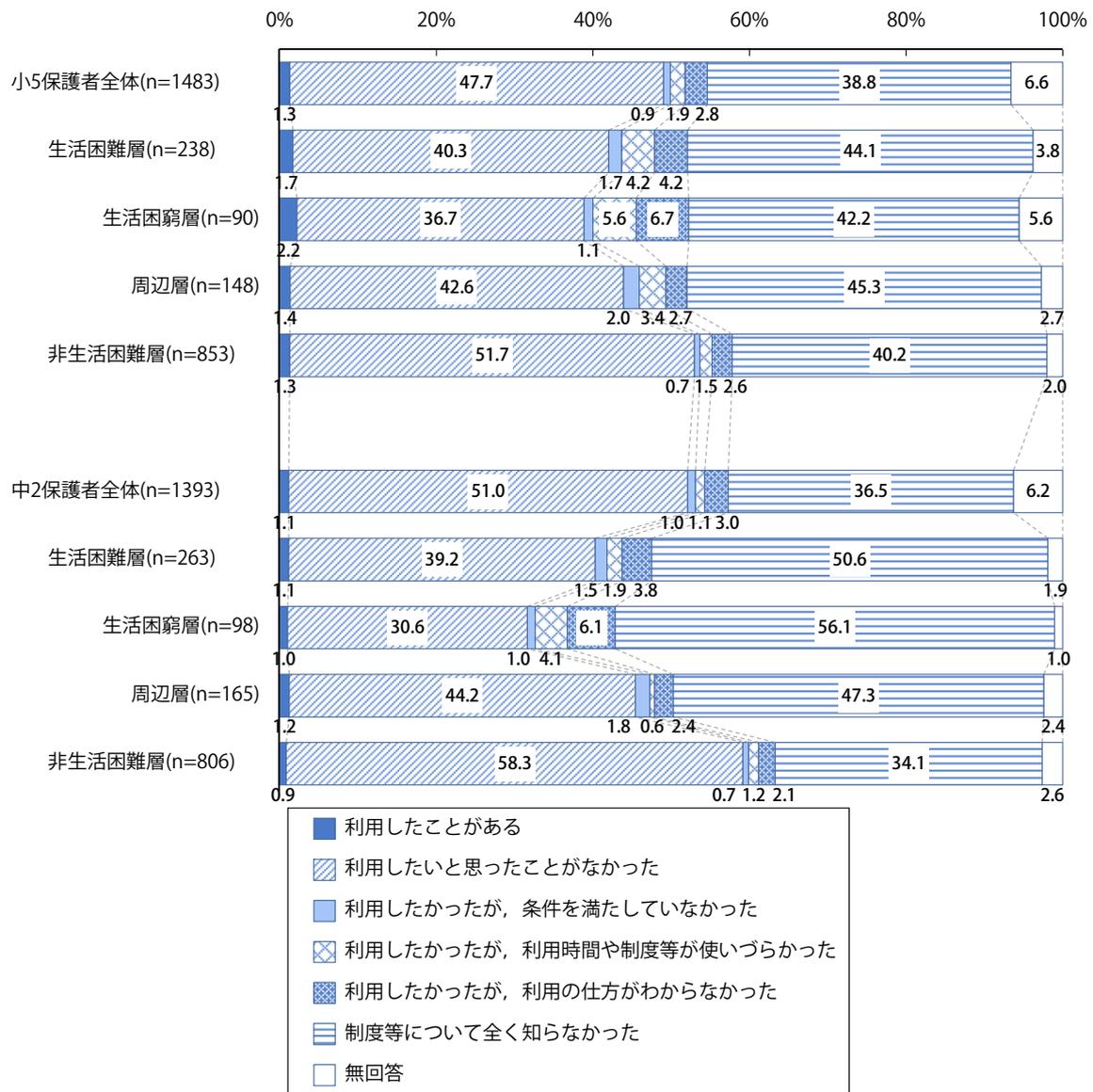


▼次の A~H の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 44)

## B 子育て短期支援事業（ショートステイ）

子育て短期支援事業について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学 5 年生全体で 38.8%，中学 2 年生全体で 36.5%となっています。

生活困難度別でみると、小学 5 年生では生活困難度による差はみられず 4 割程度、中学 2 年生では、生活困窮層で 56.1%，周辺層で 47.3%，非生活困難層で 34.1%と生活困難度が高い層ほど高くなっています。

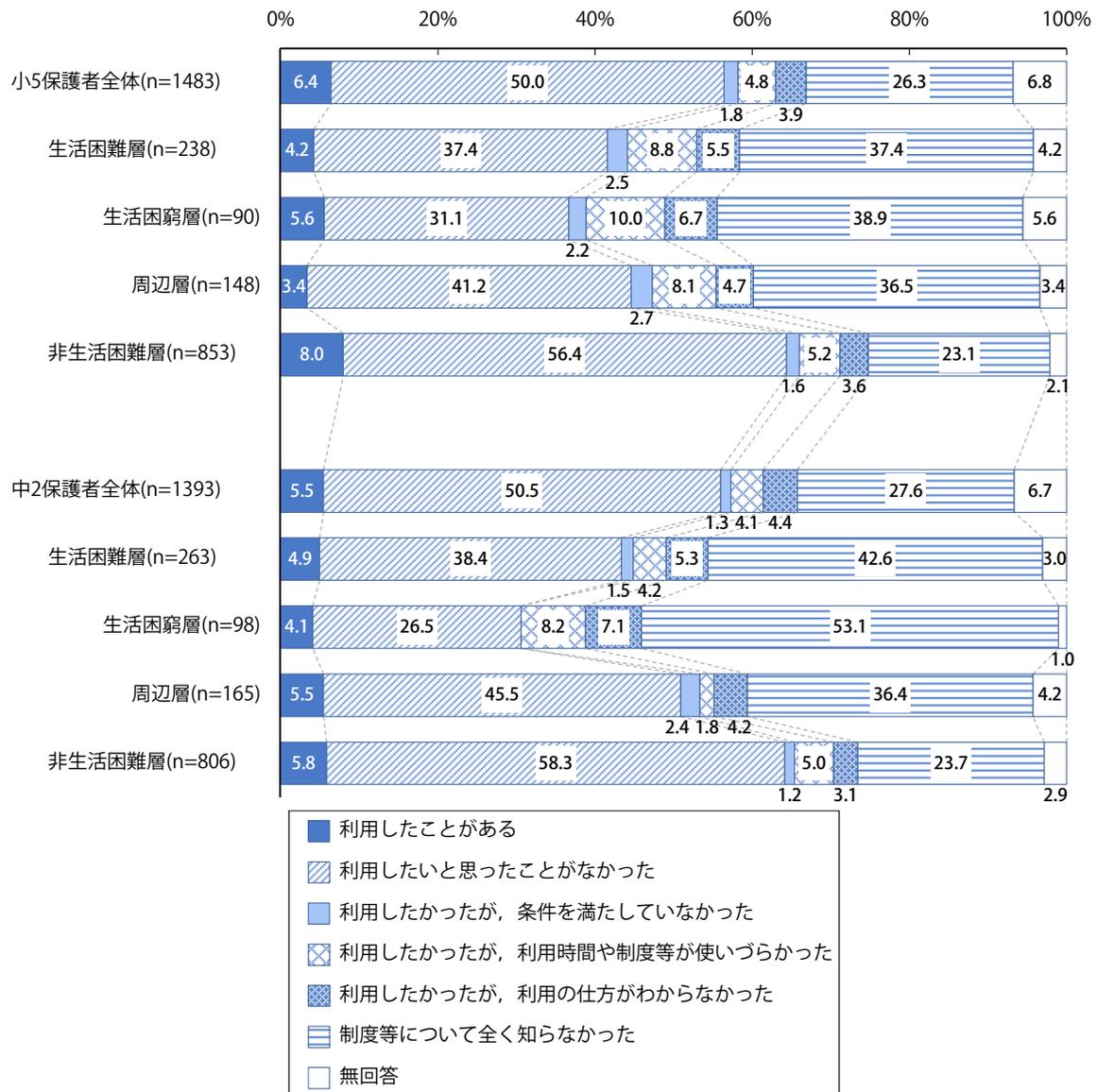


▼次のA～Hの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問44)

### C ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターについて、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年生全体で26.3%，中学2年生全体で27.6%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で38.9%，周辺層で36.5%，非生活困難層で23.1%と、生活困難度が高い層ほど割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。

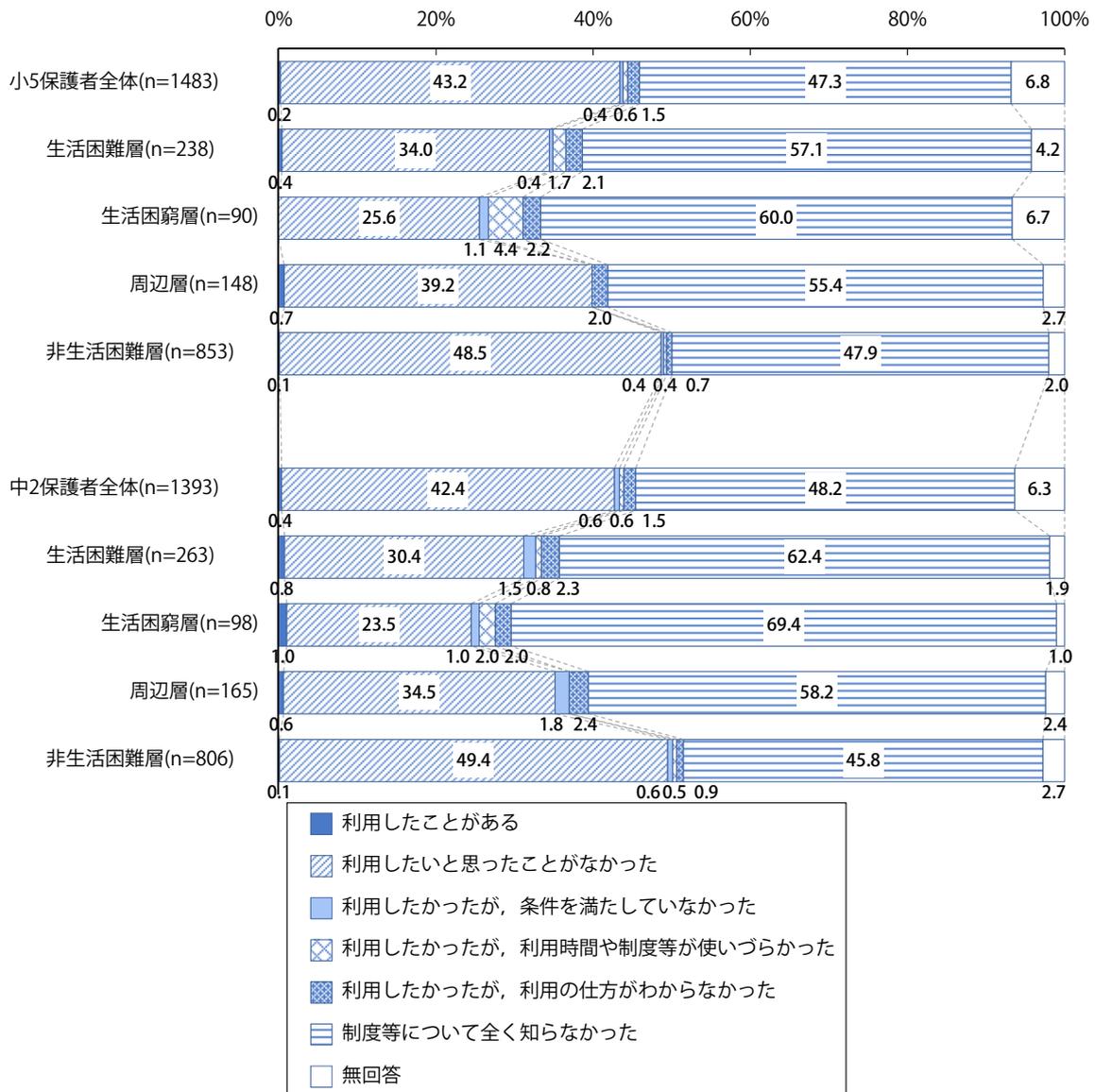


▼次の A~H の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 44)

## D 子ども食堂

子ども食堂について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学 5 年生全体で 47.3%、中学 2 年生全体で 48.2%となっています。

生活困難度別では、小学 5 年生の生活困窮層で 60.0%、周辺層で 55.4%、非生活困難層で 47.9%と、生活困難度が高い層ほど割合が高く、中学 2 年生でも同様の傾向となっています。

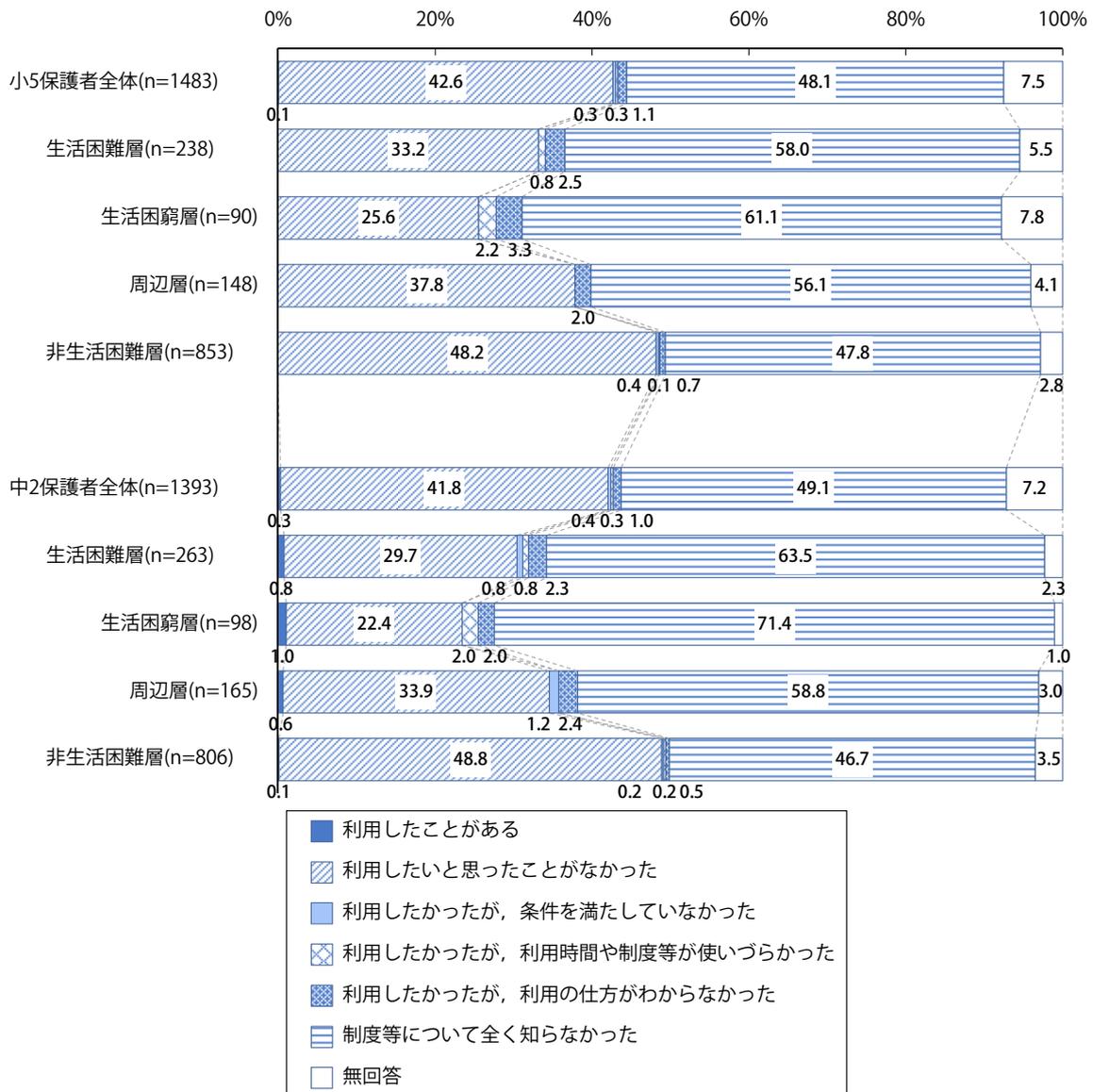


▼次の A~H の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 44)

### E フードバンクによる食料支援

フードバンクによる食料支援について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年生全体で48.1%、中学2年生全体で49.1%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で61.1%、周辺層で56.1%、非生活困難層で47.8%と、生活困難度が高い層ほど割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。

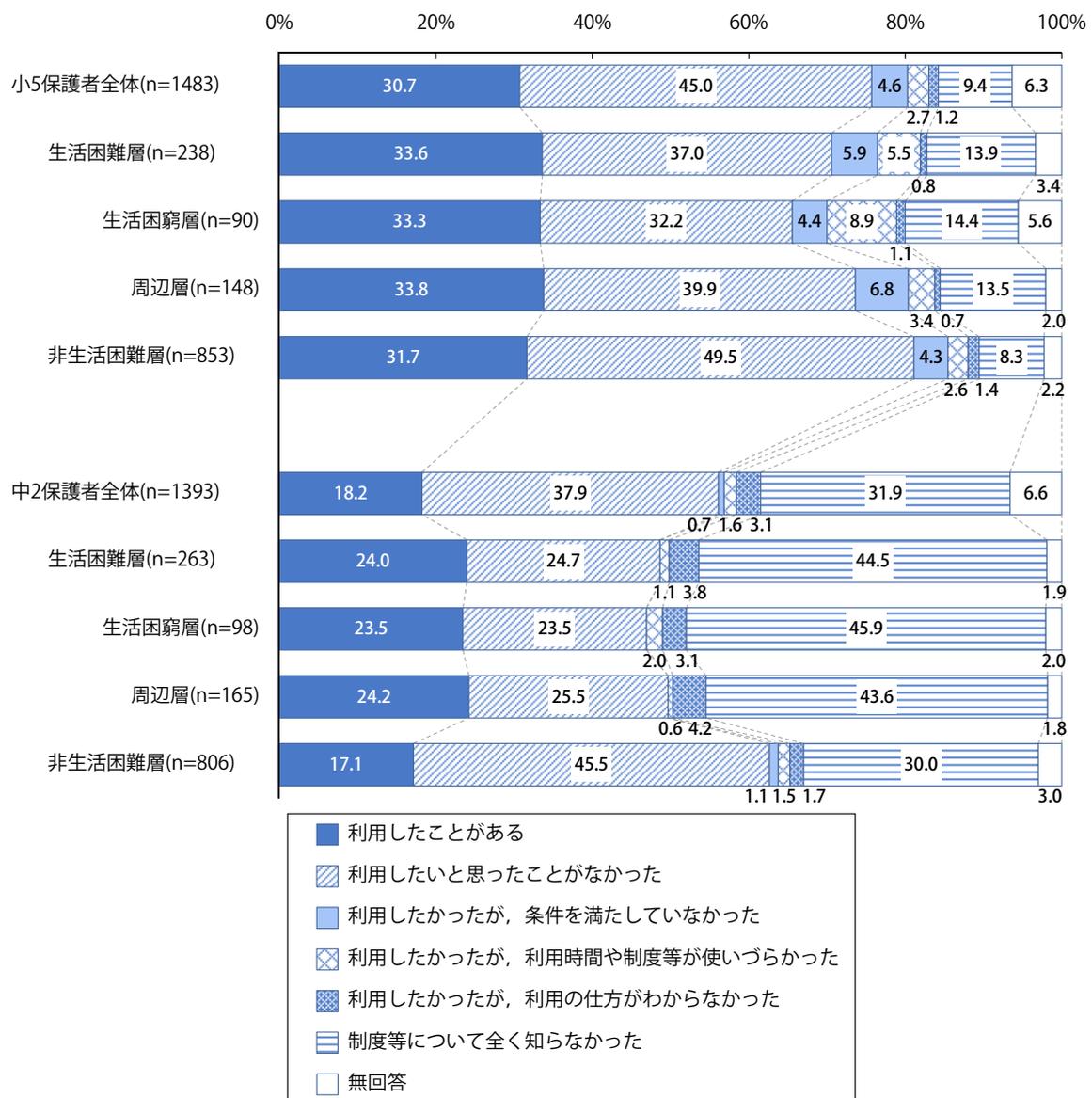


▼次の A～H の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 44)

### F 子どもが自由に時間を過ごせる場所（公民館・児童館・放課後児童会など）

子どもが自由に時間を過ごせる場所について、「利用したことがある」の割合は、小学 5 年生全体で 30.7%，中学 2 年生全体で 18.2%となっています。また、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学 5 年生全体で 9.4%，中学 2 年生全体では 31.9%となっています。

生活困難度別では、「利用したことがある」の割合はいずれも約 2～3 割となっています。また、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学 5 年生ではいずれの層も 15%未満ですが、中学 2 年生では、生活困窮層で 45.9%，周辺層で 43.6%，非生活困難層で 30.0%と生活困難度が高い層ほど高くなっています。



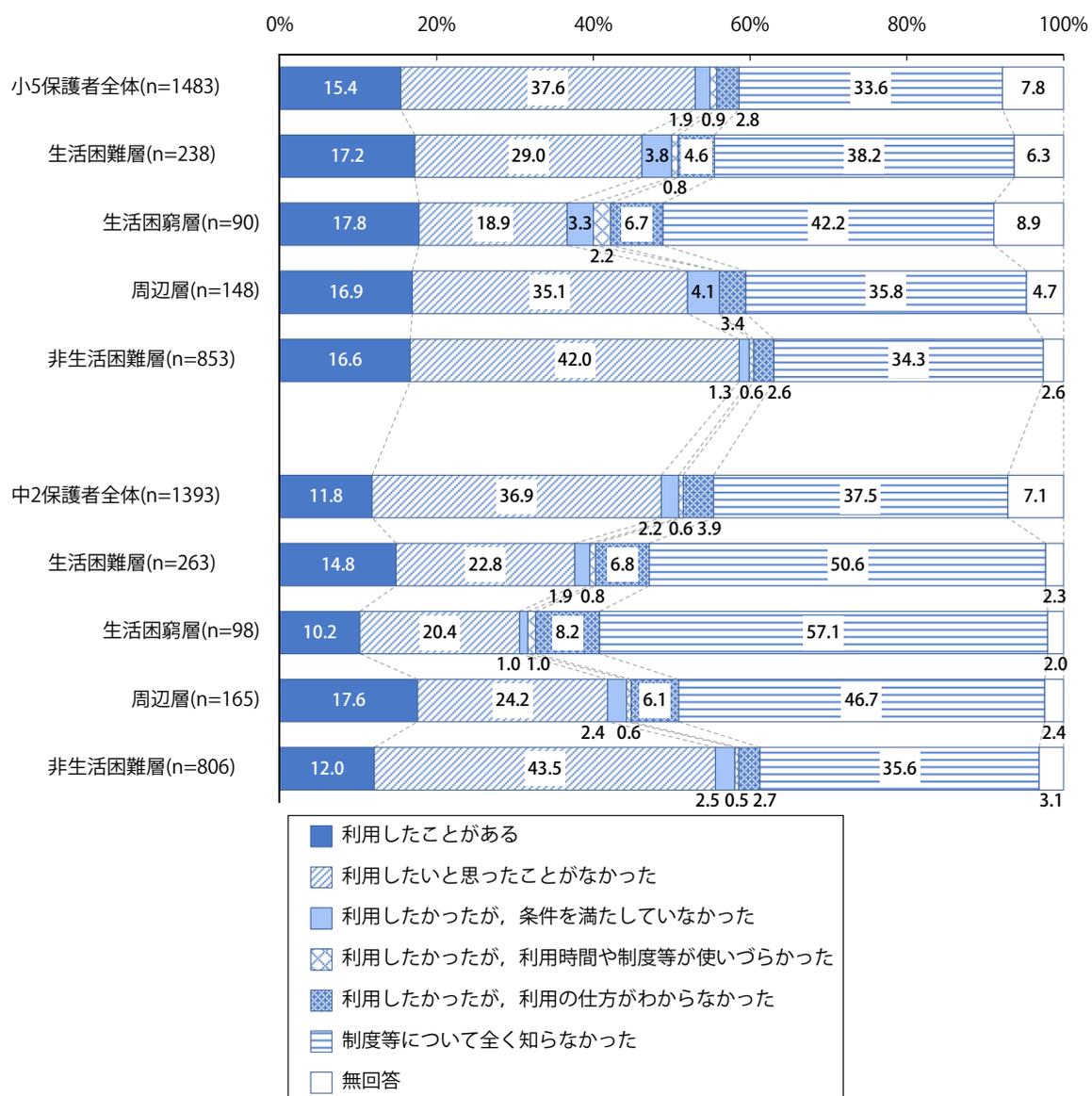
▼次の A~H の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 44)

### G 学校が実施する補講（学習支援）

学校が実施する補講（学習支援）について、「利用したことがある」の割合は、小学 5 年生全体で 15.4%，中学 2 年生全体で 11.8%となっています。また、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学 5 年生全体で 33.6%，中学 2 年生全体で 37.5%となっています。

生活困難度別では、「利用したことがある」の割合がいずれも 2 割以下となっています。

また、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学 5 年生の生活困窮層で 42.2%，周辺層で 35.8%，非生活困難層で 34.3%と生活困難度が高い層ほど高く、中学 2 年生でも同様の傾向となっています。

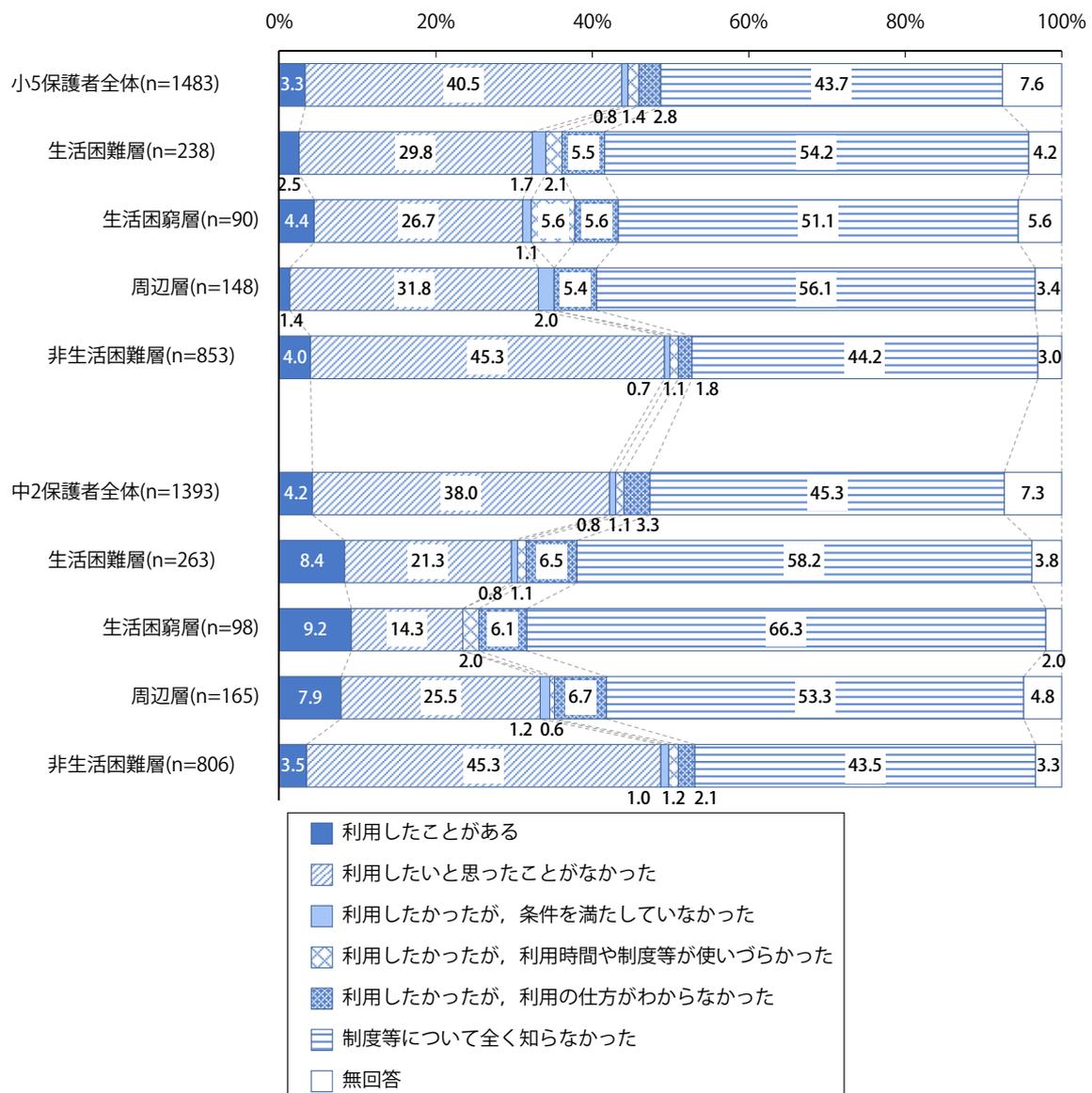


▼次の A~H の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 44)

## H 学校以外が実施する学習支援

学校以外が実施する学習支援について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学 5 年生全体で 43.7%，中学 2 年生全体で 45.3%となっています。

生活困難度別に「制度等について全く知らなかった」の割合をみると、小学 5 年生では生活困窮層で 51.1%，周辺層で 56.1%と半数を超えています。中学 2 年生では生活困窮層で 66.3%，周辺層で 53.3%，非生活困難層で 43.5%と生活困難度が高い層ほど割合が高くなっています。



### (3) 各種経済的支援制度の利用経験

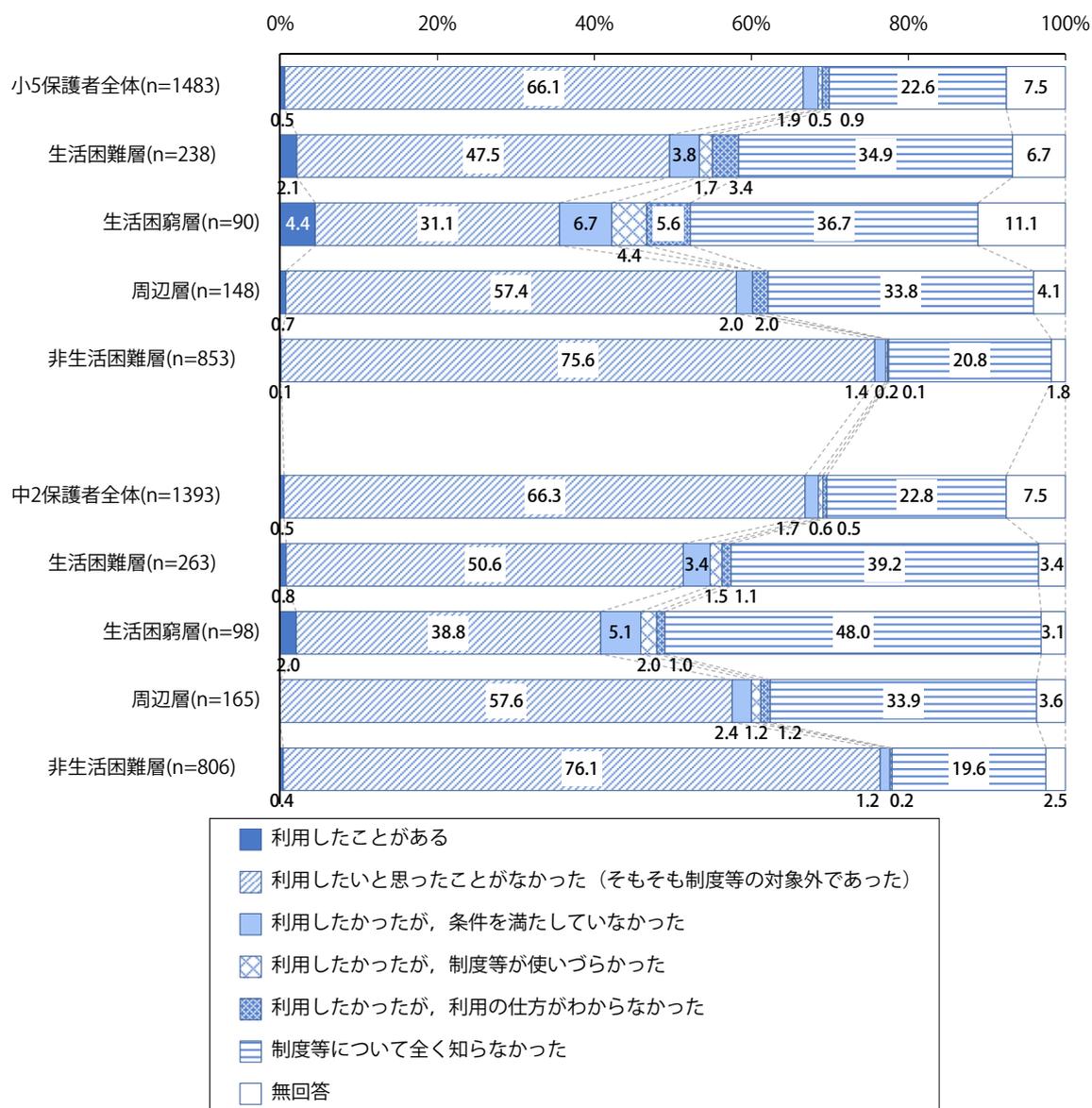
▼次のI~Lの支援制度等は、これまでに利用・受給（以下「利用」という。）したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものにつけてください。

（保/問 45）

#### I 生活福祉資金の貸付

生活福祉資金の貸付について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年生全体で22.6%、中学2年生全体で22.8%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で36.7%、周辺層で33.8%、非生活困難層で20.8%と、生活困難度が高い層ほど割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。

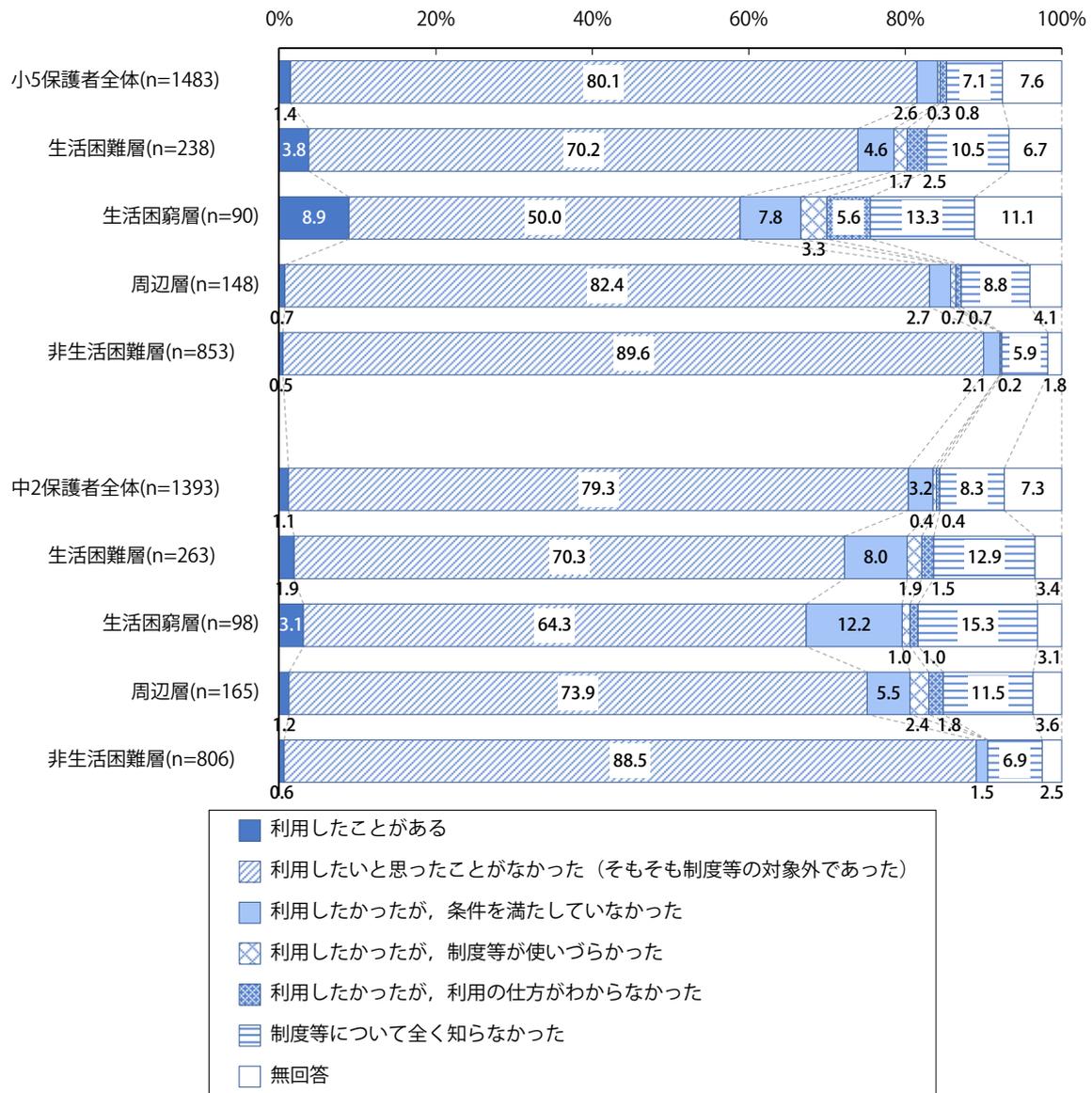


▼次のI~Lの支援制度等は、これまでに利用・受給（以下「利用」という。）したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。  
（保/問 45）

## J 生活保護

生活保護について、「利用したことがある」を生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で8.9%、中学2年生の生活困窮層で3.1%となっています。

また、小学5年生の生活困窮層の13.3%、中学2年生の生活困窮層の15.3%は「制度等について全く知らなかった」と回答しています。

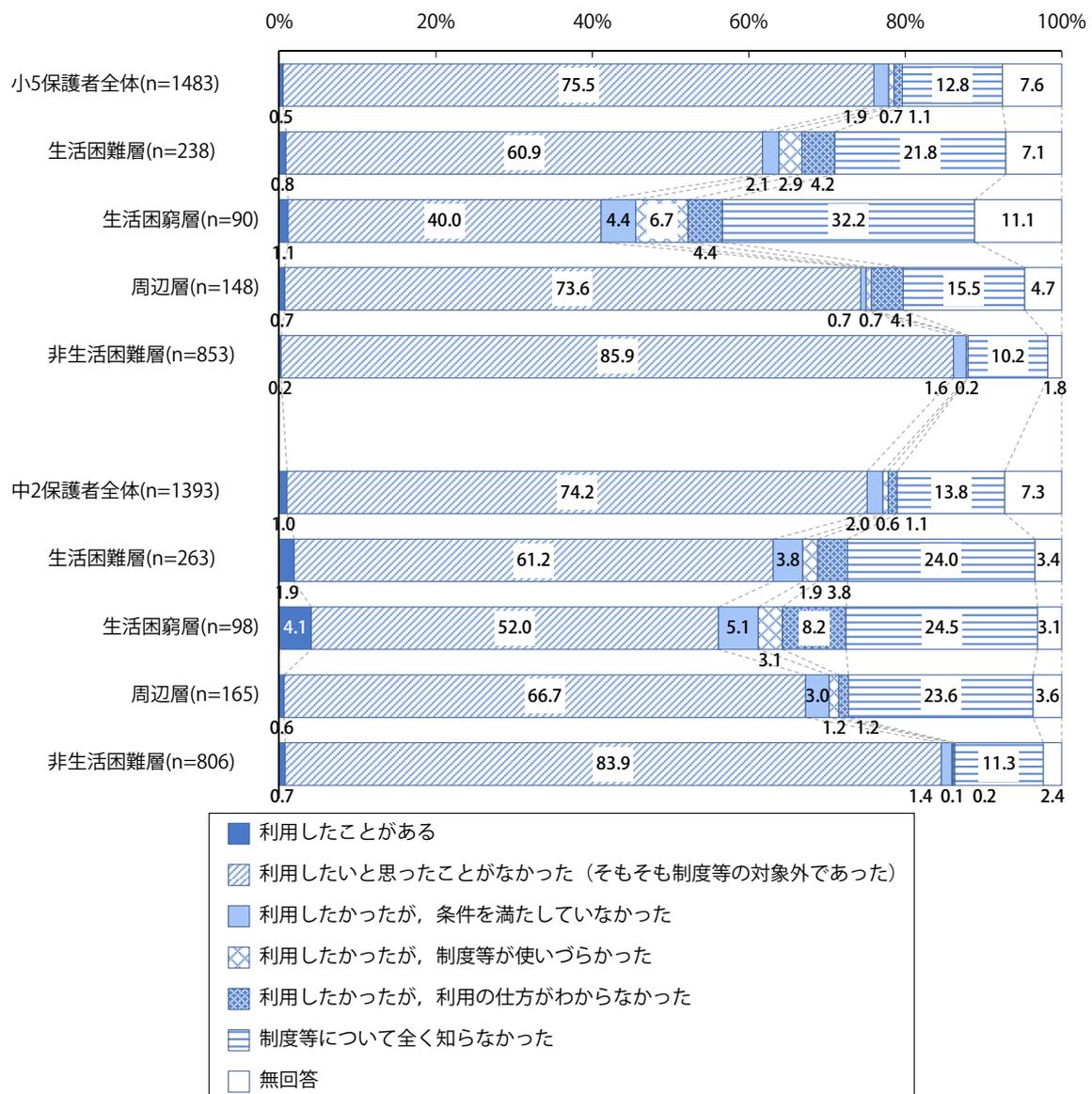


▼次のI~Lの支援制度等は、これまでに利用・受給（以下「利用」という。）したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。  
（保/問45）

### K 母子及び父子福祉資金の貸付

母子及び父子福祉資金の貸付について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年生全体で12.8%，中学2年生全体で13.8%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で32.2%，周辺層で15.5%，非生活困難層で10.2%と、生活困難度が高い層ほど割合が高く、中学2年生でも小学5年生ほど差はありませんが、同様の傾向となっています。

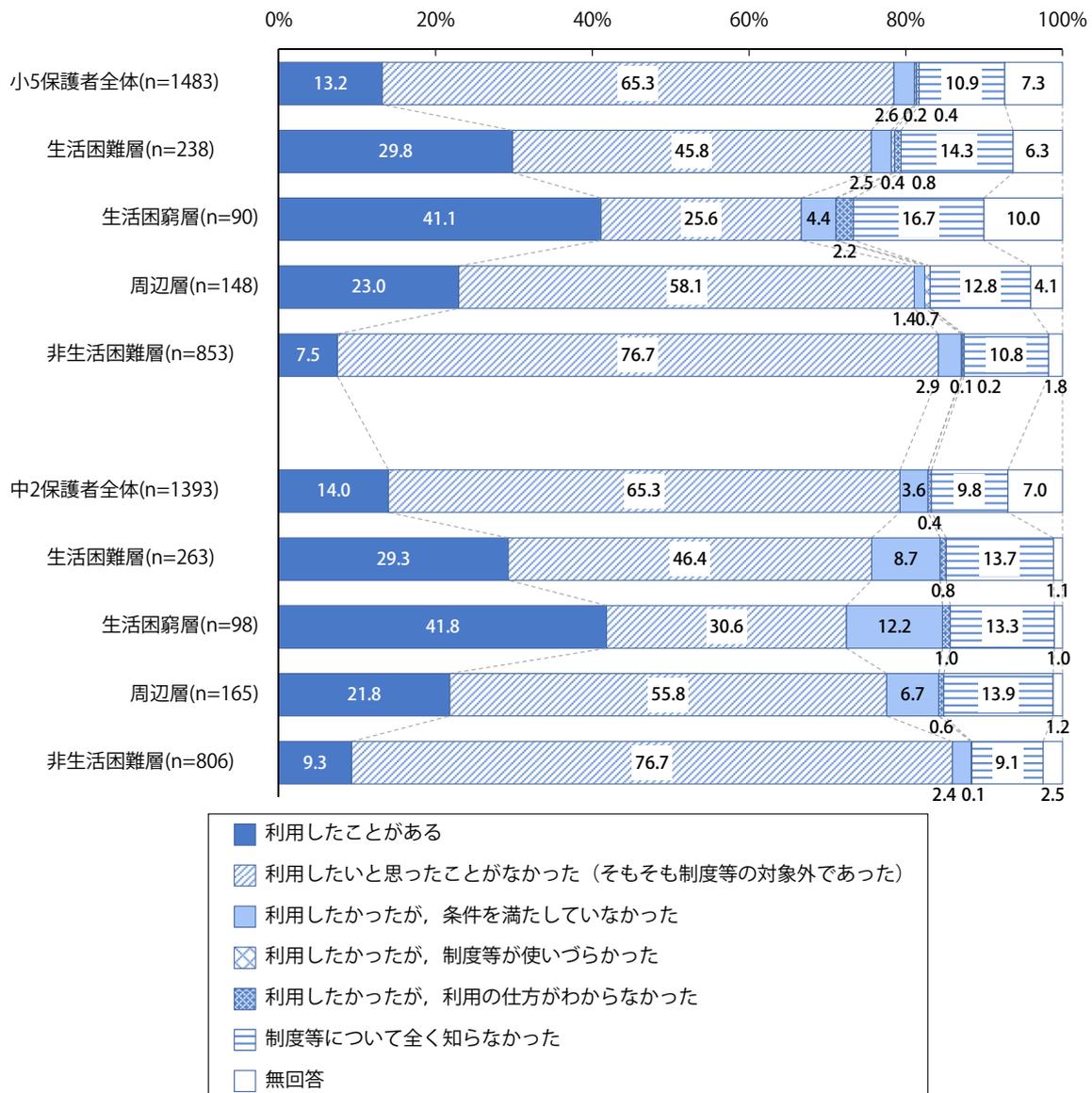


▼次のI~Lの支援制度等は、これまでに利用・受給（以下「利用」という。）したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。  
（保/問 45）

## L 児童扶養手当

児童扶養手当について、「利用したことがある」の割合は、小学5年生全体で13.2%、中学2年生全体で14.0%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で41.1%、周辺層で23.0%、非生活困難層で7.5%と、生活困難度が高い層ほど「利用したことがある」の割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



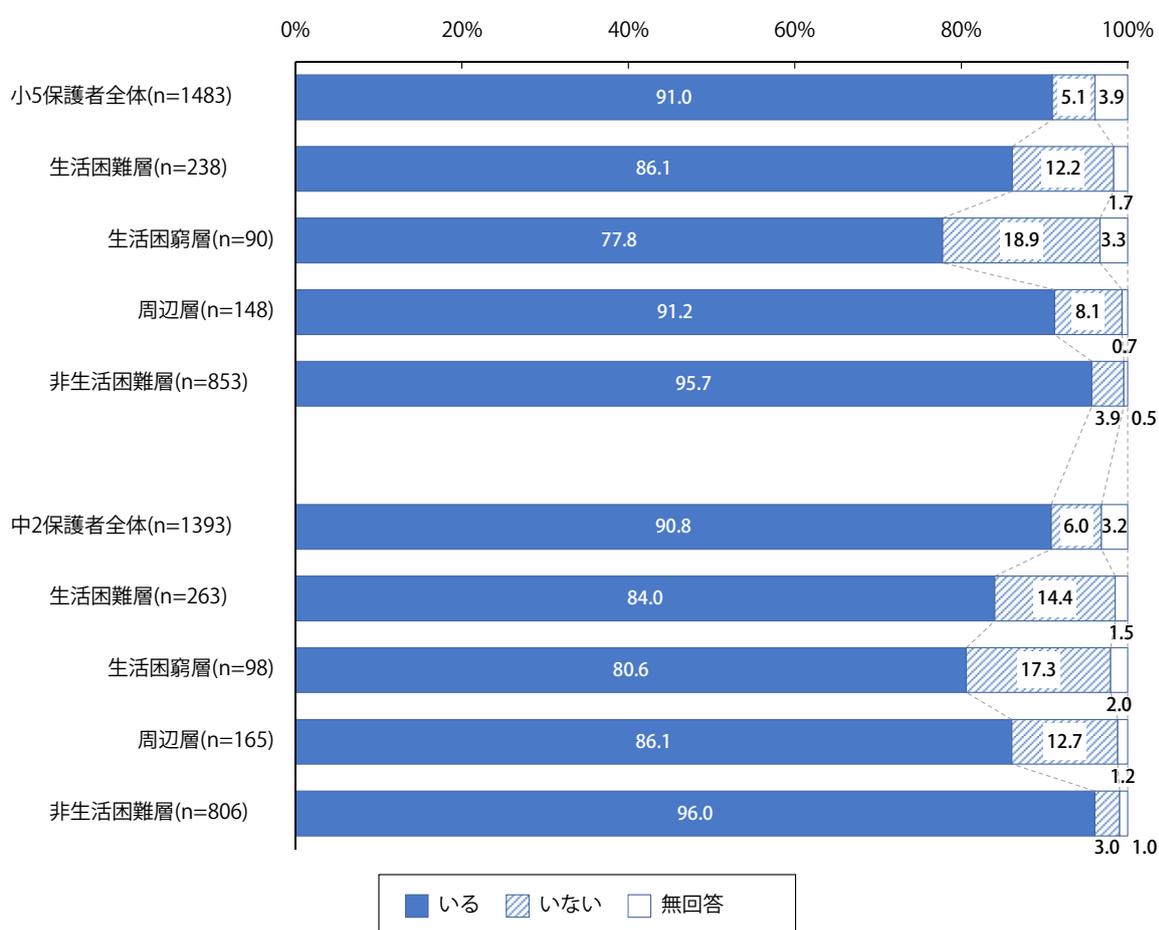
## 9 相談

### (1) 相談相手の有無

▼あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（保/問 46）

相談相手の有無について、小学5年生全体では「いる」が91.0%、「いない」が5.1%、中学2年生全体では「いる」が90.8%、「いない」が6.0%と「いる」と回答した割合が多数を占めています。

生活困難度別では、「いる」との回答が多数を占めている一方、「いない」と回答した割合は、小学5年生の生活困窮層で18.9%、周辺層で8.1%、非生活困難層で3.9%と、生活困難度が高い層ほど「いない」の割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



## (2) 公的相談機関の利用経験

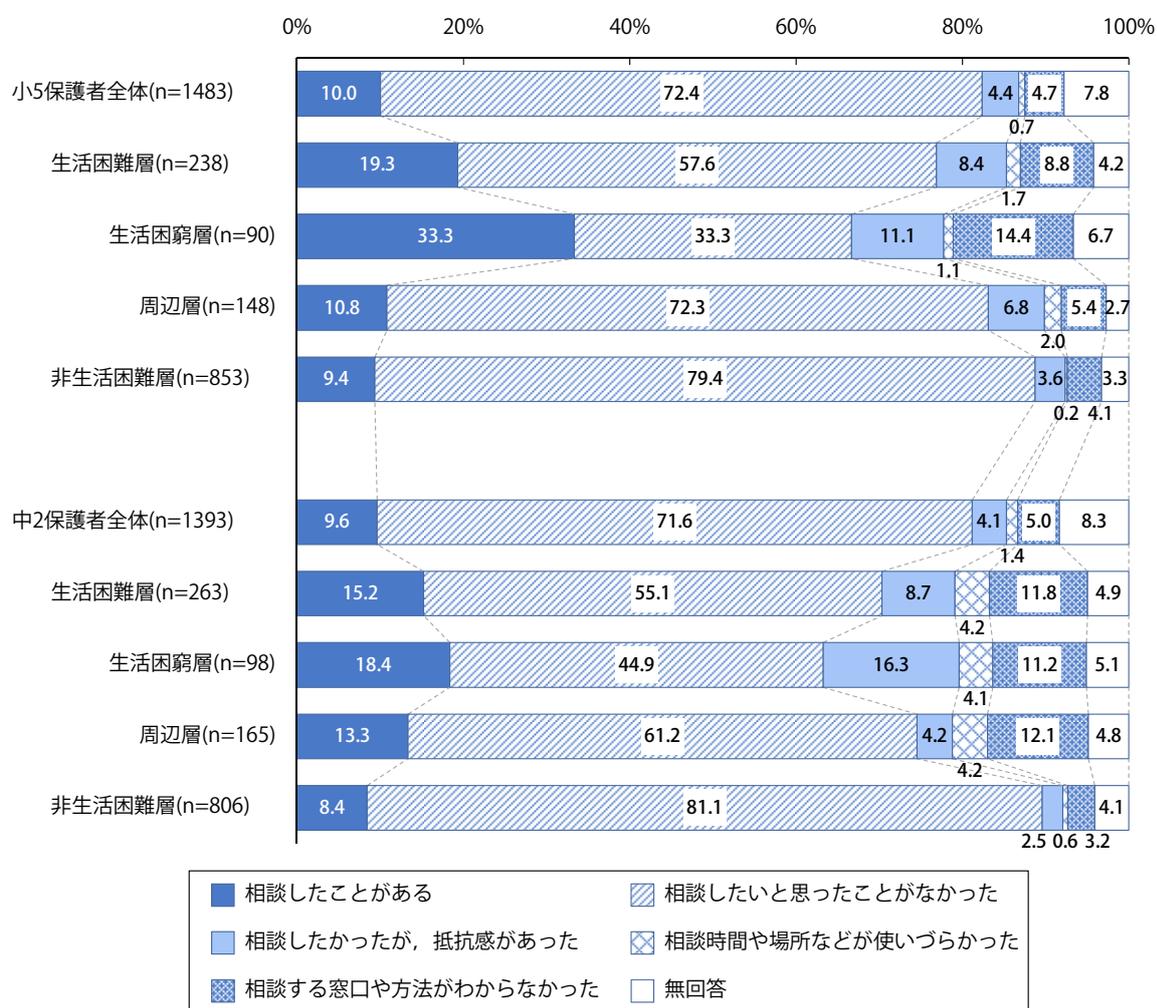
▼あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 47)

### A 県・市町の窓口

県・市町の窓口について、「相談したことがある」の割合は、小学5年生全体で10.0%、中学2年生全体で9.6%となっています。

生活困難度別にみると、小学5年生では非生活困難層の9.4%に対し、生活困窮層で33.3%と3倍以上、中学2年生では生活困窮層で18.4%、周辺層で13.3%、非生活困難層で8.4%と、生活困難度が高い層ほど「相談したことがある」の割合は高くなっています。

また、「相談する窓口や方法がわからなかった」は小学5年生の生活困窮層で高く14.4%が回答しています。



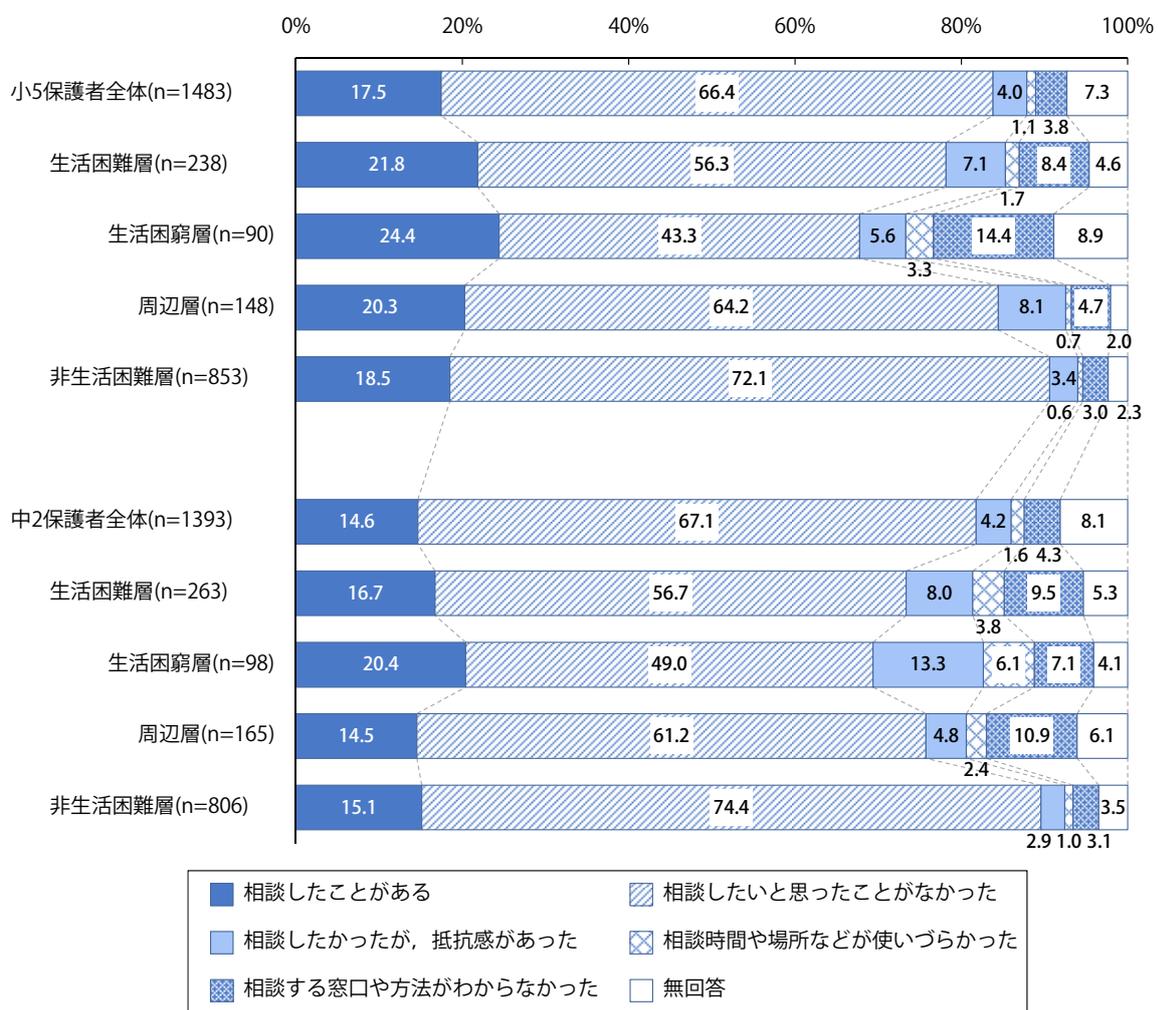
▼あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 47)

## B 地域子育て支援センター（くれぐれば・ひろひろば）

地域子育て支援センターについて、「相談したことがある」の割合は、小学5年生全体で17.5%、中学2年生全体で14.6%となっています。

生活困難度別にみると、小学5年生では生活困窮層で24.4%、周辺層で20.3%、非生活困難層で18.5%と、生活困難度が高い層ほど「相談したことがある」の割合は高く、中学2年生では、非生活困難層の15.1%に対し、生活困窮層で20.4%とやや高くなっています。

また、「相談する窓口や方法がわからなかった」は小学5年生の生活困窮層で高く14.4%が回答しています。



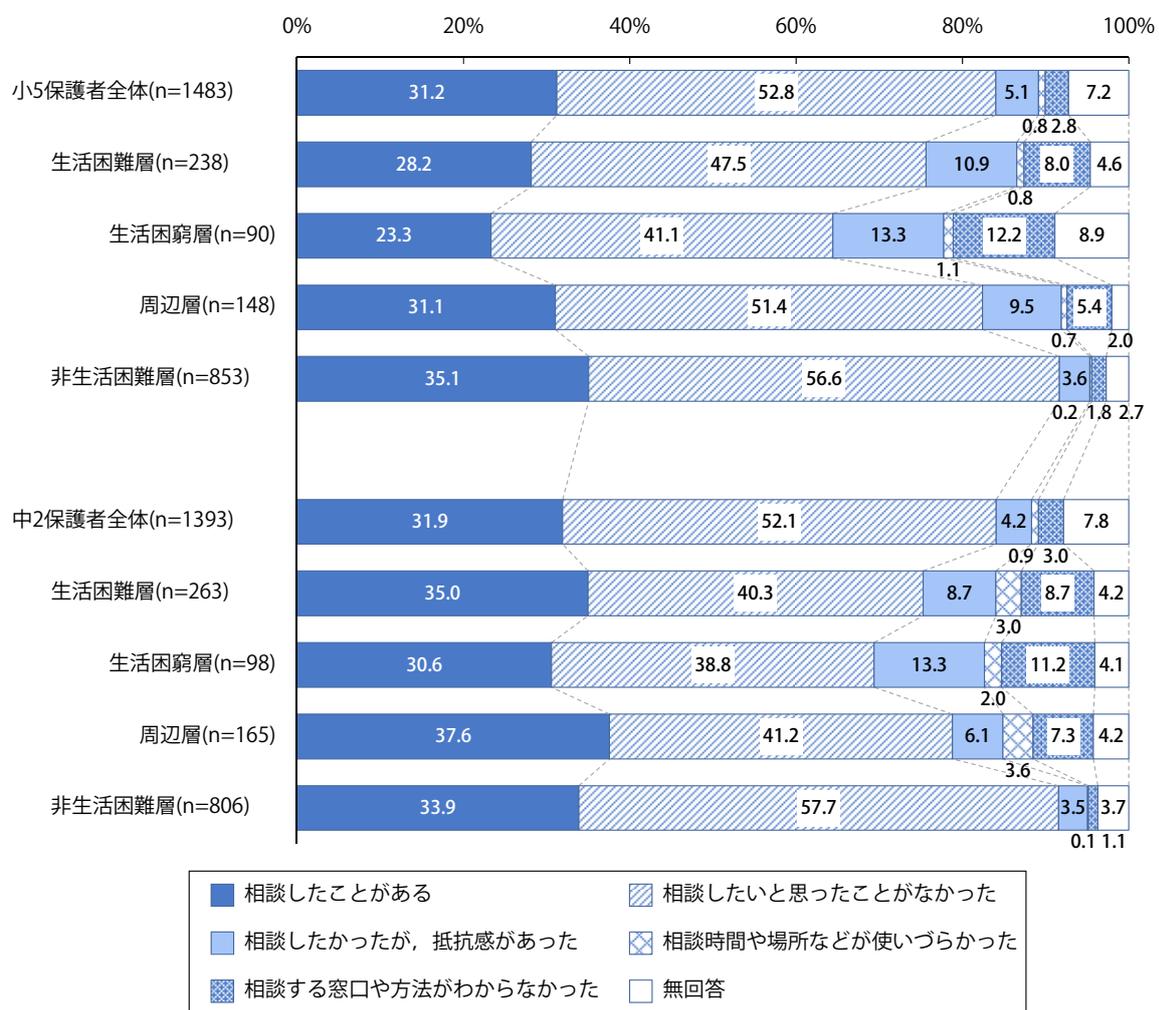
▼あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 47)

### C 学校・保育所・幼稚園の先生，スクールカウンセラーなど

学校などの先生，スクールカウンセラーなどについて，「相談したことがある」の割合は，小学5年生全体で31.2%，中学2年生全体で31.9%となっています。

生活困難度別にみると，「相談したことがある」の割合は，小学5年生の生活困窮層で23.3%，周辺層で31.1%，非生活困難層で35.1%と，生活困難度が高い層ほど低く，また中学2年生では，周辺層で37.6%とやや高くなっています。

一方，「相談したかったが，抵抗感があった」や「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は，小学5年生，中学2年生とも生活困窮層で高くなっています。

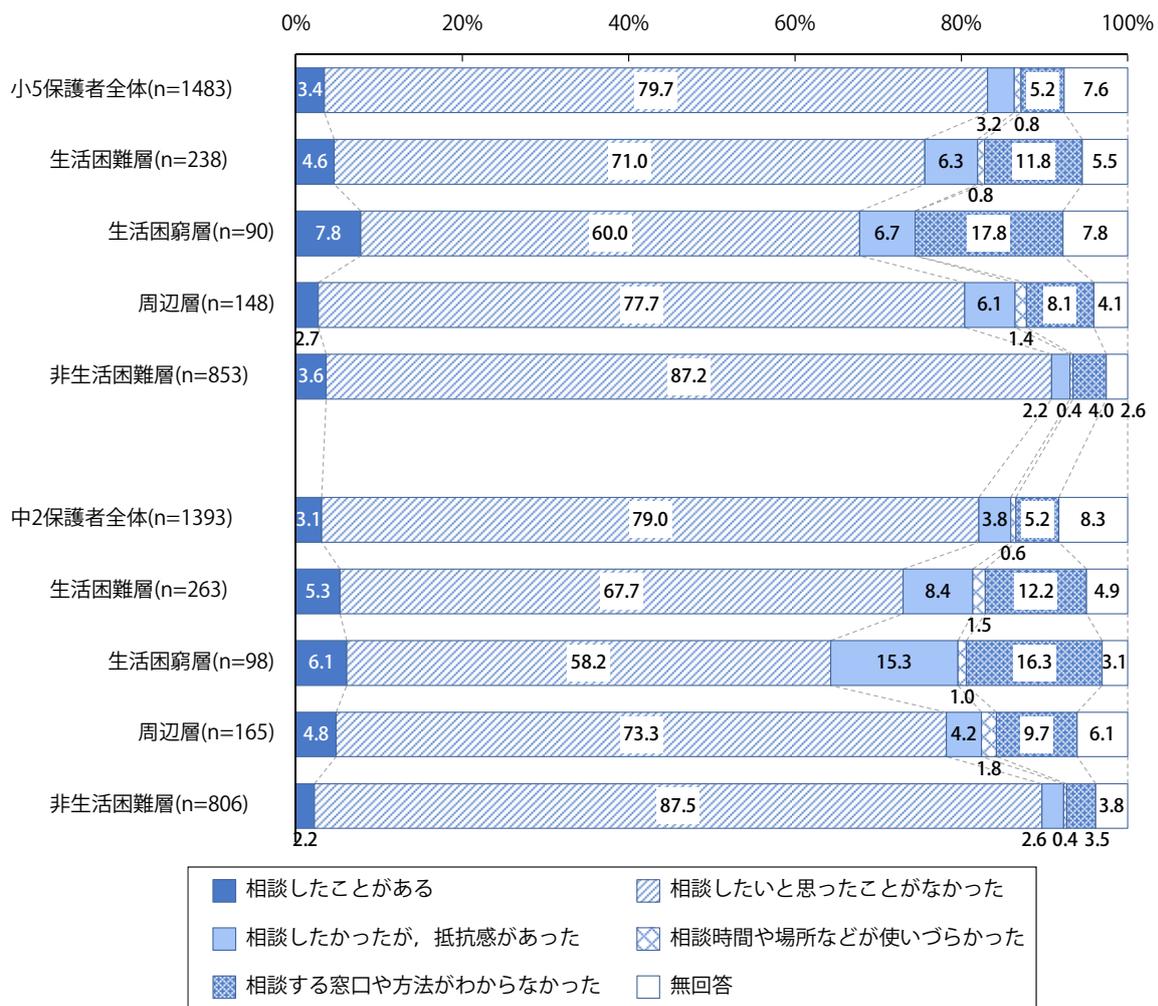


▼あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 47)

## D 民生委員児童委員

民生委員児童委員について、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で5.2%，中学2年生全体で5.2%となっています。

生活困難度別にみると、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は生活困窮層で高く、小学5年生で17.8%，中学2年生で16.3%となっています。また、中学2年生の生活困窮層の15.3%は「相談したかったが、抵抗感があった」と回答しています。

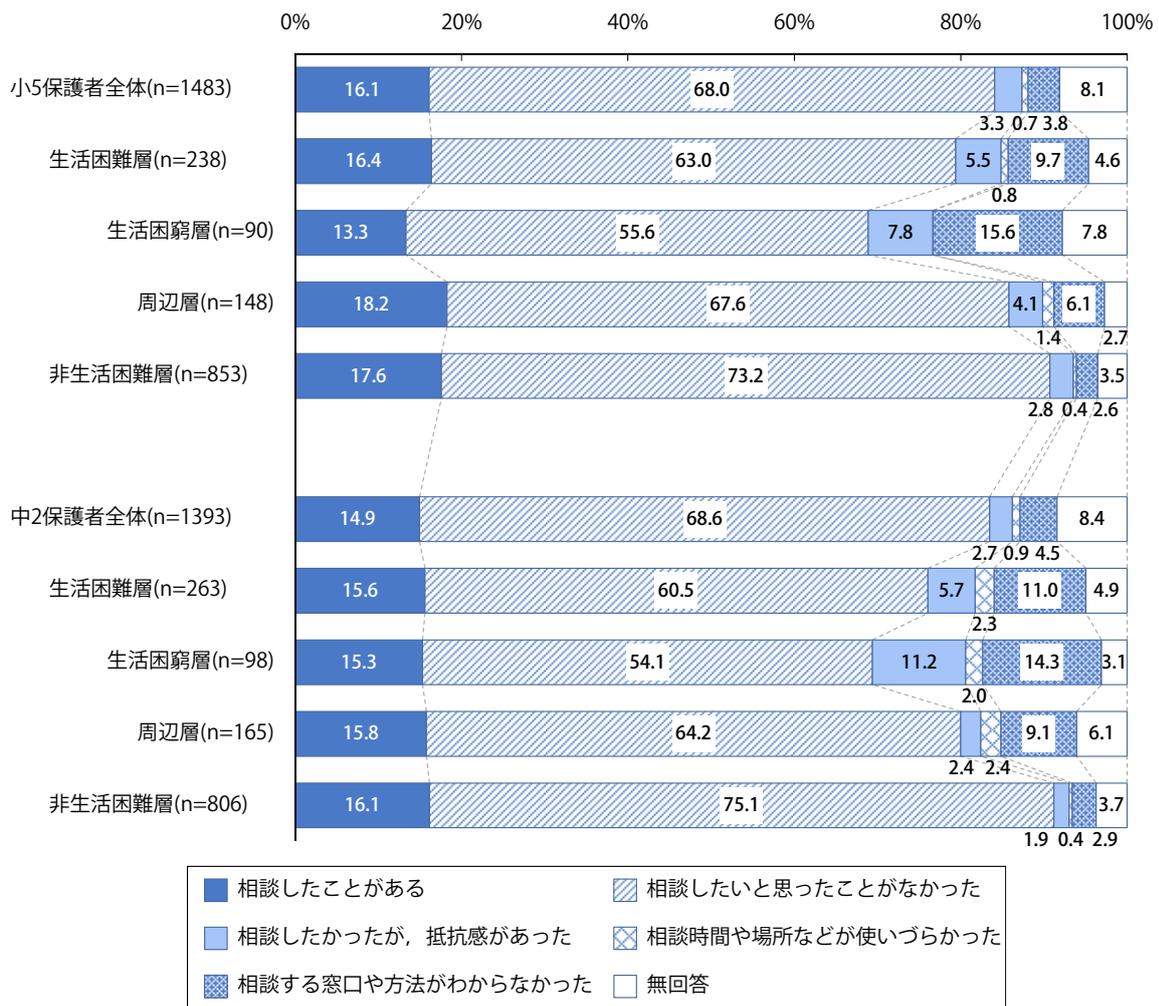


▼あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 47)

### E 保健所（保健センター）

保健所について、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で3.8%、中学2年生全体で4.5%となっています。

生活困難度別にみると、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は生活困窮層で高く、小学5年生で15.6%、中学2年生で14.3%となっています。また、中学2年生の生活困窮層の11.2%は「相談したかったが、抵抗感があった」と回答しています。

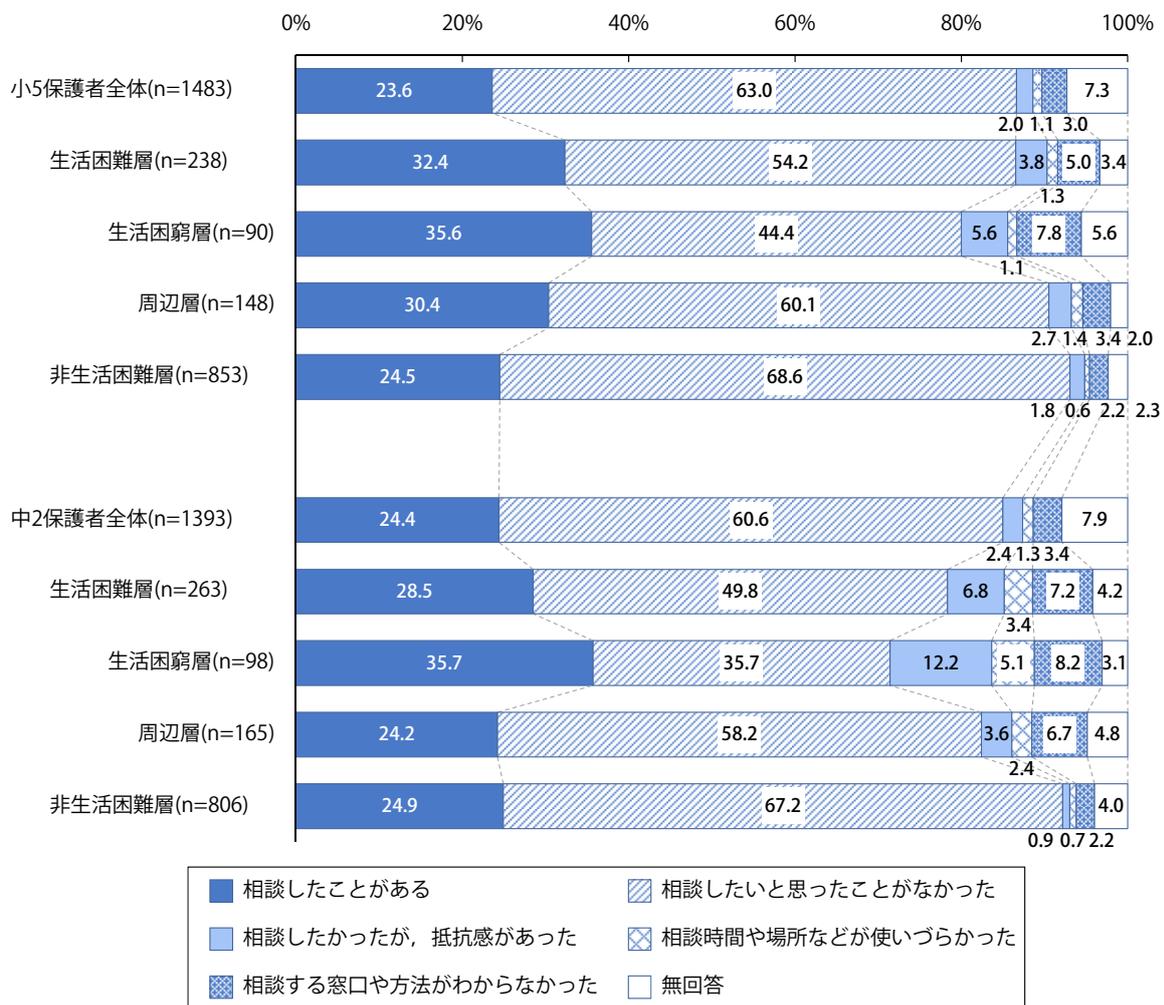


▼あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 47)

## F ハローワーク

ハローワークについて、「相談したことがある」の割合は、小学5年生全体で23.6%、中学2年生全体で24.4%となっています。

生活困難度別に「相談したことがある」の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で35.6%、周辺層で30.4%、非生活困難層で24.5%と、生活困難度が高い層ほど高くなっています。中学2年生では、非生活困難層の24.9%に対し、生活困窮層で35.7%と10ポイントほど高くなっています。



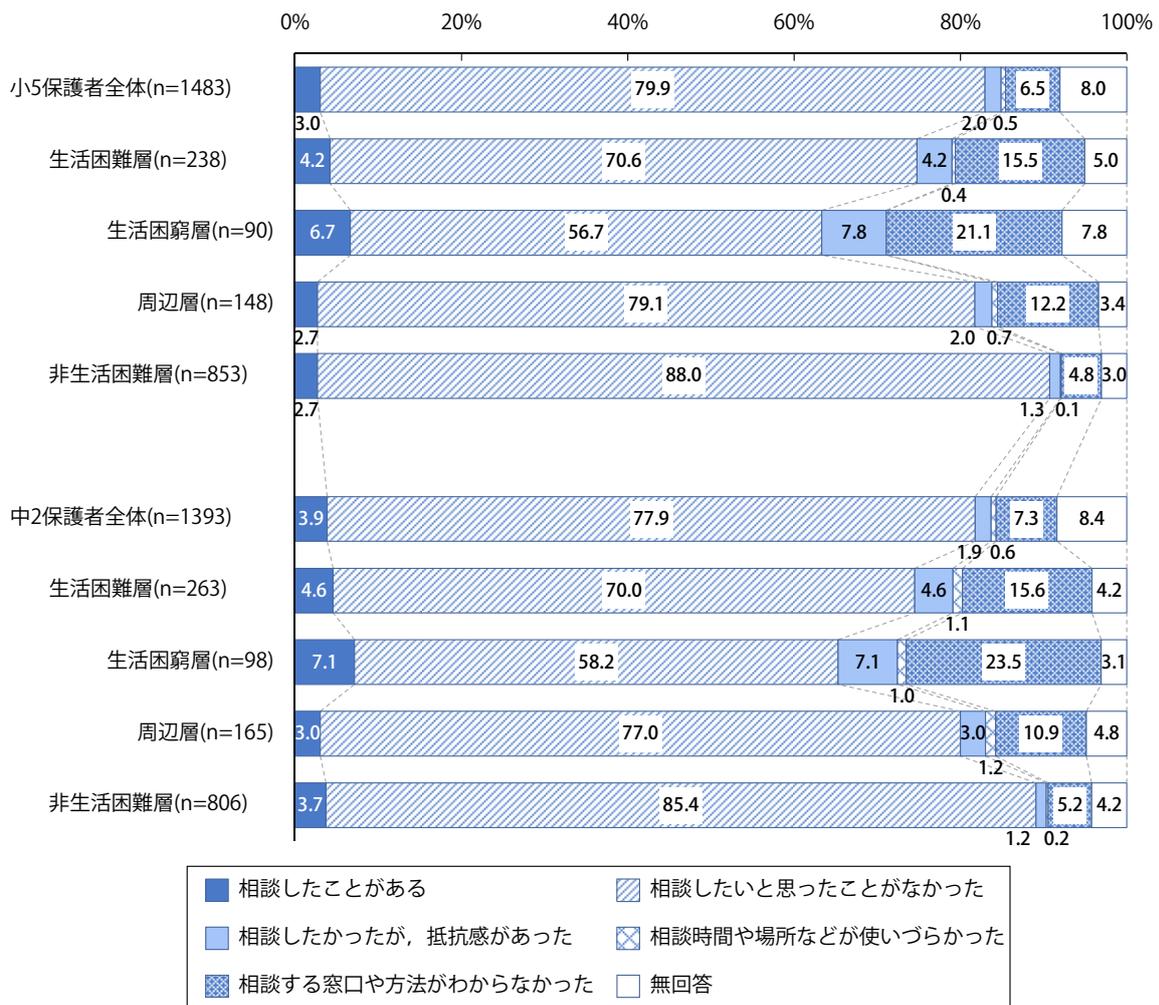
▼あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 47)

### G 上記以外の公的機関

上記以外の公的機関について、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で6.5%，中学2年生全体で7.3%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で21.1%，周辺層で12.2%，非生活困難層で4.8%と生活困難度が高い層ほど割合は高くなっています。

中学2年生でも同様の傾向となっています。



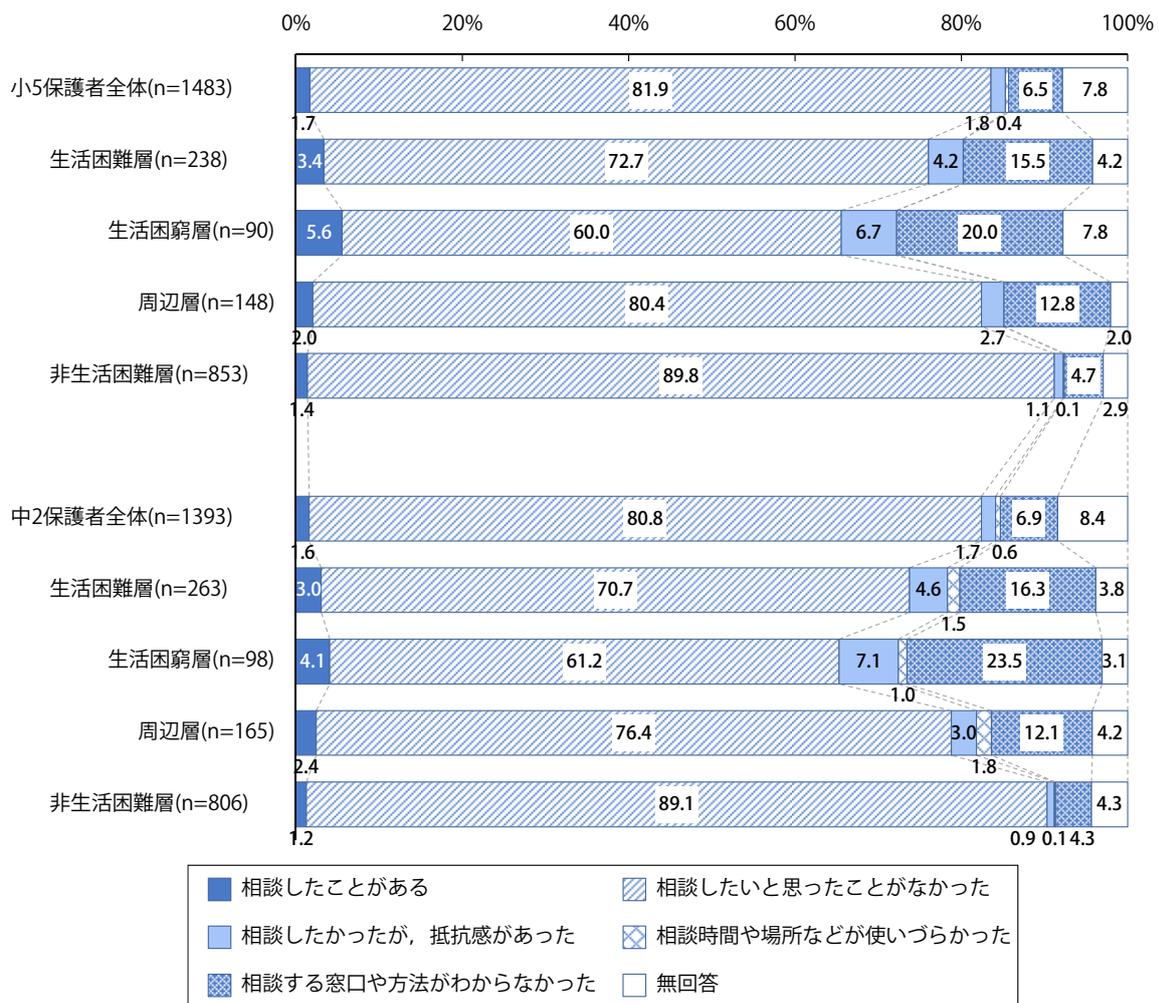
▼あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 47)

## H 社会福祉協議会

社会福祉協議会について、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で6.5%、中学2年生全体で6.9%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で20.0%、周辺層で12.8%、非生活困難層で4.7%と生活困難度が高い層ほど割合は高くなっています。

中学2年生でも同様の傾向となっています。



▼あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(保/問 47)

### I インターネットの相談サイト

インターネットの相談サイトについて、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で5.8%，中学2年生全体で6.4%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で17.8%，周辺層で10.8%，非生活困難層で4.2%と生活困難度が高い層ほど割合は高くなっています。

中学2年生でも同様の傾向となっています。

